



- ① 末松信介文部科学大臣の提案について思うこと
- ② 教員不足の実態、教員不足を解決する提案\*

\* 設問で示した定数増、業務削減など施策以外等の提案の記

「#教員不足どうすれば 緊急アンケート」によせられた  
教師たちの声です。どうぞ、お読みください。

日本共産党衆議院議員 宮本 岳志  
日本共産党参議院議員 吉良よし子

## 教員たちの声① 大臣の提案について思うこと

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 50代   | 終わってる  |
| 小学校    | 40代   | 予算は増やさないのかい？と思いました   |
| 特別支援学校 | 40代   | 民間同様に、一定年数以上勤務実績のある非正規教員は原則として無条件で正規教員として採用すべき。  |
| 小学校    | 30代   | あまりにお粗末だと思います。   |
| 中学校    | 60代以上 | 非常勤教職員を欠員臨任として大量に任用している状況を変えようとしていない。<br>これでは教職員不足は解決しない。<br>また、「定額働かせ放題」と悪評の高い、給特法に手をつけていない。<br>勤務条件を変えなければ、教職員不足は、解消しないでしょう。                   |
| 高校     | 30代   | しっかり教採を勉強できる時間の確保と募集人数の拡張がまずは必要だと思う。#  |
| 高校     | 20代   | 地道に頑張っている臨時教職員の正規雇用を！  |
| 中学校    | 30代   | これまでの文部科学行政への反省なく、現場に解決を押しつけるものである。根本的な解決にはなり得ない。教育再生による教育への介入、過度な「聖職者」論に基づく教員のやりがいと甘えた施策の問題は解決していない。そもそも教職員に限らず「労働」というものを軽視してはいないか。             |
| 小学校    | 30代   | 今年度の場合当り解決にはなるかもしれないが、5年10年先の解決にはならない。潜在的に教師になりたいと思う人はそれほどいないのではと考える。それよりも処遇、待遇を改善し、子どもに向き合い、授業を中心に行えるような、本来の教師の仕事を保障し、教師を仕事の選択肢としてもらえるような政策が必要。 |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員不足を考えてる割には、ズレた提案になっている。  |
| 高校     | 60代以上 | 教員の働く条件の改善が急務。   |
| 中学校    | 30代   | 現在の教師という仕事に魅力がないのに、これで人員が確保されるとは思えない。  |
| 小学校    | 30代   | 今、教員のブラックな働き方にもかかわらずあまりに給与が低く抑えられていることで、教員という職業の地位があまりに低くなっていることがなり手不足の原因です。根本的な解決にもなっていません。このままでは、さらに教員の離職率や病休は増える一方でしょう？                       |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 50代   | 教員不足解消は免許を持つ人を増やすことではない。教育の待遇を上げて、魅力ある働きやすい仕事とすることが欠かせない。<br>教員の仕事の魅力は、目の前の子供に自負の頭で考えて創意工夫をこらして教えていくことで子どもが変わっていくことで、今の教育には創意工夫をする余地も時間も自由もない。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 50代臨時的任用の立場としては、やる気があっても、子どもが少なくなり、教員数が要らなくなった時に不安がある。   |
| 小学校    | 30代   | 教員になれる枠を広げるのではなく、教員になりたいと思えるような環境（少人数学級・賃金 UP・業務量の削減など）をしっかりと整えることでしか解決できない。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 先ず、教員の定数を法律通り"正規"採用する。少子化で余裕が出るが、その時はクラス定数を20人を目標に少なく出来、先進国並みになる。<br>次に、教特法4%条項をやめ、超勤分を支払う制度にし、保障する。研修の自由の保障を制度化する。等   |
| 小学校    | 40代   | こんな提案では、教員不足の解決には全くならない。教員の抜本的な定数改善が必要。人を増やさない働き方改革、業務改善では長時間過密労働は改善されず、教員になりたいと思う人は増えないことをもうそろそろ気づいてほしい。逆に、教職としての仕事の魅力もなくなっていく。もっと人員を増やして、持ち授業時数を減らしたり、20人程度まで少人数学級を前進させてたりすることが必要だ。そして、人を大切に育てる教育には、自由とゆとりの中で、子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合う時間（直接的なことだけでなく、準備なども含めて）の確保が必要不可欠。 |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員の労働条件、勤務条件の改善がなされなければ、なりて不足は、解消されません。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 付け焼き刃、教育を軽視してる対応。日本の未来、終わるぞ  |
| 小学校    | 50代   | ただの対処療法でしかない   |
| 高校     | 50代   | 多忙化問題など抜本的に改善するために、教職員の大幅増や給与等の待遇改善が必要です。  |
| 中学校    | 30代   | 教員の定数（配置の人数）を増やすこともお願いしたい。   |
| 小学校    | 30代   | 教員の仕事減につながる対策を講じ、なりたいと思える職業にイメージアップしなければ、根本的な解決にならない。  |
| 特別支援学校 | 20代   | 抜本的な解決には、教員を増やして勤務軽減をおこなう。教員を目指す子どもを増やすしかないと思います。  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 40代   | 本気で日本を、教育界を良くしたいならば、教育に予算をつけるべき。そして、その場しのぎの情けない政策をガチャガチャガチャガチャ立てないで欲しい！悪いことしている・した人からお金を徴収し、教育に充てさせて欲しい！   |
| 高校     | 50代   | 業務内容の軽減化がないと、特に若手は敬遠するでしょう。また、ゆえに古参の教諭による、前時代的なパワハラ（本人自覚なし）、若手に業務が偏る傾向にあり、そこから離職も高まっています。そういったことにより、人員確保のためか、教員合格率はあがっているようですが、質は問わない、また、保護者も表面的なことにしか目を向けないので、一見、問題ないように感じられますが、教師力のなさから、中身の育たない子供が量産され、かつ、思考を持たない教師も増産され、政府がこう、と言ったら、全員で yes！というような、危機的な社会が、学校に通う、ということで形成されているように感じます。それが政府の意向なのかもしれませんが。 |
| 小学校    | 40代   | いずれも、人と予算を増やすことに政策として踏み込んでおらず、根本的な解決を図る気がないように感じられる  |
| 小学校    | 40代   | 教職は元々、魅力的な仕事であり、公務員として地位や生活が保障されている恵まれた職種のはず。それにも関わらず、教員不足が起きることの原因について、考察さえしていないのかと思うほど、極めて的外れであり、その場凌ぎの対策だとしても、効果は全く望めない。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 特別免許の活用は教員免許をもっていない教員を増やすことになり、専門性の低下につながりかねない。国のとるべき対策は、教員増や施設設備の充実などの条件整備のはずだが、そのことにまったくふれられていない。また、教職員の長時間過密労働が教員不足の大きな原因だが、その解消のための対策も示されていない。   |
| 高校     | 20代   | 期限付き教諭を安く雇い使うのではなく、正規採用教員を増やし、現場の負担を減らしてほしい  |
| 小学校    | 50代   | 小手先で何とかしようとしています。根本的な解決にはなりません。<br>それより、採用試験の合格者を増やし、定数内の欠員を無くすべき。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員不足は、教員になりたいと思う教員が減少しているために起きているため、雇用条件や働き方が変わらない限り意味がありません。急場凌ぎにもならない処方箋違いと感じます。   |
| 上記以外   | 60代以上 | この施策では絶対に解決しません。むしろもっと不足状態が続くと思います   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 特別支援学校 | 50代   | 現場を知らない。   |
| 高校     | 30代   | 教員の待遇に魅力が無いから人が集まらない。教員が集まらないなら、給料を上げるとか、教員を増やして多忙を解消するとか、残業代支給するとかが先。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 今の劣悪な労働条件(給与含む)が改善されなければ、教員になろうと思う人は増えない。  |
| 高校     | 40代   | 小手先の方策と効果の乏しい対策  |
| 高校     | 40代   | 教育にもっとお金をかけるべきだと思う。  |
| 中学校    | 60代以上 | 教師の過酷な働き方を解消しない限り、教師になろうとする人は減っていきます。  |
| 中学校    | 30代   | 教員の働き方改革をしないと教員になりたいと思う人は増えない。小手先で教師を増やそうとするのではなく、抜本的な改革、財務省から予算を引き出して良い労働環境だと誰もが感じられる働き方にしてほしい。   |
| 高校     | 50代   | なるべくカネをかけないでなんとかしたいという姑息な考えがみえみえ。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 仕事量の軽減には全く触れられていない。現場をわかってない。  |
| 高校     | 60代以上 | ないよりましですね。   |
| 上記以外   | 60代以上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別免許状は、教員の質が下がる為、実施すべきではない。</li> <li>・給特法が諸悪の根源。労基法の適用をし、超勤を支給すると共に、業務量に応じた職員配置をしないと、問題は解決しない。</li> <li>・小学校低学年は15名程度、中学年以上は20名程度の少人数学級にしないと、個性や人権を尊重した、民主的な教育は不可能。</li> </ul> |
| 高校     | 20代   | 目先の数だけ確保しようとする机上の空論では教員不足は解消しない。教員の多忙かつ薄給な勤務実態に基づき、教員の魅力を上回っているほどの条件の悪さを改善しなければ、本質的な教員不足の解消にはつながらない。   |
| 高校     | 40代   | 教員の多忙化の現状を改善したり少人数学級の導入を行うのではなく、場あたりの対応に終始している。  |
| 小学校    | 60代以上 | 実態とかけ離れた提案だ  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 高校     | 60代以上 | 教員採用の複線化とは、非常勤や、給与などの待遇が悪い立場の職員を増やすことに繋がるのではないか。同一賃金同一労働を実現して、職場の給与格差を減らしていき、働く意欲の持てる職場へと変えてほしい。   |
| 中高一貫校  | 40代   | 教員養成課程そのものが崩壊しています。  |
| 高校     | 60代以上 | 給与を上げれば優秀な人材が集までしょう。   |
| 小学校    | 30代   | 多忙を改善しないと教員不足のままではないか。   |
| 高校     | 60代以上 | 特別免許の活用は、その時々政権や自治体の長の意向にそった人物が教育現場に入ってくる危険性があり、賛成しかねる。教員の労働環境が改善されれば、自然と志望者は増えると思われます。  |
| 高校     | 30代   | 給料と業務量のバランスが取れてないのが問題。給特法のことになぜ触れないのか、小学校教諭が起こした裁判で裁判官も給特法の課題に触れているぞ   |
| 中学校    | 40代   | 教員不足の原因を根本的に解決しようとしていない。一度教員になるかどうか迷っている学生や若手教員にアンケートを取ればわかりそうなものだが、それをせずにこれらを打ち出しても、希望者が増えるとは思えない。  |
| 高校     | 40代   | 正直言って、小手先の提案だと思います。<br>教育予算を抜本的に増額して、教師の数を増やすような基準の改善(一学級の人数を減らすなど)、教員の給与の改善、労働時間の改善など大規模な改革をしないと改善しないと思います。そして、その改善は私学にも及ぶような財政措置をお願いしたい。 |
| 高校     | 30代   | 正規・補欠採用の枠を増やすべき  |
| 上記以外   | 20代   | 問題の本質を理解されていないのだなと感じます。問題解決のために動かしたいのか、まったくわかりません。   |
| 高校     | 30代   | 試験や免許等の外部条件だけが原因ではなく、仕事内容、勤務条件等が大事であると考えています。  |
| 小学校    | 60代以上 | 教員の抱える問題を理解してない。   |
| 中高一貫校  | 60代以上 | そもそも教員志望者が減っているんで、小手先をいじっても改善しない   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 全く、現場のことがわかってない提案で、腹が立ちました。現状をきちんと調査、研究して、現場の意見を聞いてから、提案してほしい。   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 小学校    | 30代   | ブラックな働き方や定額働かせ放題な賃金体系を見直さないと無理  |
| 上記以外   | 50代   | 学校の社会的役割を見直し、正規雇用を増やすことが解決の第一歩なのに、大臣は教育を国の意向の伝達期間、または忠実な国民養成としか考えていない。個々の提案についてはこのように考える。<br>①特別免許状の濫用はやめてほしい。民間活用で児童生徒学生にマイナスのケースが見受けられる。②③④については、なぜ離職したのかなぜ試験を受けなかったのかという問題をわかっていない。情報不足が原因ではない。学校に多くの機能を持たせすぎるので、オーバーワークとなり、職場の人間関係が悪化。教員にとって効率よくするために子どもへの管理教育が重視される。根本的な原因は学校の在り方である。多すぎる役割は世間からのパッシングも招く。 |
| 小学校    | 60代以上 | 今まで何年も講師をした方で、年齢が上になり採用試験を諦めた方もいます。そういうベテラン講師を優先的に本採用にするべきです。そうなれば、中堅教員も増えるのではないかと。   |
| 中学校    | 30代   | 離職者や特別免許状保持者では根本的人数解決しないと思う。これから教員を志す人が多くなる必要がある。<br>教員の仕事がブラックなことは中学生でもわかること。待遇改善と専門性を評価してほしい。   |
| 高校     | 60代以上 | 特別免許状の乱発は、問題が多い。<br>教員の賃金・労働条件などの待遇改善が必要、とりわけ、長時間過密労働をなんとかしないと、免許保持者が教壇に立つことはないと思う。   |
| 中学校    | 20代   | 任用の手順や入口が求められているのではなく、学校で最も重要視すべき授業・教育について世論が軽視している現状、また校務分掌や文部科学省及び、教育委員会が現場の教員に投げつけてきた仕事量のために授業・教育に取り組む時間が十分に確保できていない現状を顧みていない。埼玉県教員の超勤裁判でいわれた「授業準備5分」には根拠がなく、あまりにも現場に目が向けられていない。   |
| 特別支援学校 | 40代   | すべて小手先の提案。正規採用の大幅増以外に解決策なし。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 教員の労働条件の改善や、賃金なども同時に改善策を出してほしい。   |
| 小学校    | 60代以上 | 大臣の提案は、どれも小手先ばかり。教員の働き方を根本的に変えなければ、教員を目指す人は増えない。今回の提案ではないが、支援学級在籍児童が支援学級で受ける授業を週の半分以上に、と4月  |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
|     |       | に通知を出したが、これもひどい内容です。ぜひ問題として取り上げてほしいです。  |
| 小学校 | 50代   | <p>①について...</p> <p>・今年廃止になった「免許更新制度」の導入時の趣旨に照らしても、免許保持者こそが積極的に養成され活用されなければならないはずである。</p> <p>教員の資質向上を謳って現場教員の負担増をしたことを考えれば、特別免許状の乱発につながったり、現場感覚がない者が増えたりする施策は慎重でなければおかしい。</p> <p>とても現職を大事にしている話には受け取れない。</p> <p>②について...</p> <p>既に大学機関は必要な周知に努めており、無用な者への情報提供は、市民への不安を増大させることにしかならない。</p> <p>それ以前に、きちんと教員の処遇(正規増員や残業代の支払いなど)を改善すべきであり、順序が逆である。</p> <p>③について...</p> <p>理由があって離職した方に配慮がある対応なのかが疑問である。</p> <p>④について...</p> <p>教職の魅力が回復されなければ、意味をなさない愚策。</p> <p>教育の条理をよりよく回復するために、民主的な声によるボトムアップ改革をするべき。</p> <p>そのためには、教員の裁量を増やすようにするべき。</p> |
| 小学校 | 50代   | <p>そういうことではなくて、文科省から打ち出される教育政策と引き換えに削減していく仕事が明確ではありません。授業や行事づくりのための教材研究の時間も無いのに、これ以上何をしろと言うのですか。残業がこれほど日常化しているにもかかわらず、残業代は無い同然。これでは、若い人たちがやりたいと思いませんよ。教師の善意だけに頼るのはもう限界ということです。</p>  |
| 小学校 | 30代   | <p>提案は全て「教員志望の意思のある人が潜在的に存在している」ことが前提となったものだと思います。しかし、現在教職員の仕事はいわばブラックだという認識が広まっており、教員を志望する人自体が少ないことが問題の根本だと思うので、これらの提案での改善は難しいのではないのでしょうか。</p>   |
| 小学校 | 60代以上 | <p>学校の過酷な勤務実態、子どもたちへの指導が手がかかる、仕事があまりに多すぎる。時間外手当が支払われないなどを改善しな</p>   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | ければ働こうと思いません。そうした実態だから人が離れているのだから、その根本を改善すべき  |
| 中学校    | 20代   | 目の前の数字を改善するための策にしか思えない。本質的な、教員の待遇改善が必須。   |
| 高校     | 60代以上 | 学校のあり方から根本的に考え直す必要がある。教職員定数改善、少人数クラス、必要単位数、卒業要件、入試など一体的に改革を進めなければならないと思う。   |
| 中学校    | 60代以上 | 教職員の労働環境の改善策が入っていなければ、先生になろうとする人が増えるわけない。   |
| 小学校    | 30代   | 教職という高い専門性に見合った労働環境と報酬が確保されない限り解決しません。人手を増やすことはもちろん必要ですが、現場はそれだけでは解決しません。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | そもそも、教員の待遇がひどくてなり手がない現状を棚に上げてなにを馬鹿げた事を言ってるんですか？教員を増やして、給料を上げてきょうになりたいと思う若者を増やさないと。  |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 教育条件改善とも関係するが教職員の労働条件の改善（特に長時間労働をなくす）に着手しないとブラック職場のイメージが払拭されないと人は集まらない。病気で休職者が出て回るような余裕がないと、将棋倒しで次々倒れてしまう。余裕ある定数改善についての言及がない。 |
| 小学校    | 50代   | 小手先の対策ではなく、定数法の改善、給与の改善、働き方改革の更なる推進を早急に行うことこそが必要だ、  |
| 中学校    | 40代   | なぜ教員を志望する人が減っているのか。わかっているはずですが。教員の魅力が伝わっていないからではなく、魅力的な仕事であることは分かっているけどやりたくないような働き方だからです。そこにメスを入れなくては教員の志望者は増えません。            |
| 高校     | 30代   | 業務の抜本的改善無しに状況の改善は見込めない  |
| 小学校    | 50代   | 根本的に教員の働き方を変えることと、1クラスあたりの児童数を減らさないと解決しない。今のままでは、さらに悪化する。   |
| 小学校    | 60代以上 | 仕事が大変と言うことが広がり、若い人が希望しなくなっている。やりたいなあと言う仕事にしていくことが大切。仕事量の削減。力のない若い人も、働け、力量を伸ばしていけるようなゆとりが必要と思う。                                |
| 小学校    | 60代以上 | 教員の仕事を減らすことが重要。そのためには、学級定数を30人に減らす。持ち時数を減らす。担任以外の専科教員やフリーの教員を増やす。研修を減らし、授業準備の時間を増やす。自己申告など                                    |

|      |       |   |
|------|-------|---|
|      |       | 人事考課などの締め付けをやめる。授業内容を精選し、丁寧な指導ができるようにする。など、まだまだたくさんあります。  |
| 小学校  | 50代   | 現場の教員の声を聞いていない。   |
| 小学校  | 30代   | 活用しようとしてもなりたいたいと思う人が増えなければ意味がない。教職という仕事を魅力あるものにするため、職場の改善からお願いしたい。  |
| 小学校  | 40代   | 根本的な問題（業務量の多さ、教員不足など）が解決されないのではと思います  |
| 小学校  | 30代   | 袋の口を広げれば、中身が増えるという発想は、悪い意味での役人気質を感じます。教員不足の原因は何かといえば、教員の労働環境が劣悪であること、袋の例えで言えば、袋がボロボロで中身がこぼれていることです。それが外から見ても明らかであるからこそ、袋に入っていくもの、すなわち教員の志望者が減っているのではないのでしょうか。繰り返します。袋の口を広げればすむ話ではないと思います。   |
| 小学校  | 20代   | 現場見に来て。1年間教師をしてみてください。  |
| 上記以外 | 50代   | 教員養成系大学の教員です。大学が所持している免許所持者の名簿は4月早々に底をつき、講師紹介依頼があっても紹介できる人のリストがありません。<br>採用試験の今以上の早期化は大学のカリキュラムの破壊につながる愚策です。やめて下さい。   |
| 小学校  | 60代以上 | いくら免許があっても、人間らしい生活が営めるような勤務実態にならないと教師になりたい人は減る一方だと思う  |
| 高校   | 40代   | 今までの価値観そのままに上乘せする教育政策では限界がきます。学力観の見直しが急務です。<br>ただ人を増やすだけでは、質の確保が難しく、そこで起こるトラブル対応や後輩指導でますます忙しくなります。<br>報酬の拡充などによる魅力の提案やスキルを活かした副業の自由化など、労働の対価が得られる環境や自己実現の方法を諸国並みに増やしてください。<br>能力のある人が、横並びに扱われて、勉強することや能力を発揮することを選択しにくいことも原因の一つと感じているゆえです。 |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 60代以上 | <p>現場の教師が望んでいるのは、安心と自由です。生活していくのに十分な給料がほしい。仕事辞めるか。人間止めるか状態の定額働かせ放題で、給料は下がるばかり。まず、ここを改善しなければ、なりてはありません。安心して暮らせる条件を産み出す政治を！</p> <p>自由の問題も深刻です。私の目の前にいるこの子に必要な学びを考えるには、学問の自由、教える自由、人間が間違えながら、苦悩しながら、学び合う風土が必要です。</p> <p>授業の準備が出来ないほどの過密な授業時数を持ち、指示に従って一斉授業をするような仕事に魅力はありません。</p> <p>子どもを生めない、子どもを育てられない国に未来はありません。小手先の方法ではなく、ぜひ、教師に安心と自由をのぞみます。</p> |
| 特別支援学校 | 20代   | <p>どうして教員が足りていないかの原因を含めて考えられているように感じない。離職される方も多い現状をどうするかにも目を向けてほしい。</p> <p>また、教員というのは誰でもいいというわけではないと思います。教員になりたい、子どもたちのことを真摯に考えている人など、素質ある人がこの仕事を続けられる環境を国としてしっかり作ってほしい。</p> <p>業務の過密化もあり、たくさん学ぶことはあるものの学校教育として何を優先させるのか取捨選択が必要だと感じます。</p>   |
| 小学校    | 20代   | <p>免許制度の意味がなくなっている。試験を受けられる時期を早くしたところで、このブラック労働であることは学生には伝わっているため、受験者は増えない。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>100%正規職員にするべきです。</p> <p>いくら免許をもっている、先生方を評価したり、政治が関与しない教育現場にするなど、先生になってもいいなど思える現場にならないと先生になりたいなんて思えません。</p>  |
| 上記以外   | 30代   | <p>幼児教育に携わっている者ですが、年々多様な支援を必要とする子どもが増えています。その分必要とされる教諭の数も増えています。しかしながら、その中でも教員数は増えない、むしろ人が足りていない現状が実際にあります。就労されている保護者も増え、保育時間も保護者のニーズや社会の流れに合わせて多様になっており子どもと向き合う時間(保育時間)が増えています。その分事務が減るわけでもなく、保育形態も多様になっていく中で業務量は増える一方です。教員の仕事に終わりはありません。</p> <p>文科省並びに大臣方が、本質的に教員の仕事がどのようなものを理</p>   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | 解していただかないと、教員不足の改善への1歩は始まらないと思っています。   |
| 小学校    | 50代   | 働きやすい、やりがいのある職であると世間に思われるように考えてほしい。  |
| 高校     | 60代以上 | 教員の労働条件の改善が不可欠です。  |
| 小学校    | 60代以上 | 先生方の働き方は、激務である。早急に改善を求めます。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 抜本的に定数法を変えないと何んの展望もないでしょう。   |
| 小学校    | 40代   | 全員が定時で帰れて休憩時間も確保できて年休も取得できる、当たり前ができるようにならない限り、今の若者は教員を敬遠します。そして、40代もあと20年休憩時間なしでは働くことは不可能です。当たり前のルールを当たり前に守る、それが浸透し始めて初めて現場に先生が帰ってきます。 |
| 小学校    | 30代   | 現場の状況をちゃんと見ていない。<br>見に行きましたか??   |
| 特別支援学校 | 20代   | 「その場しのぎ」の提案が多い気がします。そして、教員職を軽んじている気がする。長期的な対応策を考えてほしい。   |
| 小学校    | 40代   | 対処療法にすらなっていない。教員の仕事の絶対量（プルシットジョブ）を減らすこと+教員の待遇を上げなければ解決はしない。  |
| 小学校    | 30代   | これでは根本的解決になっていません。   |
| 小学校    | 30代   | 教員の定数を増やして、一人で担当する仕事量を減らせば、教員の成り手も増えると思います。退職した先生や離職した先生への声かけはもうすでにやっています。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 学校がブラックな職場である限り、教員を目指す人は増えないでしょう。1学級の定数削減をし、教員を増やしてほしいです。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 教育にお金をかけるということが全くできていません。文科省の施策には、「口は出すけど、カネは出さない」ということがずっと続いています。でも、本来はこの逆で、「カネは出すけど、口は出さない」というのが、当たり前。教職員を信頼していないなあと感じます。            |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 40代   | 採用しても続かないと意味がない。業務の削減やクラスの人数を減らす、持ちコマ数を減らすなど、担任の負担軽減しないと離職したり体調を崩して休んだりしてしまう。もっと言うと、正規の教員を増やして、みんなが気軽に休みが取れるといいのですが...   |
| 小学校    | 20代   | 教員という職業がもっと魅力的にならないと意味が無いと思います。免許や年齢がどうこうではないです。学校によって雰囲気は全然違うので、配属校によっては酷く帰りが遅かったり、パワハラモラハラがあったりします。なのに何処に配属されるかは選べません。学校ごとにある程度自由が利くのはいい事ですが、それで辞めていった人が沢山います。高齢の先生達ができない仕事は若手が全てやります。長時間労働です。なのに若手は臨任と変わらない給料です。最近ではギガスクールを進めたことによって一気に教員の負担が増えました...子供が休みなのにオンラインで授業を配信してほしい...という要望も当たり前のようになってきます。また、放課後や家でのトラブルにも学校が巻き込まれる事が多いです。できれば辞めて、もっといい仕事をしたいですが、転職活動をする余裕がありませんし、子供たちに罪はないので迷っています。カリキュラムもパンパンで余裕がありません。学習も増えるばかりで減らないので大変です。残業代が付くか、休みを増やすか、人が増やせないのなら業務量を減らすか...今のままなのでしたら、もっと働きに合った報酬が欲しいです。 |
| 高校     | 60代以上 | 予算配分が、無い。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 人数は確保できても、教育の質がかなり落ちると思う。<br>今のブラックな現場を見ていると<br>若い人にすすめたいとは思わない。   |
| 中学校    | 30代   | そもそも教員の処遇を改善しないと教員不足は解決しないと思います。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 現場の状況を全く分かっていない。教員不足は、人材的な不足だけではない。教員の多忙化が明らかになる中で、若い人たちは教員を目指さなくなる。現在も、教員採用試験の受験者は減少し倍率も下がっている。現在の教育が、教員の犠牲の上に成り立っていることを分かっていない。<br>今やらなくてはいけないのは、多忙化解消、教員の増員である。   |
| 特別支援学校 | 50代   | ①特別免許状で有名人が授業をしてくれたとしても教員の雑務はしてもらえない②卒業後に後から教員になりたい人は自分で情報   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | を仕入れるはず③離職された方は何らかの理由があつてのことなので可能性は低い   |
| 小学校    | 20代 | 教員不足の根本的な解決にはならないと思います。   |
| 中学校    | 50代 | 全てがナンセンスです。休憩もなく働き、残業代も出ない仕事です。この提言で解決するはずはありません。   |
| 小学校    | 30代 | 教員のなり手が減少しているのは、働き方の問題で、その根本を解決しようとせずに間口だけを広げるのは間違っている。不必要な業務を減らして、本来の仕事の魅力を感じられるようにしない限りこれからもどんどん減っていくと思う。   |
| 小学校    | 30代 | 無理難題を突きつける保護者対応。<br>そういった対応が、年々増えているように思う。<br>また、メディアでの取り上げでも、マイナスイメージが強いものがあるせいか、教員を目指すものが減ってきているのではないか。   |
| 小学校    | 50代 | 採用後の離職（退職）が増えている。職場環境や待遇が改善されない限り、辞める人は減らないのではないか。  |
| 上記以外   | 30代 | 教員の給料を上げれば解決します。  |
| 特別支援学校 | 30代 | 現場側の思いがなにも反映されていないように思います。  |
| 小学校    | 30代 | 根本的な解決策になっていない。<br>現場を全く知らない方のお考えだと思う。  |
| 特別支援学校 | 30代 | 情報がないから、教員不足なのではない。教員の待遇改善して、定数を増やさなければ問題はまったく解決しない。  |
| 小学校    | 30代 | 指導要領は時代に応じて変わってきているのに、子どもに対する定数は変わっておらず、時代と実態に合っていない。辞めた人への声かけは、辞めた人を追い込むことになる。免許保持者への声かけは、免許をもっているもあえて教職を選んでいないということをもっと考えた方がいいと思う。一番は、単純に人を増やそうとする小手先の改革。なぜ今現場で頑張っている人を差し置いて、ほかの人を増やそうと言うのか？現職の先生がイキイキしていれば、苦勞しないはず。まずは現職の先生に目を向けてほしい。なんなら、働いている様子を視察してはどうか。評価など関係なく、現場を知ってほしいと考える。 |
| 特別支援学校 | 30代 | なぜ、教員不足が生じているのかを理解する必要がある。そして、その解決をするための政策を早急に実行することが大切。大臣案では根本的な解決にはならない。  |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
| 特別支援学校 | 40代 | やりがいと負担感のバランスが取れていない。頭数では解決できない                         |
| 小学校    | 40代 | 学校の働き悪さを良くしない限り、働こうとする人が増えない。働いてと呼びかけるだけなら、どこの教育委員会もすでにやっている。何が問題なのか全く理解してなくて残念な大臣様である。  |
| 小学校    | 20代 | 教員の仕事自体を減らさないと、どんなに人を増やしても、教員不足は解消されないと思う。教員を増やすなら、副担任をつけるとかしないと、教員が潰れてしまいます。  |
| 特別支援学校 | 30代 | 特別免許状の積極的活用は教員の資質の低下に繋がるものと大変危惧しています。離職者の任用に関しても、学校の多忙化が解決していない中で具体的な策とは言い難いと考えます。教員の数を確保するとともに、学校の多忙化をどのように解消するのか。この課題を両輪で考えていくことが必須です。 |
| 特別支援学校 | 50代 | 現場の実態を理解しているのか？疑問しかない。定数を増やすことを最優先でやってほしい。   |
| 小学校    | 50代 | そもそも教員として仕事をすることを積極的に希望されるような勤務環境にすることが先決。   |
| 小学校    | 30代 | 正規の教員を増やし、少人数学級を増やして、一人当たりの仕事量の軽減をはかり、昔のような教師が魅力的な仕事にならないと教員不足は解消されない。仕事を増やさないと、教育予算を増やしてほしい。  |
| 小学校    | 20代 | 多くの教員は、子供のためならと頑張ってしまう。たとえ自分の家庭や身体を壊してでも頑張ってしまう。大臣の提案で教員不足は多少の変化が見られると思う。しかし、変化し続ける教育現場において、戦力になるとは考えられない。                               |
| 小学校    | 20代 | 現場で働いていてやる気がある講師が採用されないことが多い。講師は働きながらの教採対策が難しく落ちてしまうこともある。採用数が減少していて現場が逼迫しているなら、講師の採用を増やしていくべき。  |
| 中学校    | 30代 | どれも対処療法にもならない。宮城県の教員採用試験の倍率が既に出ているが、小学校は1.7倍。中学校は2.0倍で、これだけでも対処療法など考えている場合ではない、緊急の問題である。大臣の提案は、現場にとっては他人事の政策にしか感じられない。                   |
| 上記以外   | 30代 | 悪手でしかない。   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 中学校    | 50代   | 根本的な解決にならない。教職はもともと魅力があるのだから、給与を上げ、学級定数を下げ、教員の負担を下げることで希望者は増える。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 教師の待遇を改善し、教育の自由度を保障しなければ、根本的な解決しない。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 先生という職業にそれだけの価値や魅力がなくなったんだと思った。離職した先生にまた復帰してもらわないと、不足分が補えないほどひっ迫している状況にあり危機感を感じました。   |
| 小学校    | 30代   | 教師の仕事を魅力あるものにしないと今の若い人はドライだからなりたがらない。ワークライフバランスが取れていない今の現状では教員志望者は減るだけ。   |
| 特別支援学校 | 20代   | そもそも正規採用を増やし、長時間労働の是正、賃金水準の引き上げ、これらを行なわない限り、教員不足は解消されないと思う。教職員の労働が魅力的なものとして捉えられなければ、この仕事を志望する人の数は減り続ける。まずは学校現場で働く全ての人々が安心して働ける温かい環境を公的な責任において構築していくことこそ求められている。 |
| 小学校    | 30代   | 業務量の改善、ICT支援員など専門スタッフの充実  |
| 小学校    | 60代以上 | 教員という職業が魅力的にならない限り難しいと思います。   |
| 小学校    | 20代   | 教員という仕事に対してのマイナスイメージがまず多いと思うのでその部分の払拭が必要だと思う。免許保持者の任用といっても、実際現場で動ける人でなければならない。なかなか動けないとなると、その人への指導も必要となってきた結局仕事量が増えるのではないかと心配。                                  |
| 小学校    | 60代以上 | ①生き生きと自由な雰囲気の中で楽しく働ける学校を文科省が支え保障することで、教育の仕事の魅力をアップさせること ②正規の教職員をふやし、ゆきとどいた教育を保障すること ③文教予算の増額  |
| 特別支援学校 | 40代   | 教員が魅力的（やりがい、お給料、福利厚生面などで）な職業にならないと希望する人が増えていかないのでは。   |
| 小学校    | 50代   | 現場の声に耳を傾けているのだろうか。実際に現場の実態を把握しているのだろうか。   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 30代   | 一昔前より、大学の教育学部や教員免許課程は、増えているはずですが。なのに、教員が足りないのはなぜか。なぜ、国立大学（の教育学部以外）の教育学部の学生の多くが教員を目指さないか、ご存知でしょうか。その理由が分かれば、大臣の提案が検討違いであることは、一目瞭然でしょう。<br>教育を志す学生の声、教員のバトンで上がった現場の声を真摯に受け止め、労働環境の見直しを行わなければ、教員の成り手は増えるはずがありません。   |
| 中学校    | 50代   | 教員の長時間過密労働を解消しないと、教員は増えないと思います。  |
| 特別支援学校 | 50代   | これまで各都道府県教委も同じように取り組んでいるものの、一向に解決できないどころか、年々悪化している。<br>これは教員の多忙化や、待遇の悪さなどから、敬遠されてきていることが背景にあると思う。  |
| 中学校    | 20代   | そもそもヒトの問題なのか。教育にかけるカネの問題も大きく影響している。<br>これだけやりがいのある仕事が、世間ではブラック企業だと揶揄される。でも、その現状を作っているのは間違いなく政府の方針や、やり方にあると思います。  |
| 中学校    | 60代以上 | 教員という仕事をわかってない！働き甲斐のある学校をつくるしかない。  |
| 特別支援学校 | 20代   | 採用に関する対策に留まるため、根本的な解決には至らない。現状、教員不足を取り巻く原因は教員希望者の著しい減少であり、その根底には「教員はブラックである」と捉えざるを得ない劣悪な労働環境がある。授業準備すら定時の中で満足にできない状況で、分掌業務や保護者対応など、イレギュラーなことが日々発生している。それにより残業となっても給料は変わらず、ただ自身の生活が疎かになるだけである。教育者を志し採用されたところで、教育以外の事で時間を取られてしまう。入り口を広げるのではなく、本来ある教育職としての仕事を全うでき、更には人間的な生活を無理なく維持できる環境整備が無ければ、根本的解決は困難であると感じる。 |
| 小学校    | 50代   | 教員がなりたい職業になりえていないことに対する施策がない   |
| 小学校    | 30代   | そもそも先生になりたいと言う人を増やすためには長時間過密労働を解決すべき   |
| 高校     | 40代   | 教職員に数を増やして下さい。きめ細やかな指導には人が必要です。  |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 小学校 | 30代 | <p>①③は今ある埋没している人を掘り起こすこと、②④は今後先生になる人を増やすことに関わる対策だと思います。</p> <p>今免許があるけれど教職についていない人は、定年退職された方と様々な事情で早期に退職された方、教職を選ばなかった方がいると思います。ではその方たちが現状の担任業務を引き受けて、激務どんとこいと働けるでしょうか。厳しい現場の状況をご存知な定年退職された方は、ご自身の年齢や希望のライフスタイルを叶えるためには激務では無理だと考えられると思います。教職を辞めること、別の職業を選んだ方にとっては、その背景を想像するに、今の現場の状況に合わせた働き方は無理だと思えるでしょう。</p> <p>今後先生になる方を確保したとしても、離職率が高まっている現状をみると、効果はないように思われます。特に若い世代にとって、今の教育現場の働き方は魅力が薄いでしょう。</p> <p>根本的な解決は、教育予算を増やし、ゆとりのある働き方のできる現場にすることです。</p> <p>少人数学級にして担任の負担を減らす。教育以外の業務をなんでも学校任せにして放置しないで、適した部署に割り振る。各校に常勤の、担任教科外の先生を配置していつ誰でもが気兼ねなく休める。そこにこそお金を使ってください。</p> <p>それが今働いている教員のやりがいと安定につながります。その上で初めて、大臣の提案が生き、免許をお持ちの方が教職に復帰されたり、新しい先生が増えて教職を続けられる、そういう循環になるはずです。</p> <p>お金をかけずにできることだけを、対策しましたと言いたいのがただに提案し、教育現場の今、この場にある負担を一つも解消しようとしな。そんなのは全く意味もないし無駄です。</p> <p>今の、この場の、現場の負担を、予算をつけて軽減してこそ、教員不足が解消されます。それ以外の対策なんて付け焼き刃で、新しく就かれた先生がすぐ辞めていってしまったら意味がないんです。</p> <p>お金をかけず、定額働かせ放題、やりがい搾取の現状を変えようともせず、低予算で頑張ります！なんて。現場の苦しみを、何も分かっていない提案にしか思えません。</p> |
|-----|-----|--|

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 30代   | 免許を持っているからとって、十分なフォローもなく、日々業務が増える一方の職場に解決が進むとは思えません。現場ではタブレットを渡されて、「はい、来週からオンライン授業をお願いします」と丸投げ、日々どんな声かけや、授業の準備子どもたちと向き合いつつ、大量の報告書や研修、行事の準備、保護者対応、会議、コロナの対策...根本は教員わや増やすこともありますが、まずは少人数制や、現場に丸投げでなく、根本的な解決を考えて欲しいですね。 |
| 特別支援学校 | 30代   | これだけの対策では根本的な解決に全くなっていないと思います。   |
| 高校     | 60代以上 | 眼前の小手先対策ではダメ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">NG</span> クラスサイズ減、定数増、   |
| 特別支援学校 | 50代   | 根本的な解決策にはなっていないが、教員の人材確保の手立てとしては、やったほうがよいと思う。  |
| 高校     | 20代   | 目先の対策に留まっているだけでなく、的外れな印象を受けました。<br>そもそも「教員を辞める理由」や「教員を目指していたもののやはりやめようと思った理由」等、原因を明らかにすることが必要だと思いました。<br>長期的に考えている上での提案であるならばその道筋を示してほしいと思います。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 現在の教員の業務内容をはじめとした現状の認識や問題意識の改善を抜きにした、誤魔化しの内容であると感じました。   |
| 中学校    | 30代   | 人材を掻き集めているように見受けられました。そもそも教員免許の取得方法などの見直しも必要だと思います。  |
| 小学校    | 60代以上 | 場当たり的な対応で、根本的な解決にはならない。  |
| 小学校    | 40代   | 何をどう考えてこの4つの案が出てきたのか。現場の声を全く聞いていない。教員不足の原因は、現場の教員、教員を辞めた人、教員免許を持っているが教員にならなかった人など、当事者の声を聞くべきなのに、現場を知らない人間が勝手な思い込み、思いつきで対策を語らないでほしい。  |
| 小学校    | 30代   | 誰でもいいから確保しようとしても、無理  |
| 小学校    | 30代   | 提案は全て無意味です。①は教師の専門性を無視しています。免許を安売りしているだけです。今やその安売り免許すら欲しいと思わないぐらい、学校現場のブラックさは世間に周知されています。②は今更です。③は離職した人たちがなぜ離職したのかを解決しない   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | <p>まま呼びかけても再び教壇に立とうと思いません。④は受験者数の減少の原因を無視しています。大臣の提案は付け焼き刃の寄せ集めですね。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>根本的な解決になっていない。人数だけを増やしても意味がない。なぜ、教員志望者が減っているのか、離職者がいるのか、といったことを考えてほしい。</p>  |
| 小学校    | 60代以上 | <p>教員の働き方、学校のあり方抜本的なことを変えないと、教育は変わらない。今、危機に瀕している。このままでは公教育が破滅すると思う。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>問題は免許だけではないと思うので</p>  |
| 小学校    | 30代   | <p>提案内容は、これまでにすでに行われていたことだと思う。④番は内容がよく分からない。</p>   |
| 中学校    | 20代   | <p>根本的な職場環境の整備に目を向けてもらいたい。教員の数を増やすために調査や上記のようなことも必要かもしれないが、明日からでもできる業務の削減をお願いしたい。どうしても学校現場は教育委員会からの指示や通知を待たないとうごけない管理職も多いため、教育委員会が早期に動かざるをえないようなメッセージの発信をしていただきたい。</p> |
| 中学校    | 20代   | <p>教員の激務を解消することしか根本的解決にならないのに、その根本を見て見ぬ振りをしている。業務量や給与の問題を解決すれば、若い世代にも教員になるという選択肢を与えられる。</p>  |
| 小学校    | 30代   | <p>全ての取り組みが根本的な対策になっていない。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>非常勤講師や時間講師など不安定な立場が多くなる</p>   |
| 特別支援学校 | 40代   | <p>現場を全く見ておらず資料の数字で計算しているようにしか見えない。</p> <p>職員の勤務状況、児童・生徒の様子、校務の多さ、保護者からの理不尽なクレーム、生徒指導件数、テスト、成績（個別の指導計画）の在り方、こんなアンケートに解答している時間も無いことを理解してもらいたい。</p>                      |
| 小学校    | 30代   | <p>足りないなら、採用人数を増やす。この当たり前がなぜなされないのか。昨年同様に人数不足となるのは、明らかな採用計画ミスで行政の責任。繰り返されてはならない。</p> <p>また、離職率や休職率を下げる対策が弱い。過酷すぎる現場のあり方を改善しなければならない。</p>                               |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 中学校    | 30代   | 制度面の改善に向けて、現場の声を汲み上げながら、課題を解決していくことも必要かと思います。教員として働きたい人がより働きやすくなるのが大切だと思うのです。   |
| 特別支援学校 | 20代   | そもそも免許がないから教員にならないのではない、試験の期間が遅いから希望者が少ないのではないと考える。免許を持っていても、教員になっていない同年代の多くは、教員の職務内容や給与などから教員を志望せず一般企業に就職している。そのため現状、免許を持つ人を増やしたり試験の早期化をしたりして門戸を広くしたとして、一時的に教員の数が増えたとしても、根本的な解決には至らないと考える。<br>根本的な課題(職務内容、給与)などを解決しなければ、教員の数は増えないと考える。 |
| 高校     | 60代以上 | 教育現場のしんどさを理解していない。  |
| 特別支援学校 | 30代   | なぜ不足な事態になっているのか、理解していない。制度だけの問題ではない。一時しのぎにはなるだろうが、長期的に考えて欲しい。   |
| 特別支援学校 | 20代   | これらの提案で教員不足が解決されると考えるのは、現場で働いていない方の安直な考えだと思います。   |
| 高校     | 30代   | 根本的な解決ではない。そもそも、仕事量とそれに見合う給料がないのが原因だと思います。教員不足といっていますが、教員は何ですか。正規の教員を言っていますか。それとも非常勤講師や産休などに働く臨任講師が不足と言いたいのかわかりかねます。  |
| 小学校    | 30代   | そもそも基本的な教員の定数が仕事量に対して不足している。もっと根本的な教員数を増やすべき。   |
| 中学校    | 60代以上 | 小中高とも30人学級に直ちにして教師を増やす事   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | この提案のような取り組みもいいかもしれないが、これらはある意味小手先であり、もっと根本的な点についての改善を考えていく必要があるように思う。教員が、現場の教育に責任を持つと同時に教育の喜びを感じることができるようになることが大切である。それは、非正規雇用をやめる、管理強化をやめてゆとりをもって子どもに目が向けられる、現場で同僚意識を持ってお互いに学びあえる、教職員組合敵視をやめるその他の、教員の待遇を改善することが必要だ。                   |
| 高校     | 60代以上 | 非正規(臨任・非常勤)の多さ、過密・長時間勤務を解消する具体策になっていないと思います。  |

|      |       |  |
|------|-------|--|
| 中学校  | 60代以上 | 予算を掛けない、やすあがりには済まそうとしている。  |
| 高校   | 50代   | 教員のバトンで明らかになったように、魅力ある職ではないです。待遇を改善(教員の定数増、持ち駒数減らす、クラス定員を減らす、給特法廃止)し、若い人たちが教員を目指したいと思うような職業にしてほしい。無体なクレームを言うてくる保護者対応へのサポートは最近充実してきてありがたいです。  |
| 小学校  | 20代   | 教育予算が現状のままでは少なすぎる。<br>教員を雇えるお金を増やすことが必要。<br>思いつきで教員の仕事を増やして多忙化につなげている状況を根本的に改善しないと、教師を目指す人は増えない。   |
| 高校   | 30代   | 給与増、少人数学級の設置で負担軽減など、労働条件を変えなければ、変わらないと思うから   |
| 小学校  | 60代以上 | 千葉県では不合格にした受験者に講師登録のお願いという文書を送り、臨時教職員として使おうとしています。教員を目指している若者をまず、必要な数きちんと正規で雇用するべきです。毎年毎年不合格にされて、でも安い給料で臨時教職員として働かせ放題というのでは、教員を続けようと思えなくなります。  |
| 上記以外 | 60代以上 | 教員不足は、子どもの学習権を充足するうえで、決定的に重大な問題であり、これを放置することは、子どもの学習権の侵害にあたると思います。しかし、末松文科大臣の提案は、教員不足の根本に教員定数の問題があるにもかかわらず、それに全く言及していません。今必要なことは、教員を増やしてほしいというのは現場の切実な願いにこたえることです。そのためには、文教予算を増額することが緊急に求められます。また、教員の多忙化解消も重要な課題であると考えます。そうした方向を提起すべきです。 |
| 中学校  | 30代   | 教員の多忙 解消に触れていない  |
| 上記以外 | 30代   | 4つの提案は基本的に「採用の対象を拡げる」ものにとどまっているため効果は期待できない。採用数の増加や現場の業務改善なくして解決する問題ではない。   |
| 小学校  | 60代以上 | 教職員の労働環境が悪すぎる。<br>働かされ過ぎている。<br>仕方無しに残業をしているが残業手当がつかない。<br>児童生徒や保護者とのトラブルが多い。トラブルと解決が困難で、心労も大きい。<br>ブラック過ぎるから良い人材が集まらない！   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | <p>教員不足改善は、労働環境の改善しかない。<br/>魅力のある仕事にしないと人は逃げていき集まりません!!</p>  |
| 小学校    | 30代   | <p>仕事のブラックな面を改善しなければ、なりたいたと思わないと思う。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>教育現場が抱える構造的な課題を無視し、免許状発出数の増加、任用の幅を広げるという対症療法のための提案であり、教員不足の解決、日本の教育の質の保障にはつながらないと思います。</p> <p>現場で感じている構造的課題①全業務量に対する人員配置不足②労働に対する給与不払い（特給法の弊害）③多忙すぎて本来感じられる(感じていた)はずの教職の魅力に目がむけられない＝職業としての魅力喪失</p>  |
| 特別支援学校 | 60代以上 | <p>根本的なことに触れていない</p>   |
| 中学校    | 20代   | <p>①私たち教師の仕事がバカにしているとしか思えない。医者が足りないから、特別免許状出しますか？トラック運転手が足りないから、大型トラックの特別免許出しますか？未来の日本を担う子どもたちの教育をする責任重大な仕事を、特別免許状で賄おうとしないでください。誰でもなれる安い仕事にしないでください。私たち教師の仕事は専門職です。あれだけ教師の不祥事を必要以上にマスコミがバッシングするのならば、門戸を狭めるべきでは？②情報があろうがなかろうが、教職に魅力を感じていないから来ないだけです。</p> <p>③嫌になって離職したのに、何も改善されていない現場に戻るわけがないです。④早くなろうが複数になろうが、受けない人は受けません。全てに共通して言えることですが、教師のバトンで明らかになった現場の課題を、何一つ改善しないのに、人を集めたいからと的外れの政策を提案するのはなぜですか？現場の過酷な状況を見て、希望者が増えているのだから、現場の状況を改善しようという発想に至らないのはなぜですか？大臣、文部科学省以外の現場教員はみんな解決策が分かっています。分かっているのは国だけです。未来の日本のことを本当に真剣に思うのであれば、教育に投資すべきです。防衛費が何になりますか？どうして現実から目をそらすのですか？</p> |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 60代以上 | 1クラスの児童数を減らし、教員の仕事の負担を減らせば、本来子どもといっぱい遊んだりわかる授業をするための準備の時間が勤務時間内に確保でき、先生という仕事のすばらしさ、やりがいを感じられるようになると、目指す人が増えると思う  |
| 小学校    | 40代   | もっと教員の待遇を改善するなど、魅力ある施策をお願いしたい。   |
| 小学校    | 30代   | 私は、大臣には事の本質が全く見えていないように感じられます。逆に、教育環境をより貧弱で歪なものにしようとする悪意があるのではないかとすら感じてしまいます。教育現場のことに精通した民主的な人物が大臣になることを望みます。  |
| 小学校    | 60代以上 | まず、労働時間について改革する。給料を上げる。30人学級にする。など具体的な動きがないと解決しない。   |
| 小学校    | 30代   | お金と人を増やすことを先にしなければ、提案は実現不可能です。また、業務の改善にはじまる教員の多忙化の原因を解消しない限り、いくら免許を持とうが任用をアピールしようが、まずまともな人からは教員は敬遠されるのが目に見えています。   |
| 中学校    | 30代   | 教職員の働き方、根本を改善しない限り、教員は増えない。  |
| 小学校    | 30代   | 根本的な解決には繋がらないと思う   |
| 小学校    | 20代   | 特にありません  |
| 小学校    | 20代   | 現状の根本的解決にならない。   |
| 小学校    | 30代   | もっと現場を知ってほしい   |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員数を増やさなければ解決しない。  |
| 小学校    | 20代   | 国内の、教員の仕事へのネガティブキャンペーンが進みすぎた結果だと思っていますので、まずは教員の仕事への印象を改善するところから始めるべきだと思います。そのための、一番数字に表れて効果があるのは給料の増額だと思います。ただ採用数などを増やしていただくだけだと、若手教員の指導や意思統率などの仕事・負担が大きくなり逆効果だと思います。  |
| 小学校    | 30代   | 給料も上がらない。締め付けばかり増えていく。カリキュラムは増える一方。子どもらの環境も大変なまま。それをほっといて採用だけ変えたところで意味がない。長く続くはずがない。教職を離れた人にもっと話聞いて何がしんどかったか分析すべきでは？声を聴くという視点が足りなさすぎます。聴くというのは教育の基本。リーダーの大臣ができないのでは子どもの声が聴ける教育など成り立つはずがない。本気でこれで改善できると思ってるなら驚く。センスなさすぎ。鳥居裁判の件もある。ちゃんと勉強してください。 |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 小学校 | 60代以上 | 現場かんかくがない。  |
| 高校  | 40代   | 教員不足の根本的理由から逃げている。<br>長時間過密労働の縮減、特に中高については「部活動の顧問を教員に強いないこと」から逃げてはいけない。   |
| 中学校 | 30代   | 小手先の対策では何も解決しないと思います。①非常勤や講師ではなく、正規採用の職員を増やす政策をしてほしい。②賃金や待遇を改善して教員養成系の学生やその保護者にとって魅力的な仕事であることを発信してほしい。  |
| 高校  | 30代   | 教員を増やすことは、生徒の教育条件(生徒が教育を受ける上で)の向上にダイレクトに繋がります。例えば20人学級。実現すれば我々の負担は減り、その「余力」で一人ひとりの生徒に対応できます。それは生徒にとってもプラスなはずです。我々が一人ひとりじっくり対応できれば、生徒の多様な悩みにも寄り添うことができます。我々の労働環境の改善と子どもたちの教育を受ける条件は密接にリンクしています。<br>抜本的な教員増を切に求めます。子どもたちの未来のために。  |
| 小学校 | 30代   | そもそも、教職の魅力が下がってきているから、特別免許状を発行しても、なり手がいない気がする   |
| 中学校 | 40代   | いつ辞めようか、毎日悩みながら働いています。民間企業を経て、採用され、16年働いていますが、今の労働環境で育児と両立しながら働くことに心身共に疲弊しています。<br>同じ悩みを抱えて、離職した人もいます。<br>せっかく採用されても数年で去る方も増えたように思います。<br>それだけ、今の教職は労働環境が整っておらず、魅力がないのではないのでしょうか。<br>教材研究もできないまま、授業をすることも、よくあります。「より深い学び」のために準備する時間が私たちにはありません。<br>未配置の問題もありますが、そもそも多様化している児童生徒たちに、きめ細やかな対応できるだけの教師がいません。<br>教育こそ、未来への投資ではないのですか。<br>今のままでは、公教育は破綻していただけたと思います。 |
| 中学校 | 20代   | 働き方改革で業務量は削減されていないが勤務時間の管理化で息苦しい勤務になっている。教員らしい生活ができないことが大きな要因であると考えます。  |
| 小学校 | 30代   | 教員不足の原因が何か、それを解決するには、という視点がない。  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 小学校    | 20代 | やりがいではなく、仕事量に見合った給与など(残業代)、若者にやりたいと思わせなければ、この先教育が終わってしまう気がします。私も転職しようと思っています。   |
| 小学校    | 40代 | 子どもたちのことを思うなら、正規の教員を増やしてほしい。特別免許状ばかり発行するのではなく。<br>新研修制度もやめてほしい。学びたい研修は、行政のなかにはない。   |
| 小学校    | 30代 | 業務内容や給与形態に改善がなければ人材は入ってこないと思う。  |
| 特別支援学校 | 50代 | 学校教育に携わる仕事に就きたいと思うような取り組みが必要だと思う。今、教育大を卒業しても教員にならず、他の職に就きたいと考える学生が増えていると思う。それは、教職に魅力を感じないから。理由は多方面にわたっていると思う。中でも、仕事量に比べ給料が低すぎるのが第一である。まずはそこを変えないと、現職も早期退職しかねない。すると、人員不足になる。学校は、大変忙しくなりまた、疲弊すら、と悪循環を繰り返すだけである。 |
| 特別支援学校 | 30代 | たくさんの教員を雇えるようにしても、たくさんの教員が辞めるだけです。教師の抱える仕事量の減少、賃金アップなど待遇を変えない限り変わりません。教師のバトンなど、教員の悲鳴を受けているのなら答えるべきです。   |
| 中学校    | 40代 | 中長期的には「労基法を完全に守らせること」ですが、まずは今先生がいない、ということ「緊急事態」と認識すべきです。①不要不急の指導主事訪問を一旦中止し、指導主事を現場に戻すこと。②部活をもちたくない人を今すぐ顧問から外し、本来の業務に専念できるようにすること。この2つを今すぐ実行してほしいです。   |
| 特別支援学校 | 30代 | 採用枠を広げても、給与が見合わない、多忙化、研修機会の減少、設備投資不足など、国自ら魅力を奪っているのに、人は増えない。経済への投資だけでなく、未来への投資、教育投資をしないと解決しない。  |
| 特別支援学校 | 30代 | 教員になりたい人、応募人数を増やすことも大切だがそれ以前にそれぞれの学校が雇える教員の定数をもっと余裕のある形で見直してほしい。毎年教員採用試験で不採用となる人がいるのだからなりたいた人はたくさんいるはず。でも雇用や契約の関係で教員定数が決まっているから余裕を持った採用人数になっていない。それが問題だと思う。とにかく教員定数を増やして余裕のある形にしてもらいたい。                       |
| 小学校    | 30代 | 「教員はブラックだ」というイメージが定着しているので、そもそもなりたがる人がいないと思う。   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 中学校    | 30代   | 経験しながら感じることや学ぶことが多い仕事なので、仕事に就いてから戦力になるまで時間がかかる。教員だけではないと思うが、3、40台が少なく、若手と年齢の高い人が多いため、仕事の配分がしづらい。能力のある人が採用されている印象がないため、小手先の対策では、現場の負担が増える印象。   |
| 中学校    | 20代   | 教員不足の原因が大きく、①労働環境の劣悪さ②業務内容と種類の増加、からきていることがわかっておらず現場への理解が乏しい   |
| 小学校    | 60代以上 | 机上の空論で、現場を分かっていない。働き甲斐のある魅力ある職場にならない限り、教員になろうという人は増えない。給特法を改正しないと残業代なしの無定量の働かせ方をさせられて、身をすり減らし、病気になる人が増える。免許が失効した教員が、現状が変わらない限り復帰しようとは思わない。  |
| 高校     | 20代   | 現状に正対せず、小手先の策を弄しても解決出来るとは思えない。  |
| 中学校    | 20代   | 教員の働き方という根本的な部分を改善しない限り、採用段階の対策のみでは教員不足は解決しないと思います。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員数が減っても教員の仕事が減りません。  |
| 特別支援学校 | 40代   | お金を掛けずに解決しようとする姿勢がありありと伝わる。<br>この国の未来は子ども達なのに...。大臣が本気でそう考えているのか、無能だから官僚の提案をそのまま受け入れているのか。残念な政治家。   |
| 高校     | 40代   | 20年前は、これらの施策をとらなくても倍率は数十倍というのが常であった。つまり、教員をとりまく環境の変化が倍率低下の主な理由であり、採用方法のテコ入れでは意味を無さない。   |
| 高校     | 20代   | 教員の仕事量減らせ。  |
| 特別支援学校 | 30代   | なぜ教員が不足しているのか、その要因を探ろうともせず、間口を広げればなんとかなると思っているところに辟易する。教育予算を増やさない限り、今の教育現場の現状が良くなる要素がない。教員になりたい学生も途中で進路を変更してしまうほど魅力を感じない職業になってしまっている。入口のところに問題があるのではない。入ってからの労働条件の方に問題があるということこそそろそろ認めてはいかがか。 |
| 小学校    | 30代   | ①は今、いろいろな問題をもつ課題と認識している。<br>②は今も行われていると思う。少なくとも私の卒業した、大阪教育大学は、和歌山の採用試験の情報も丁寧に教えてくれた<br>③根本的な解決にならない。そもそも任用されたいと思う人がいる   |

|     |       |  |
|-----|-------|--|
|     |       | <p>のか？</p> <p>④早期化、複線化するよりも、講師経験の長い先生が受かりやすいようにすべき</p>   |
| 小学校 | 40代   | 教職員の労働環境や勤務条件、賃金などが向上しない限り教員不足は解消されない。   |
| 小学校 | 50代   | そんなことで絶対教員不足は解消されないから。   |
| 小学校 | 50代   | そんなことで教員が増えるなら、今、教員不足にはなっていないはずです。   |
| 高校  | 30代   | いつまで経っても勤務時間の調査しかしていない。挙げ句には夏休みの8月に調査をすると、ふざけたことを文科省はしており、それを黙認している。働き方改革を進める気が全く無いように思える。やる気がないなら末松大臣、辞めてください。大臣、あなたの代わりになる優秀な方はいくらでもいるんです。しかし、子どもたちにとって教員の代わりはもういないのが現状です。                                       |
| 中学校 | 60代以上 | 金かけずに問題は解決せず   |
| 中学校 | 30代   | <p>教職をなんだと思っているのだろうか？コンビニのバイト不足解消対策かと思うほど浅はかな提案だと思う。教育は専門職。教育の専門性を深められる環境づくりなくしてこの仕事にやりがいや生まれないし、教師の育つ現場にはならない。見た目の人が増えればいい。というそんな安易な問題ではないことを深く受け止め考えてもらいたい。</p> <p>教師が教師の仕事ができる環境の保障がない限り、この仕事の魅力は薄れる一方だと思う。</p> |
| 小学校 | 40代   | 入り口だけ広げても、退職者が出る原因が改善されていない。結果、新しく入った人が辞めていくだけ。  |
| 小学校 | 40代   | <p>現職の人たちの働き方や仕事量を改善しなければ離職は減らない。ただ人を増やせばいいのではなく、子どもたちとじっくり向き合う時間や教材研究できる時間を確保できるようにする必要がある。きちんとした待遇で人を雇ってほしい。誰でも彼でもよいわけではないし、安く雇えば長くは続けられない</p>   |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 中学校 | 30代 | <p>その場しのぎの感覚が否めず根本的な問題から目を背けているようにしか感じない。</p> <p>教員が本当に苦しんでいるのは教員不足ではなく過剰業務(道徳の教科化、〇〇教育の拡大もしくは追加)によるもの。</p> <p>本来学校の本旨である「授業」に目を向けずに無関係の業務を増やし続けたために今回末松文科大臣の免許に関する提言がなされたと確信している</p> <p>教員不足を予算を増やすこと無く解消するには「働き方改革」ではなく「業務削減」だということに一刻も早く目を覚まして気づいていただきたいと思っている</p>  |
| 小学校 | 30代 | <p>教員が増えない原因をもう少し現場に触れて考えていただきたいです。</p>  |
| 小学校 | 30代 | <p>教員はブラックというイメージを払拭しないと人は集まらないと思います。</p>  |
| 中学校 | 40代 | <p>退職した人は、現場の大変さを知っているので、復職してくれない。</p>   |
| 高校  | 50代 | <p>今年々正規教員が減り、講師時間数も減らされ、定数内での再任用教員が増え、出産育児など現場で生徒に向き合う教員が減っている。副担では授業の持ち時間が週18時間、担任は16時間でもホームルームや担任会で18時間埋まる。授業以外の分掌の仕事、当番の仕事等があり、授業準備と生徒対応で休憩する暇すらない。時間内に極力仕事を終えるのは、翌日の体力維持のため。この仕事を20年し続けたから、教育職としての経験を活かせるが、それが無い人や高齢者に、1日3種類の科目を40人相手に5時間してくださいなどと言っても、戸惑われるか倒れる。仮にするとしても準備不足では授業はできず、生徒に学力がつくとは到底考えられない。教壇に立つ人を確保するというだけの問題ではない。当たり前だが、学びたいという意欲のある生徒を守り育てることができる人が必要。</p> |
| 小学校 | 40代 | <p>そもそも教員に魅力を感じず、教職に就く人がいないのだと思う。本当はとてもやりがいのある素晴らしい仕事なのだが、どうしても自己犠牲の上に成り立つ仕事であるし、過酷な現場環境で病む人も多く、ブラックな印象が強い。現場環境を良くしていけば、人は自然と集まると思うので、そちらに力を注いで欲しい。また、人はすぐにでも増やして欲しいが、新規採用が定員割れを起こして誰でも現場に入ってくるとなると、教師としての質も下がり、さらに現場は混乱し学級は機能しなくなり、負担が増えていく。そしてベテラン先生たちが職を離れていくという負のスパイラルに陥る。優秀な</p>  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | 講師にしっかり報酬をつけて、昇給制度なども入れて、確かな人材を確保することも大切だと考える。   |
| 小学校    | 30代   | 給特法を改正しない限り、教員不足に歯止めがかかることは無いと思います。  |
| 小学校    | 60代以上 | 教員は保護者対応、若年教員の低学力に悲鳴をあげています。魅力ある仕事にしてください。   |
| 小学校    | 50代   | 教師人気が下がっているのは、業務が多すぎるからです。①は「公募校長」の失敗を見れば分かります。②今どき情報などはいくらでも手に入ります。どちらかという、「情報」によって教職が避けられている。③退職したと言うことは、教師をしなくても生きていける人が大半。わざわざ自分の時間をタダ働きに捧げる人は少ない。④企業も受けて辞退する人が増えるだけでは?  |
| 小学校    | 50代   | 実際の現場に合っていない。正規教員の大幅増員や賃金UP、クラスの人数を減らすこと等が急務である。財源はあるはず。なぜ教育にお金をかけないのか。  |
| 小学校    | 40代   | 教員の長時間過密労働について理解していないのでは。  |
| 小学校    | 40代   | 教員の人気の低下をなんとかしなくてはいけない。そのためには、待遇改善をしないとイケない。給特法の問題や36協定について、しっかりと考えてほしい。   |
| 中学校    | 20代   | 提案いていただいたことに加え、世間での、教員のイメージがブラックであることを変えることができれば、さらに教員が増えるのではないかと思います。   |
| 小学校    | 60代以上 | 今の教員不足の主な原因は、教員のブラック労働が巷の知るところとなり、教職が敬遠されているためです。そこに切り込まなければ、根本的な解決はできません。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 何故教員免許を持ちながら教員を希望しないのか?その根本的なところを探って改善してもらいたい  |
| 小学校    | 60代以上 | 教員採用をする側の目線で、制度をいじっているに過ぎないと思う。そういうことではなく、教員となってから、いかにモチベーションを保ち続け、意欲を持って仕事ができるかということ、そして、それに見合った処遇(夢実現、勤務時間、給与等)が保障されて初めて、これから教員をやろうかという意欲につながっていくのではないか。子どもたちと過ごす日々、時間が素晴らしいものであると思えること、自分が納得して指導ができる環境があることなど、教員を目指すものの意識は高い。 |
| 高校     | 20代   | 教員不足の背景にある問題を全く理解していない。  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 高校     | 30代   | <p>現場で働く、教職員の職場環境を改善する政策がまったくないことが問題です。提案されてい対策は全て、その場しのぎの対策としか受けとれません。</p> <p>そもそも、教師不足になっている原因は、現場の多忙化と世間の教職に対しての厳しい風当たりによって、職場環境が劣悪になり、教職の魅力がなくなっている事が原因です。マスコミからも攻撃対象にされ、おまけに給料も安く、残業代も出ない、その上長時間労働が普通のこの職場に、これからの子どもたちが魅力を感じるわけがない。劣悪な環境の職場に、履歴書なんて誰も出しません。</p> <p>具体的には、教育予算を増やし、教職員の採用人数を増やすこと、そして少人数教育をさらに広げるために、1校あたりの教職員定数を増やし、現場の教職員一人あたりの負担を大きく軽減すること。現場教職員に余裕があれば、素晴らしい授業作りができ、もっと生徒と関わる時間を作ることができます。公務での失敗も無くなります。</p> <p>子どもたちに、まともな学習指導と生活指導をする時間と余裕を私たちにください。5年後、10年後、改善された教育活動は、優秀な人材の育成と同時に教職対しての魅力回復につながるはずです。5年後、10年後のことを考えた政策をお願いします。</p> |
| 小学校    | 60代以上 | <p>なぜ教員のなり手が少ないのか、なぜ離職者が増えているのか、教員の理不尽な働かされ方に目を向けなければ、何も解決しない。</p> <p>ビルド、ビルド、ビルドで、よりよい教育の名の下に、〇〇教育という新しい取り組みが際限なく押し付けられている教員現場を見てほしい。</p> <p>先日も、起業家精神教育という新たな提案があり、私たちの現状に目を向ける気は毛頭ないのだと残念な気持ちになりました。</p>   |
| 特別支援学校 | 30代   | <p>教員離れの原因はどう考えても労働環境があまりにひどいからです。小手先の対策ではなく、抜本的な改善が必要です。</p>   |
| 高校     | 40代   | <p>①企業の方がブラックだとわかってる環境に飛び込んでくるとは思えない。②教育学部に行ってすら教員にならない選択肢を選んだ人が、ブラックなままの教職を選んでくれるとは思えない。③ブラックなままでは戻ってこない。④早期化しても滑り止めにする辞退者が出て結局採用見込みが立たなくなり苦勞すると思えない。</p>  |
| 中学校    | 30代   | <p>根本的な解決策になっていない。『なぜ今の若者が教員にならないのか』を理解していない。ブラック企業を選ぶ若者はいません。</p>  |
| 特別支    | 40代   | <p>教員不足の根本理由は過酷な労働環境だと思いますが、それをなん</p>   |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 援学校 |     | とかしようという施策ではないため、抜本的長期的な解決には至らないと感じます。   |
| 小学校 | 30代 | <p>教員不足で一番効果的なのは、教員になれる人の要件を甘くすることよりも学校でやるべきこと、その必要がないことを改めて精査して一人ひとりの業務の軽減を図ること、また教員の給与面での待遇改善を図ることだと思います。</p> <p>長時間労働で心身の不調をきたし現場を去る人が後を絶たず、また業務を終わらせるために長時間の残業をしているのに残業代も出ません。休憩時間すらほぼ取れず、負担の大きい校務分掌を担っても手当もつかず、平日の部活動も無給。仕事をこなせばこなすほど新しい仕事が舞い込んできます。風邪を引いても休めません。燃え尽きるまで働かされるこの現状を抜本的に変えないと、教員志望の人も劇的には増えないと思いますし、教員になってもすぐに教壇から去っていただけだと思います。大臣の提案は根本的な人手不足の解消には繋がりません。むしろ</p> <p>要件を甘くすることで、本来教員の適性がない人も現場に入ってくる可能性があり、教員の不祥事も増加するのではないかと不安です。それは児童生徒の安全と学びを保障するためにも絶対に避けなければいけません。</p> |
| 小学校 | 30代 | 「教職員の働き方はブラックだ」と全国民が認めている状況なので、そんな労働環境に希望者が多数流れてくるなんてありえない。  |
| 中学校 | 20代 | 業務過多の根本的な解決から逃げているだけ。さらに、教員採用試験は早期化することで、就活に流れる学生は確実に増えると考えられる。むしろ教員不足を悪化させるのではないか。  |
| 小学校 | 40代 | 教員の労働環境を改善して教員志望者を増やす、という立場に立たない限り無理です。  |
| 小学校 | 50代 | 待遇面の改善など魅力ある職業であることが大事   |
| 中学校 | 20代 | 目まぐるしく変化していく教育現場で、離職した人や定年を迎えられた方の積極採用をしても、何も変わらないと思う。新しい風は吹かない。   |
| 高校  | 30代 | <p>おそらく今後教員数の減少が続き、公立校の統合が進むと思われる。それは過疎化が進む地方をさらに減衰させることになる。</p> <p>キーポイントは、Core ハイスクールネットワーク構想の導入である。すなわち、ネット回線を使い、同じ授業を複数の学校で受けられるようにすることである。実際に試行も行われている。もちろん、職員が張り付かねばならないが、上記のような形で雇用された教員</p>  |

|       |     |  |
|-------|-----|--|
|       |     | でも授業研修のような形で経験を積むことができる。または複数人の授業担当者を設けることで教師の負担も減るだろう。<br>地方の過疎化が進む学校は、中学校と小学校にもこの構想を推進していく必要がある。逆に、それをブランド化し、複数校の教員でプロジェクトを組んで山村留学のような形にすることもできる。このような形で、教育のプロフェッショナルを中心としながら、流動的になる教員採用においてマネージャーとして活躍し、個々の教員の特性を活かしてほしい。また、PTAなどを通じて地域の教員免許取得者や人格的に信頼できる人材をヘッドハンティングし、退職後のキャリアとして地域貢献を促しても良いだろう。 |
| 小学校   | 30代 | ①に関してはその分野の専門性を持たない教諭に教員させても、その場しのぎでしかない。根本解決ではない。②は解決法になる理由がよくわからない。③は離職してるのには理由があるはず。戻ってくるとは思えない。④は解決の糸口になる可能性はあるかも。   |
| 中学校   | 30代 | 全ての政策が根本的な解決になっていません。教育の質の確保のためになっておらず、その場しのぎにしか感じられません。特別免許を活用しても、早期に採用試験を実施しても、教員自体が魅力的な職業でない限り、先細りしていきだけです。教員の業務を整理して、何事も学校の負担にせず、教師の数を増やして欲しい。   |
| 小学校   | 30代 | ハードルを下げたことを提案しても、教員はブラックという事実を多くの人知っているので、やりたがらない。   |
| 小学校   | 30代 | 特別免許状はよく言われる教員の質とは完全に矛盾する。そして、全て対症療法で根本的な労働環境の問題を解決しないのは卑怯だと思う。  |
| 中高一貫校 | 50代 | 私学助成を増やして、教育現場の疲弊を少しでも解消して行く条件整備こそ大事だとなぜわからないのか？   |
| 小学校   | 30代 | 免許更新制度を導入・廃止したことへの反省はどこにあるのか、こうなることは分かっていたのか。  |
| 小学校   | 20代 | その場しのぎ感が否めない対応。表面だけをすくっているような感じがする。建前だけ。   |
| 小学校   | 50代 | 免許状に関わること以外に、基本的な業務の見直し、削減を図る政策が無いと解決しない。  |
| 中学校   | 40代 | 一時的には改善したように見えるが、根本的な事を変えなければ意味がない。人を補充したとて、部活がある限り、生徒指導やトラブル等が無くなる訳ではない。  |
| 上記以   | 30代 | 教諭の仕事の抜本的改革なしに人は集まらない。#教師のバトン  |

|      |     |   |
|------|-----|---|
| 外    |     | で、現場の悲鳴を聞いて欲しい。   |
| 高校   | 50代 | 教員が働きやすい環境を整えるのが先だと思う。学校をIT化するなら、教員にさせるのではなく、専門家を学校に配置すべき。  |
| 中学校  | 30代 | 教員不足の根本的解決には結びつかないと思う。不足の原因は忙しすぎる勤務の実態と実態に見合わない待遇に関するところが大きいのでは。そちらの解決が喫緊の課題だと思う。   |
| 上記以外 | 50代 | ピン트가ずれている。あるいは、避けている。教育を司るに値しない。  |
| 小学校  | 30代 | 教員になりやすくなったって、業務量や過酷さが変わらなければ辞める一方です。全く現場の声を聞いていないと感じます。もっと教育に予算を割くしか考えられません。   |
| 中学校  | 30代 | 正規の教員の数を増やして教育環境を充実されるという根本的にやるべきことを無視しているので、むしろ教員の負担間や疲労が広がり、それが教育環境の悪化につながると思う。   |
| 中学校  | 30代 | 教員不足の原因はそもそも教員養成や採用試験ではないです。国立大学の教員養成課程の学生が「教職はブラックだ」ということを懸念して教職に就くことを避けています。から目を逸らさないで欲しい。  |
| 高校   | 40代 | 全く的外れ。定額働かせ放題を解消せずに教員志望者は増やせない。   |
| 小学校  | 20代 | もっと、現場の状況に目を向けてほしい<br>自衛隊や沖縄の基地等への予算より教育予算をもっと引き上げて、給料も上げて、教育の充実に力を入れてほしい   |
| 小学校  | 20代 | 残業なし、または残業代を払わない限り解決しません。教員も人間です。   |
| 小学校  | 20代 | そもそも希望する人が減ってきているのに窓口を広げても根本的解決にはならず、むしろ教員の価値を下げる提案ではないかと思う。教員の仕事の実態がSNSで発信されているため、ブラック企業と言われ、世間的には「大変そう、しんどそう」が魅力を上回っていると思う。また、教職に就かなくても子どもと関わる仕事もたくさんあることから、採用のボーダーラインを落として、教員を確保しないとという焦りのようなものが教員の質を落とすことにもなりかねないと思う。<br>実際、教員採用試験に合格していなくても講師はできるし、担任も持つこともできるため、採用枠を増やしたところで教員不足を解消できるとは思わない。 |

|     |       |  |
|-----|-------|--|
| 中学校 | 30代   | 働き方に問題があるため、それ以外の部分を変えても根本的な解決にはならないと思う  |
| 小学校 | 20代   | 教員不足に陥っている根本的な理由を未だに理解していないのだと思う。  |
| 高校  | 30代   | 門扉を開いたところで、選択肢が他にある人は勤務内容を判断して学校を選ばない。退職教員は正規に与えられた仕事を拒否する。  |
| 小学校 | 30代   | 増やすことよりも、今現場にいる人の負担を減らし、待遇を解決するべき。   |
| 小学校 | 30代   | 現場の教員の働き方が改善されていない中で、学校で働きたいという方は増えない。   |
| 中学校 | 20代   | まず、全てにおいて任用の形式が不明であるので記入することすら難しいが、臨時的任用（以下、臨任）者に任命するという事ならば先を見据えてないお粗末な使い捨て教員増加政策と言えるだろう。本務者として任用するならば、今まで教員をやってきた人を馬鹿にしている現場を見れていないお粗末なお役所政策だろう。   |
| 中学校 | 20代   | 何がなんでもお金は使わない、という意思を感じる。なぜ教育(保育などもそうだが)はプロの仕事として尊重してもらえないのか。理解に苦しむ。  |
| 中学校 | 30代   | 残業代が出ないこと、働き方が一向に改革されない故に皆心身を病んでいきます。部活動の外部委託、事務作業の外部委託、給特法の見直しを早急にすべきです。  |
| 小学校 | 20代   | 現場の働き方を変えなければ働き手は見つからない。根本的な解決になっていない。   |
| 小学校 | 20代   | 知り合いの離職は、教職の激務・残業代が出ないことが理由だった。教育大学時代に教職へつかない同級生も同じ理由だった。そのため、現状の働き方を変えたり、待遇を変えない限り②③の効果はないと思われる。<br>また、④についても、採用試験に落ちた人はほとんどが講師として働いている。講師が不足している今、採用試験を早期にしても、教員になりたい人がそもそも不足しているので、効果的ではない。<br>①については、末松大臣が教職をいかに軽視しているかが分かる。 |
| 小学校 | 60代以上 | 基本的にお金をかけない、という思惑が見えます。人を増やすことが最も必要でそのためには予算を大幅に増やすことが何より大切です。   |
| 小学校 | 30代   | 根本的に、教員の仕事量が多いことや残業が状態化していることなどのネガティブな要素を解決し、それを広く伝えていかない限り教   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | 員希望者が増えることは無い。残業手当の支払いなども含めてやりがい搾取では無い方法の、教員の魅力を作らなければならない。   |
| 高校     | 30代 | 優秀な人材を育てる・優秀な人材を集めるわけではなく、とにかく人数だけを増やそうとしているように感じる。これでは短期的には少し人数が増えるかもしれないが根本的な解決にはならない。  |
| 中学校    | 30代 | 一時しのぎにしかない  |
| 中学校    | 20代 | 業務量を減らし、残業代を支給し、学校外で起こることに学校が関わらない。そうしなければ教員不足は解消しないし、離職者は増え、教職員の家庭は崩壊してしまうと思います。4つの提案は根本的解決にはなりません。増やすのではなく減らしていくべきです。   |
| 小学校    | 30代 | そもそも働きたい・働き続けたい・働き続けられる環境にならなければ、雇用を増やしても離職は増え続けると思います。   |
| 特別支援学校 | 30代 | 教員の働き方改革、待遇改善をしなければ教職を目指す方がどんどん減っていく。特別支援学校は現在も免許状を持っていない方が働いているが、やはり専門性に欠けると感じる。   |
| 上記以外   | 20代 | 根本的な解決にはなっていない。<br>①の特別免許状は、大学でしっかり教育学を学んだ人たちを馬鹿にしている。  |
| 高校     | 30代 | 大変失礼ながら、抜本的な教員の魅力回復のための英断をせず小手先の数集めに走っており、その代償に教員採用の質の担保の面で妥協することになっており愚策と考えます。支持できません。   |
| 小学校    | 30代 | なぜ離職したのか。なぜ免許保有してるのに教員にならなかったのか。20年前はなりたくてもなれない仕事だったのに、今の若者が敬遠するのはなぜなのか。全ては、仕事内容が激務だからである。そもそもの理由となっている部分を改善せず、小手先だけの手段では何も変わらない。誰でもいいから増やすだけでは、現場で踏ん張っている人の余計な仕事が増えるだけである。<br>労働環境改善以外の解決策は1つもない。                  |
| 高校     | 30代 | 教員の時間外労働がなくなる施策を取らない限り人は増えない  |
| 小学校    | 20代 | 制度の問題よりも、体制やシステム変更が先。例えば学習指導要領の大幅な削減(学習が多すぎて子どもたちもかなりの負担になっている)、時間数の削減など。4年生以上は毎日6時間目まで授業があり、そのあとに宿題、習い事と忙しく過ごしている。不登校やメンタルヘルスになるのも当たり前です。そのため、勤務時間ギリギリまで子どもが学校に残っている状態になり、仕事も終わらず、残業の日々です。(段々と教員には残業代がない、定額働かせて放題な |

|      |       |  |
|------|-------|--|
|      |       | ことが露呈してきています。)毎日忙しなさすぎて、必要な会議も定時過ぎまで行われています。教員が配置されない問題もあります。ご、真面目な先生たちばかりで何とか休みなしでカバーしています。みんなヘトヘト、病欠寸前です。もう人員は絶対増えないので、業務を減らす、なくす、他に任せるしかありません。                                  |
| 小学校  | 60代以上 | 教員の多忙化や待遇改善などに触れておらず、現場無視の提案では、教員希望者は増えないばかりか、質は低下するばかりだとおもいます。  |
| 中学校  | 40代   | 優先順位が違う 業務削減 授業時数削減 教員の定数は正  |
| 小学校  | 30代   | 物理的に人を集める方法しか考えていないと思う   |
| 小学校  | 20代   | ③は例えば、子育てのために離れてしまったママ先生が、子育てが終わって戻って来やすい環境がつくられるならばよいと思う。一方で、じゃあなんで免許持ってる人はこんなにいるのに教員は不足しているのか、を考えて対策しないと、意味ないと思う。  |
| 小学校  | 30代   | すべての外れに感じます。①はありえない。免許がいらないのであれば、今までの教員免許更新は何だったのか。特定の教科の免許状を持っていない教員に負担がいくのが目に見えています。また、教員の質も下がります。②③④は、そもそも教員になりたいと思わない現状を改善すべきです。離職する原因、倍率が下がる原因は、ブラックな環境だからです。                 |
| 中学校  | 40代   | 学校が担うべき役割をきちんと整理してみたらいい。そのうえで、教科指導のことしか学んでこなかったであろう新採たちにその他のさまざまある必要な学校業務をきちんと教えるシステム、人材を確保できるように整えていくべきだと思います。新人に見習わせたいような教師、頑張る人、できる人ほど仕事が増えて余裕がない状態にあり、技術や経験を伝える時間がとれずにいると思います。 |
| 高校   | 30代   | 離職した方を呼び戻す、免許状を取りながら教職に就かなかった人を教員に、と言うが辞めたのにもならなかったのにも理由がある。それを解決しないまま、②③をするのは無意味。抜本的な解決(働き方改革)をすべき。   |
| 上記以外 | 40代   | 根本的に今、教員の皆さんが困っていることを解決していないからいくら、増やしても同じことの繰り返しだと思います。<br>離職した教員がなぜ離職したのか考えてほしい。  |
| 小学校  | 30代   | 職場環境をより良くしないと、このままでは離職率が上がる一方だと思います。   |
| 小学校  | 30代   | 大臣の提案で、教員にはなりやすくなると思う。でもなりたいとは   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 思わない限り、なり手は増えないと思う。現場の改革を早急に行わなければ何も変わらない。  |
| 中学校    | 30代   | 今の学校で必死に働いている人への対応がないから、どんどん離職するのでは。わたしも続けたいですが核家族家庭で、息子を育てながら激務をこなせません。人手不足なのに贅沢と言われてしまいますが、子育て支援がないと子供が小学生になったときに自分の子を犠牲にする働き方はできません。もちろん続けたいのですが。あと、保護者からの心無い言葉や児童生徒からの暴言がたまにフラッシュバックします。その生活にまた戻りたいと思えない時もあります。(これに耐えながら息子を犠牲にするなんて!と思います。) |
| 小学校    | 30代   | 根本的な解決になっていない。<br>教員の魅力(負担や責任の重さ、それに対する給与のバランス)が低いため志望者がいない。教員の仕事を精査し、部活動の外部委託、専科や副担任を増やして持ち時数を軽減する等を国を上げてすべき。  |
| 高校     | 30代   | 表面的に解決したように見えても根本的に解決しないと思います。魅力ある職業でなければ人員が集まらないので小手先の人員補充を目的とした政策ではなく、先に現場の労働環境の改善に注力して欲しいです。やりました感のある政策ばかりを提案されますと、失望の念ばかり感じてしまいます。  |
| 特別支援学校 | 30代   | 特別免許状を活用することで外からの風を取り入れられることは良いことだと思う。しかし特別免許状で現場に入ったり、免許はあっても教員経験がなかった人が現場に入ったりすることで、その人たちをサポートする必要があるが、そのためのマンパワーが足りないのが現状。人を育てる人員が足りない。通常業務で手一杯なのに、そこまで力を割けない。まずは教員の業務を減らしてからでないと意味がないと思う。   |
| 中学校    | 60代以上 | 教員志望者が減少している理由を解決せずに、小手先の人数集めをしても難しいと思います。抜本的な教職員定数改善(例えば、すべての校種で週15時間など持ち時数の上限を設ける、小学校は複数担任制(全部をTT授業にすることを前提に)にする、部活動の指導時間も授業時数とカウントしそれを基に教職員の配置を改善させる、学級の定数を大幅に改善させる等)を国として打ち出し、魅力ある職場として打ち出すようにすべきだと思います。                                    |
| 特別支援学校 | 50代   | ついこの間まで教員免許更新制をやっていたのに、すぐさまその真逆のような政策(①、③)を持ち出すなんて、あきれられる。  |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 小学校 | 30代 | 教員の働く方改革と言っている割には実際が伴っていない   |
| 高校  | 30代 | 先生になりたい方は一定数居る。しかし定着しない。ので上記対策は全く無意味。  |
| 小学校 | 30代 | 職務の多さによる長時間勤務を解決しないと根本的な解決にはならない。  |
| 中学校 | 30代 | 教員採用のシステムの改善も必要だと思うが、何より多様な働き方を選択できる時代において、働きやすさという点で教員に魅力が無いことが大きな問題だと考える   |
| 中学校 | 30代 | 教職のブラックなイメージを払拭することが前提の提案。まずは教職の中にある不安要素を減らしていくべき。   |
| 高校  | 50代 | 正規採用をふやすこと。なんで年1回の採用試験だけなのか？中途採用だってあるし、非正規の人をなぜ採用しないのか   |
| 小学校 | 30代 | そもそも志望者が減っている職種なので一度離れた人に再び復帰してもらうのは難しい（大変な部分を経験しているから）と思います。現在のブラックなイメージを払拭するためには処遇の改善もありがたいですが業務内容を削減してほしいです。何でもかんでも減らすことなく増やしすぎ。  |
| 小学校 | 20代 | 教員を増やしてほしい。専門性が求められるから大学4年間教育について学習して、教育実習にも4週間行って学んでから先生になった。それなのに、教育現場の仕事もわからない人に、特別免許を授けるなんて意味わからない。おかしいと思う。賃金を上げることがまずしてほしい。タダ働きしている時間がたくさんある。   |
| 小学校 | 30代 | 教員に「なりたい」と思う人が減っている。もしくは「やれない」と判断をした人が多いのが現状です。免許の活用などで門戸を開いても人は集まらないと思います。  |
| 中学校 | 40代 | 教師になりたいと思える人が増えなければ、結局人は集まらない。究極のブラックといわれる教師の勤務実態を改善し、労働に見合うだけの賃金を保証することが第一段階として必要。また、多くの若者は将来のことを考えて正規採用を希望している。講師枠を増やすのではなく、正規の採用枠を増やすためにも、30人学級の早期実現と教員定数の改善を求めます。<br>防衛費増やす金があったら福利更正や教育費に回してく下さい。ロシアや中国から攻撃を受ける前に国民は国家に殺されてしまいます。国民の生活を削って防衛費へ国を守るために核を共有して使えるようにする。今日本が向かっている未来は、まるで北朝鮮です。 |
| 中学校 | 30代 | 教員の働き方がこれほどまでにブラックだと言われている中で免  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | 許更新を廃止したり、教員養成を促進しても志望する人は少ないと思う。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 残業代が出ないことは、大きいです。結局業務は、勤務時間内に終わることはなく、帰宅後や土日にこなしています。  |
| 中学校    | 30代   | すでに退職された方々ならば余計、激務と分かっているはず。しかも現職時よりも複雑化された教育体制によって、自身の教育実践がしづらい教職現場に戻ってこようとする人が少ないのは火を見るより明らかである。 |
| 小学校    | 20代   | 教員不足になる本質を分かっている   |
| 中高一貫校  | 30代   | 新規の専任教員数を増やそうとする意思がみえない  |
| 中学校    | 40代   | 教員を増やし、1週間（一日）の授業数を減らす。超過勤務を解消しなければ、希望者は増えない。  |
| 中学校    | 40代   | 教育になったかける予算の少なさ。これにつきます。もっと教育に金をつぎ込む覚悟が必要です。金をかければ人は増える可能性があります。                                   |
| 小学校    | 60代以上 | 教員の仕事に魅力を感じる人が減っている原因を考えない限り、採用のあり方だけの政策では解決しないと思います。  |
| 小学校    | 30代   | 長時間労働が原因で辞めてる人が多いのだからそこを改善しないとどうしようもないと思う。   |
| 特別支援学校 | 30代   | なぜ教員不足なのか、なぜ働き方改革が必要と言われてるのか根本的にわかっていない。   |
| 中学校    | 20代   | 教員の労働環境を改善しなければ、教員不足は解決しない。  |
| 高校     | 20代   | 何一つの射を射ていない。いま働いている教員の働き方が問題にも関わらず、全てそこからは逸れた内容。ふざけているのかとさえ思う。                                     |
| 小学校    | 40代   | 教職員の処遇改善と長時間過密労働の是正の方が優先されるべき。   |
| 小学校    | 40代   | 給料が安過ぎると超過勤務が多過ぎること、残業代がつかないこと、早く帰るように言われるが業務の内容は減らないから意味がない。数年後には全国の学校で職員の半分がいらないような状態に鳴門思われる。    |
| 小学校    | 20代   | 教員の待遇改善が必要だと思います。  |
| 小学校    | 40代   | 根本的に、正規の教員を増やさないと解決しません。   |
| 小学校    | 60代以上 | 的はずれ!今の大学生は、残業が長すぎ、時間外労働時間が多いため、先生になりたいがらないことを大臣は理解していない。  |
| 小学校    | 20代   | 足りないのなら採用を増やしていくべき。<br>なりたい人は普通にたくさんいます。   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 中学校    | 50代 | こんなブラックな仕事の状況では、希望者が増えない。   |
| 中学校    | 40代 | 付け焼き刃的な対策でしかない。根本的に、一人当たりの仕事量を減らし負担を軽減すること。とにかくやることが多すぎる。あり得ないレベルです。  |
| 特別支援学校 | 40代 | 就職氷河期世代を、今、教員正規採用しない理由はなにか。国立で修士号とって筆記八割正解しても、毎年面接で不合格だが、ブラック企業を渡り歩いて履歴書も精神も汚れきったが、人間性に問題があるのか、今若い世代が多く正規採用されて家庭を持って、見下され棄民された私達は自己責任か。私は練炭を用意して覚悟しているが、もう覚悟にも疲れて自殺がしたい。拡大自殺やテロにはしる者があらわれたらどうする。上級国民は利害関係の神輿に乗っかるだけか。現代と大戦中の大本営と何が違う。 |
| 小学校    | 50代 | 多少の効果は有るだろうが実効が得られるのは早くても2~3年後。今足りない状態を解消する対策、来春に教師不足とならないようにする対策が欲しい。何も手立てが無いのだろうが。  |
| 小学校    | 30代 | 根本的原因の解決になっていない。なりやすさを求めても辞めやすい仕事になるだけ。教員不足を解決するための働き方改革なのか。今働いている人達の労働については改善する気がないのか。現職の人達を守ろうともしない姿勢に辟易する。   |
| 小学校    | 20代 | お願いなので、業務量を減らしてください。  |
| 小学校    | 30代 | 金をかけずに何かやろうとしている時点でダメだと思う。教員数はこのままでもいいから給料を増やす・残業代をつける、それか、給料は増えない・残業代はつけない代わりに教員数を増やして担任は授業に専念できる環境を作ってください。   |
| 高校     | 30代 | 基本的な待遇改善がなければ教職希望者は増えない。  |
| 高校     | 40代 | 仕事を減らす選択肢だけは意地でも選ばないのだなとがっかり  |
| 小学校    | 30代 | 教員不足で早急な対処として上記のことを挙げているが、根本的には解決しないし、教員の質は落ちると思う。本当にやらないといけないのは、教員になりたいと思う人を増やすための職場環境や仕事内容の改善です。  |
| 小学校    | 30代 | 教育現場の環境を変えないと根本的な解決にはならないと思う。特に学校に何もかもまとめてしまう保護者を止めてほしい。  |
| 小学校    | 30代 | 4つの提案では、教員不足の根本的な問題は解決されない。新たな〇〇教育が加わる一方で、減らされるものがない。キャリアパスポートが良い例。今の時期(子どもも大人も)にあった教育労働環境を整えてほしい。  |

|      |       |  |
|------|-------|--|
| 小学校  | 20代   | 抜本的な改革から逃げているだけにしか見えない。今現場にいる人を大切にしないでどうするのか疑問。  |
| 中学校  | 20代   | 教員の待遇を変えなければ、変わらないと思う。   |
| 中学校  | 50代   | そもそも、教員不足の原因は、働き方が過酷すぎて敬遠されているからであって、免許を取りにくいとか大学の先輩がいないとか採用試験の時期が遅いから民間に就職しがち、というわけではないからです。根本を解決しようとせずに、他に目を向けさせたいかのような対策で、不信感を持ちます。 |
| 上記以外 | 60代以上 | 両刃の剣になるかもしれないけど、もっと自由に採用範囲を広げるべき。ただ、質の低下を防ぐための方策をしないと、非適格なかたが出るリスクがあるけど。   |
| 中学校  | 30代   | 解決すべき課題に向き合っていない。  |
| 小学校  | 30代   | 10年間連絡をとっていなかった教育委員会に勤める方が、臨時的任用教員やってくれそうな人いない？と連絡がありました。それだけ現場は人が足りていません。   |
| 高校   | 30代   | 免許を保有している人材で有れば誰でもいいのかという印象  |
| 中学校  | 30代   | 肝心のブラックな部分の対応が全くと言っていいほどないから。ブラックなのが改善しないのに4つの提案なんてしても人は来ません。  |
| 小学校  | 50代   | 教育に、魅力が感じられないから増えないということ認識できていない。子どもと向き合うこと以外の業務を見直すことが必要。経験者を登用するならば、ICTについては、他の専門家を任用し副担任という形でサポートする体制を整えなければ、戻っては来ない。               |
| 中学校  | 40代   | 誰がなっても国会ではこういう言い方になるんだろうなと思いました。   |
| 小学校  | 30代   | 緊急的な措置としての話だと思います  |
| 小学校  | 30代   | 教育予算と人を増やしてほしい。  |
| 高校   | 20代   | 早く部活動外部化してください、調査はもううんざりです。公立高校にもっとお金かけてください。<br>生徒の登校完了時間と教員の始業時間がおんなじなのはいつになれば解消しますか？<br>残業代払ってください、                                 |
| 小学校  | 50代   | 超ブラックな働き方が続く環境では、教師の数は増えません。その上、サービス残業の毎日です。   |
| 中学校  | 20代   | 【業務量】について触れるべきだと感じます。  |
| 小学校  | 60代   | 現場の働き方を改めないと教職を去る人も多く、本質的な解決にな   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        | 以上    | らないと思う。待遇改善も必要です。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 教職員定数の改善、持ち時間を減らすなど働きやすい条件づくりが必要だと思う  |
| 高校     | 60代以上 | 何故教員不足なのかの本質をとらえていない。こんな付け焼き刃的対策では魅力なし、解決されない   |
| 小学校    | 60代以上 | ・専門性を軽視している。また、教員がやりがいを持って働ける条件整備が無い。・評価システムも毒をまいている。→即刻廃止すべき。管理職は皆に尊敬される人を選ぶべき。また、ある程度経験があり、少しはアドバイスできる人にするべき。パワハラなど、もつての他。                                    |
| 小学校    | 30代   | 仕事量多く、残業代がでないことなど、根本的な問題がなにも解決していない。  |
| 小学校    | 50代   | 教員の労働環境に目を向けない限り、改善はのぞめない   |
| 中学校    | 50代   | 重箱の隅をつつくよう。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 今、教師になりたい人が少ないのは教師の仕事が大変で、魅力を感じられないからだと思います。教師が自由に意見が言えてイキイキ仕事ができるようになれば良いと思います。更に、今時間的に余裕がなくて勤務時間外も持ち帰り仕事に追われます。この大変さも解消できれば、現場の教師も元気になれるし教師になろうと思う人も増えると思います。 |
| 上記以外   | 60代以上 | 現場の大変さがわかっていないと思う。抜本的な改善をしなければ現状打破は無理。<br>教員の子ども達の家庭生活のゆとりのなさも気になる。   |
| 小学校    | 60代以上 | 離職した原因は様々ですが現場の大変さが解決されない限り戻る気にならない、命を、取られるような現場はコリゴリ。定年延長でまた安上がりの増員を図ろうとしているのが見え見え。この急場をしのぐには、定年後の再任用は定数外にして現場の負担を少しでも軽くする。                                    |
| 高校     | 60代以上 | 教育予算の大幅拡充をしなければ根本対応できない。  |
| 高校     | 60代以上 | いかに金をかけずにその場凌ぎをするかしか考えられていない。教員不足の原因も実態も分かっていないのか。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 特別免許状の積極的活用といっていますが、特別免許状は、教員免許をもたない社会人に対して、いわば例外的に発行される免許状であり、これを乱発することは、教職の専門性をないがしろにすることにつながります。また離職した先生や免許状保持者の任用と言っ  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | ていますが、離職された先生は、それぞれ固有の事情によって教職をやめられた方であり、簡単に任用できるものではありません。また免許状保持者の任用については、例えば私が非常勤講師を務めている教員養成系大学でも、教員免許は一応取得したが、まったく教職とは違った道に進んだ（その学生の場合は、吉本興業でした）学生もあり、そうした人を任用することは大変困難であると考えます。そうした小手先のやり方ではなく、教師の数を増やすことこそ解決の道であり、そのための予算を確保してほしいと思います。（大阪・山口妙子） |
| 中高一貫校  | 40代   | お金かけない方法では優秀な人は集まらない。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 教職員の待遇改善や、職場環境を整えることをしなければ、基本的に人手不足は解消しない。定額働かせて放題などと悪評高いお仕事になってしまっている現況をしっかりと見て欲しい。  |
| 小学校    | 50代   | 教員不足を招いているのは、教員のブラックな働き方が世に知られるようになったからです。そこの切り込まないと、状況は何も変わりません。   |
| 小学校    | 40代   | 教員の給与を上げ、負担を減らすことで、教員が増えます。子どもや教育に関することのみ税金を使うことをケチるのはやめて下さい。文科省は教育をこれ以上破壊しないで下さい。  |
| 中学校    | 60代以上 | 免許の有無より「志望動機」<br>世界最高位の日本国憲法の理念と理想の実現！<br>と言う「教育観」と「教師観」自己の教科に対する「教科観」<br>児童生徒に対する「児童生徒観」授業観に指導観<br>あらゆる教育活動に世界最高位の日本国憲法を遵守し人権を徹底尊重する！<br>これだけが絶対条件ですよ！<br>憲法無視 統制支配を核とした教育の結末が「今」  |
| 上記以外   | 60代以上 | 予算を増やすこと。働き方改革ではなく、多忙化解消の対策を  |
| 上記以外   | 60代以上 | 当面の対症療法で、根本的な教員不足解消に繋がらないと思う。   |
| 小学校    | 30代   | そもそも教員が大事にされない現状が変わらない限り、教員希望者は減るばかり。少人数学級今こそ！  |
| 中学校    | 50代   | 小手先の施策では教員希望者は増えないことがこの間の採用試験者数を見れば明らか。   |

|      |       |   |
|------|-------|---|
|      |       | 一人当たりの業務量を減らすために、人員増しか対策なし、そのためには、人件費を充分確保し、教職員定数の改善とともに、人クラスあたりの子どもの人数を減らすことが重要。   |
| 中学校  | 30代   | 付け焼刃の対症療法としか考えられない。免許更新制度で教員免許を失効してしまった人には良い施策だとは思いますが、根本的に教員不足を解消するための方法ではない。  |
| 上記以外 | 60代以上 | 政治の介入をやめ、自由に学ぶ学校にしてほしい。大阪は酷い。公立学校の校舎もボロボロで、何かといえば上からの指示に従えという。小手先の改善でなく、教員の数を増やし、教材研究が充分にできる労働環境が必要。賃金を上げ、労働条件を良くする事なしに教員不足は解消されないとと思う。さらに、クラス定員を小中高全てで現状より少なくする必要がある。未来の社会をつくる子どもたちの為に公的資金をもっと沢山使うことが政治の役割だと思う！  |
| 高校   | 50代   | 学校現場が何が原因で疲弊しているか全く理解していない。増えることはあっても減ることのない業務、一つ一つに時間をかけて目配りできない時間のなさ、土日祝日返しないと保護者からバッシングされる部活動、これらを解決しないとどんなに人を勧誘しても嫌がられるだけです。  |
| 小学校  | 60代以上 | 採用枠を大幅に増やす  |
| 高校   | 60代以上 | 特別免許は元々免許の無い人なので、評価出来ない。  |
| 小学校  | 30代   | <p>教員不足を解消するにはまず、賃金を上げ、部活動など教育活動の見直しが必要だと思います。</p> <p>教員を定額働かせ放題にしている給特法も見直ししてほしいです。付け焼き刃で誰でもいいから人を集めるのではなく、今いる若手教員の手厚い育成もしてほしい。</p> <p>(相談できる人が少なく一人でも悩み病んでいく同僚が多いため、退職教員を再任用するなど、いつでも相談できる体制をとるなど)</p> <p>子どもたちを多面的に見るため、支援員の増員も必要です。</p> <p>さまざまな家庭事情を抱える子どもたちを支えるため、社会福祉士・臨床心理士も各校に常駐させてほしいです。</p> <p>今は、1人の教師が多くのことを抱え込みすぎ、病んだり、子育てに行き詰まり離職しています。</p> <p>「ブラックな働き方」ばかりが目立ち、優秀な若者が教職員志望として集まらないことが問題だと思います。</p> |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 子どもや教員を多面的に手厚く支えることにより、「専門性」のある教員の確保、増員につながると思います。  |
| 高校     | 20代   | そういうことが問題なのではなく、そもそもの業務量の多さや、残業代が出ないことが問題。<br>ですので、教員の業務量を減らす方向を目指す、残業代を出す、なるべく定時退勤できるような改善をして欲しいです。  |
| 小学校    | 60代以上 | お金をかけずに、何かしようとポーズに過ぎない。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 現場の労働条件を改善してください。<br>教員は専門職です。専門以外の仕事を担う職種を配置してください。<br>子ども達と触れ合う時間が確保できるよう、生徒数や教員定数を改善してください。  |
| 小学校    | 40代   | 根本的に業務内容の厳選ではないでしょうか？   |
| 小学校    | 20代   | 教員の待遇が変わらない限り効果はない。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員の仕事があまりにも多忙で、教師になりたいと思う人が少ないのに、免許を持っているから教師になってくれと言っても教員不足解消にはならない。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 教員不足の原因として上記4つが提案されたことに、非常に強い違和感を覚えます。私は、川崎市立の中学校、高等学校を15年ずつ経験してきました。当時の私の教員としての仕事は、校務分掌の仕事・教科指導（つまり授業～週18～22時間）・担任の仕事・学年分掌の仕事（体育祭・文化祭・修学旅行等の集団指導や校務分掌、学年、教科のそれぞれの会議を含む）・部活動（中学：水泳部・卓球部一高校：卓球部で土日出勤は当たり前～練習・練習試合・公式試合等）でした。その間に、家庭訪問や問題行動があれば指導のために夜遅くまで対応しました。現在の教育現場も、私の経験したこのような過去の現場以上の仕事量でしょう。実際の教員の仕事の内容や量から、教員不足は教員になってから辞めてしまったり、精神障害を負ったり、実際に体を壊したりというのも原因でしょう。もう一度大臣の提案を見てみましょう。教育現場の教員が、この4つの提案を見て、あまりにも乖離していることが分かります。①特別免許状の積極的活用？だから何が変わるの？②教員養成系大学に卒業生・同窓生への教員採用の情報提供を依頼？大学同士でその実績を争わせるの？③離職した先生や免許状保持者の任用？えっ？新任教員を増やす費用は考えないんだ！④教員採用試験の早期化・複線 |

|       |       |  |
|-------|-------|--|
|       |       | 化？採用試験を早める？すみません。勉強不足で、これが「教員不足解消の対策」という意味がよく分かりません。学校という教育現場を、先生方が暮らしやすく、「学校に毎日行きたいなあ。先生になって良かったなあ。」と、先生の誰もが思えるものにすれば、必ず生徒や保護者の口コミで、先生になりたいって人が増えますよ。本当は、素晴らしい仕事のはずなんだから。今の学校現場はそれとはかけ離れているのではないかと思います。大臣は、きっとそんな視点は持っていないのでしょうか。何人の先生が倒れたら分かるんだろうか。大臣は提案の出発点が違うんじゃないかなって思います。ちなみに、私は 67 歳で、母を介護しながら小さな塾で小・中・高生に、英語・数学・国語を教えています。宮本さん、吉良さん、頑張ってくださいね。 |
| 中学校   | 40代   | 全く根本的な解決にならない。<br>働き方改革を断行しないといけない。<br>労働時間を守る職場にしないと新しい人は入ってきません。<br>部活動も労働です。今はもうかれこれ3週間休み無しです。働くシステムを改善を直ぐに望みます。  |
| 中学校   | 50代   | 日々の業務を減らし、時間外労働について給与保障をすることが必要。   |
| 高校    | 20代   | 現場の状況を一切理解していない。   |
| 小学校   | 30代   | 大臣の提案は教員の質を落とすだけ。教員の仕事を削減し負担を軽減し残業代を出さない限り、教員不足は解消されない。今の状況では教員志望者は増えない。辞めていく人もますます増える。  |
| 中学校   | 30代   | 教員になりたいという人自体が減っている。労働環境を変えない限りは解決しない。とにかくやるが多すぎる。ビルドアンドビルドの現状を変えない限り、教員不足は続く。   |
| 小学校   | 60代以上 | 特別免許状ではなく、しっかり養成された人がほしい。  |
| 小学校   | 40代   | お金をかけず、人を増やさずに済むようにしているように思います。上記のような場当たりの提案では問題は解決しません。より根本的な提案をしてほしいです。  |
| 中高一貫校 | 60代以上 | 今まで免許更新制度を行なっておいて、急に特別免許とは。教員免許制度そのものを廃止せよ。それでも給特法を廃止しない限り不足は解消しません。   |
| 小学校   | 50代   | 教育基本法改悪あたりからの教育政策全体の結果がコレなんだと思う。学テやスポテ、英語、道徳、タブレット、膨大な学習内容な  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | <p>どで子どもたちを追いつめてきた。学校が窮屈になり、いじめや不登校が増え、保護者が支援を求める。そんな対応で良かった。ICTにその代わりができるわけではない。</p> <p>単なる教員政策ではなく、学校教育全体を見渡して、考えてほしい。先生にも子どもにも優しい学校を。いつも文科省の提案は、原因の分析が一面的・あるいは恣意的で処方箋が間違っている。結果、問題の解決にならないばかりか、問題をこじらせている。</p> <p>子どもは学校から逃げられない、大人は逃げられる。教員不足はそういう現象だと思う。</p> |
| 特別支援学校 | 30代   | 根本的解決にはならない。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 教師の待遇が改善されないと解決しない。   |
| 小学校    | 30代   | 根本の解決にはなっていない。  |
| 小学校    | 30代   | <p>人員確保で最も必要なのは、劣悪な職場の改善である。なぜ免許保有者が受験をしないのか。免許を保有している時点で、教職の尊さはわかっているはず。問題なのはそれなのに、なぜ受験しないかである。それは、長時間残業をせざるを得ない、部活動や地域活動といった参加自由なはずなのに強制される状態、増える業務、減らない業務など劣悪な職場環境がすでに知れ渡っているからだと考えられる。教員を増やしたいならば、劣悪な環境改善以外にない。なぜそれがわからないのか、謎である。</p>                         |
| 特別支援学校 | 20代   | <p>教員の採用人数をなぜ増やさないのか。</p> <p>大学等で専門的に学び、免許状を取得しているからプロとして採用してもいいと思う</p>   |
| 小学校    | 30代   | <p>教員が負担を感じるような現場のままでは、③は難しいのではないかと感じる。多忙感が増すばかりである。誰もが元気に働ける余裕のある環境が求められていると思う。</p>  |
| 小学校    | 50代   | 教員の仕事をバカにしている。付け焼き刃にもならない。  |
| 高校     | 50代   | <p>Q2-1の各提案(①～④)について</p> <p>①について、こんな免許状を乱発するのであれば教員免許更新講習を受講できず(うっかり失念の教員も含む)失職した教員はどうなるのか。文科省は教員の日常生活を完全に破壊し自尊心まで奪っている。文科省は常々言行不一致ばかり。教員の多くは文科省に対して失望どころか積年の恨みと敵意しか持っていない。</p> <p>②について、国公立大学の教員養成学部は現状で志望者が激減して</p>  |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
|        |     | <p>いる。率直に言うなら、他学部合格できないから最後の選択肢として合格得点の低い教育学部という、言葉が悪いのは承知のうえで敢えて言うが、捨て駒学部とあからさまに言う生徒が多い。また、教員養成課程の統廃合が各地で加速化している。このような状況で教員採用の情報提供したところで実効性はゼロに近い。</p> <p>③について、学校では「教員の働き方改革」は文科省や自治体教委の掛け声ばかりで、具体的な業務のスクラップは何も進んではいない。些末な問題解決の論点を逸らした「やっていますアピール」ばかりで遅々として業務量の縮減は進まない。このような労働環境が悪化の一途をたどる教職で、復職したい教員はいるはずがない。教員定数は自治体教委が人件費を抑えることが最優先となり非常勤講師ばかり採用している。全体に占める正規教員の比率が減少し、非常勤講師の増加に伴い、正規教員が抱えなければならない業務が毎年のように増えている。</p> <p>④について、教員採用試験の早期化により教育実習や卒業論文など大学生の本分である学びを圧迫する。複線化は言い換えれば、教員の頭数さえ確保できれば校種など何でも構わないという暴言の裏返しに過ぎない。</p> <p>以上、教員の処遇改善（給特法廃止、変形労働時間制廃止、部活動顧問強制の厳罰化、業務のスクラップ、正規教員の定数を3倍以上にする等々）が実行されない限り、「やりがい搾取」のキラキラ言葉で教員の魅力アピールをしても、すべて教員のブラックな労働環境は見透かされている。</p> |
| 特別支援学校 | 30代 | <p>そもそも教員の労働への過酷さを解決しなければ、いくら免許を保持しようと離職する人は後を絶ちません。残業や休日出勤は当たり前、みんな心も体もすり減らして働いています。</p> <p>教育の質の低下も著しいです。採用試験の早期化や枠を広げたとしても、すぐに力量がつくはずがありません。</p> <p>1人で35人もの子どもたちをまとめるには、相当の力量が必要です。それは経験は必要不可欠です。</p> <p>若年層の教員が増えるほど、経験のある教員への負担が増えます。マンパワーに頼りすぎている現状は本当におかしいです。</p>  |
| 中学校    | 30代 | <p>そもそもだが、劣悪な職場環境や勤務形態を大きく変えて行かなければ、教員の志望者は増えない。一時的に免許があるから、と言って復職や勤務をする人は増えるかもしれないが、その場凌ぎであって、若手の成り手がいなければ意味がないと、考えています。</p>  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 上記以外   | 60代以上 | 小手先の提案では解決しない。免許更新制で失効した免許の復活。教員を抜本的に増やすなどの対策が必要だと思う。   |
| 小学校    | 50代   | 大臣提案は、教員の働き方についての視点がない。現状の働き方を改善するためには、業務の削減と教員定数の改善しかありません。働き方が変わらなければ、教員不足は絶対に改善されません。  |
| 高校     | 50代   | 抜本的な解決策ではありません。必要なことは何か。教員定数を増やし、教員がおよそブラックだと言われることのない労働環境を作ることです。そのための予算を拡充すべきです。  |
| 上記以外   | 50代   | 教員の待遇をよくしないと勤務したい人は減少する一方でしょう。厳しい職場です。現場をもっとよく知って下さい。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 教育現場のブラック化が改善されないため、熱意と希望を抱いて教員になっても、病気になる人や辞める人が後をたちません。仕事の効率化や能力評価主義をのみを推し進める働き方改革ではなく、健全な職場が継続できる人員配置をしっかりと検討してください。   |
| 高校     | 40代   | 賃金アップ、残業代支給、部活顧問の外部への委託が抜けている。根本的な是正っていない。<br>新卒は、普通に就職したほうが稼げるならわざわざ教諭職を選択しない。<br>選択するメリットが見いだせる対策を取らないと人員不足は続く。さらに免状の無い方を入れることにより、現場の負担がまし、子供の学力が下がることが想定される。   |
| 中学校    | 30代   | 労働環境が悪いというイメージをなくさなければ、現在教職についていない一握りアピールしても何の解決にもならないと思う。  |
| 小学校    | 20代   | 給料の面（残業代や月々の給料）や、働き方の面を改善しなければ解決しないと思います。正直一般企業の方が、定時に帰れる仕事も多くあるし、残業しても残業代が出るし一般企業の方がいいなと思います。  |
| 小学校    | 30代   | ①大学で教えられたことと実践はまったく違う。教育学系でさえ、指導案の書き方や授業の仕方について習ったことは使い物にならなかったです。すべて違うと切り捨てられています。そんな中何も知らない人を入っただけではっきりいって使い物になるんでしょうか。コロナ対策といって人が増えたところで何も知らない老人は、交通費はサバ読もうとするわ人のもの勝手にもっていくわ。床這いつくばって掃除するわ。洗面所を椅子のように使っているわ。教育現場ではダメだと思います。わたしは自分の子がそんなところに通っているなんて嫌です。このような人材が必要だと思って人選の採 |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>用をしているのか疑問です。</p> <p>②なぜその大学を出たのに先生にならなかったかというところに目を向けてください。</p> <p>なりたくなかったんです。試験に落ちて講師になり担任を持ち、勉強する時間は睡眠時間を減らすことにつながります。寝れてない先生がまともに授業できるんですか。泣いて辞めたいと心を病む先生が増えている中誰がなりたいですと手を上げるのか。散って行った死体の山を見てそれでも行きたいなりたいですなんて手を上げる人は少ないかと思います。現実を見てるんです。そこに行ったらだめだと立ち止まって辞めるんです。</p> <p>③何事にも理由があります。なんで辞めたのか、初任者指導から圧力、人間関係、仕事量、家庭事情いろいろあげることができると思いますが人を苦しめるのはいつだって人であり自分だと思っています。自殺が増えている要因と直結するのではないのでしょうか。</p> <p>弱い心を持っているのではなく、虫歯のように徐々に落ちていくのだと思います。</p> <p>例えば自費で校務分掌のファイルを買うのが当たり前になっているところもあります。他の学校ではしていません。その違いにえ？ってなる人がどのくらいいるのでしょうか？あなたは、会社の規約がまとめてあるファイルを自分で買うんですか？</p> <p>また、教育現場だから仕方のないと他人の子に情熱を注ぎ、残業や休日出勤で自分の家庭を崩壊させてしまった人もおられます。育休取れてもそれだけです。育休産休しか利点がないように感じます。</p> <p>④早くすればいいというわけでもないと思いますしそもそも集団討論を一次にするけれど、担任は基本一人で子供と対話します。会話をつなげていくところを見たいならいいですが、なにを見て判断するのでしょうか。話している相手は同じ大人です。子供とどんな風に接してどんな風に授業をするのかそこを見なければいけないのではないと思います。落ちた人を講師にして何も研修がないならいっそみんな講師スタートで研修してふるいにかけてたらどうなのでしょう。試験官に授業の様子を見てもらって判断の方が模擬よりかよっぽど質の良い人材が集まると思います。結局講師に担任させるなら一緒だと思いますし講師は研修なんてありません。何も知らないところで何も教えてもらえません。頭がよくてもなにもできず担任を外される人もいます。</p> <p>まず、試験の仕方を変えなければいけないと思います。</p> |
|--|---|

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 中学校    | 40代   | 給料を上げなさい！  |
| 小学校    | 20代   | 長期的な目線での改善が必要です。   |
| 高校     | 50代   | 全く本質を突いてはいない。小手先の対策にすぎない。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員の多忙化、処遇改善がなければ、教員になりたい、補充として入ってもいい、という人は増えない。教育にお金をかけないで、改善はあり得ない。<br>文科省発表の欠員数はからくりがあり、実態数ではない。非常勤で授業を埋めたり、自治体独自の加配が欠員である数は含まれない。きちんと調査をして発表してほしい。  |
| 小学校    | 40代   | 業務の軽減や給与面での改善、教員定数の改善など、採用の入口の問題ではなく、教員の仕事そのものの改善とあわせて提案していただかないと、軽く考えられているように思える。   |
| 高校     | 50代   | どれも本質的な解決からわざと目をそらさせて（国民にみせないように）している感じ。   |
| 中学校    | 60代以上 | 根本的に人を増やさないと（教師が魅力ある職業であると捉えられる処遇改善）   |
| 小学校    | 20代   | 教員になっても離職する人が多いのであり、その原因を根本的に解決しなければ、人を増やしても変わりません。そもそも、なりたいたいと思えるような仕事ではないので、募集を広く募っても、教員になる人は増えないと思います。  |
| 小学校    | 50代   | 非正規職員 スクールアシスタントとして、採用された場合 途中採用や、来年度更新があるかどうか心配です。15何年働いても給料もあがらず。残業代なし。1年更新、5年満期で切られては、次々に職場を渡り歩いてきました。仕事があったことは感謝しますが、年数に応じて給料を上げてくれるとか、途中、子どもたちが居ないときに仕事を切るのを辞めてほしい。生活があるので、この不安定さが辛いです。 |
| 特別支援学校 | 50代   | 年間臨時講師で行っている配置をできる限り採用して正員にする。不安定雇用では教員の成り手が増えません。<br>枠を広げるだけではだめ。他職種に流れます   |
| 小学校    | 50代   | 不足への対応は仕方ないですが、離職者を減らすように考えないといけません。そのためには業務削減は緊急課題です。まずは教科の削減を実写してください。   |
| 高校     | 50代   | 金をかけない小手先の「改革」では解決しません。憲法と改定前の旧教育基本法に基づく教育を実現するため、教育費の大幅増が必要です。  |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
| 特別支援学校 | 30代 | 根本的な解決ではないと思います。教員採用数を増やしてください。  |
| 特別支援学校 | 40代 | いずれも一時的なその場凌ぎであり、根本的な教員養成体制の見直し、教育予算増額をしないと人は集まらない。集まったとしても長く教員を務める人が育たない。特に採用試験の青田刈りは現状の少ないパイの取り扱いがさらに激化するだけである。そもそも文教畑素人の大臣に現場を熟知した提案ができること自体が懐疑的である。  |
| 特別支援学校 | 50代 | そもそもの正規採用者を増員し、安心して教師を続けていけること、万が一の時には安心して休職できることを保障して、また管理職と教師を監視する者 - される者の関係に落とし込まず、心身ともに健康に向き合える子どもたちとの関係をつくれる教育現場にしてください。<br>学校時代から、子どもも大人もともに社会をつくるなかまであることを理解出来る教育をしたいです。               |
| 中高一貫校  | 50代 | 教員の過酷な勤務実態を根本的に改善する必要があると思っています。④の採用試験の早期化を導入することで、大学生の学びが阻害される危機感を感じます。   |
| 中学校    | 40代 | 制度だけの問題ではなく、国民が公教育がいかに大切であるかを認識しないといけない。   |
| 小学校    | 30代 | 教員の業務軽減や給与改善などをしない限り、就きたい職にならない。やりがいだけでどうにかなるような状況にはない。やりたい・なりたいと思える職業にしないことには、人は集まらない。  |
| 特別支援学校 | 50代 | 大臣の提案から一番伝わることは、「教育なんかにお金はかけない」という決意。そもそも現状認識のみならず、教育現場が現在のような状況になった経過、今後の見通しも含めて、不見識の極み。事実を正確に把握できていなければ、どのような手立てを打っても成果には繋がらない。当たり前なこと。必要などころに必要なだけの予算を注ぐ。それも当然のこと。当然のことができない大臣、閣僚、役人の存在意義は？ |
| 中学校    | 50代 | なぜ教員不足が起こっているのかわかっていない気がする。なぜ、働き方改革や少人数学級、教員増、教育予算増額などに一言も触れないのか。文科大臣としての資質を疑う。  |
| 小学校    | 50代 | 教員不足について、市や県の教育委員会に要望を出すと、最後には必ず財源不足だと言われる。必要などころにお金をかけるべきです。  |

|      |       |  |
|------|-------|--|
|      |       | 教員がいなければ、学校は成り立ちません。欠員がいれば、その負担が同僚にのしかかります。お金をかけるところは GIGA ではありません。間違えないでほしいです。  |
| 小学校  | 50代   | 教育現場を魅力ある職場にしていけないと、教員になろうと思う人が増えない。   |
| 小学校  | 60代以上 | 沢山の先生が不足しています。免許更新制の弊害があります。   |
| 小学校  | 50代   | 学校現場のブラックを改善しない限り、抜本的な解決にならない。小手先の改革では、教育の質が下がる。   |
| 上記以外 | 40代   | <p>①私が私立で働いていたとき、先生がいないからと、英語の先生が国語を教えることになっていました。このような一過的な特別免許の使用であればよいが、どんな人にも出すのは、教育の専門性が危ぶまれる。</p> <p>②教員養成系の大学だけですか？私は教員養成系の大学ではありません。家政科系であります。</p> <p>教員免許の取得ができる大学全部へ、教員採用、講師の採用の情報を提供することは必要だと思います。私が大学4年の時に、大学に講師の募集が来ていたら、疑心暗鬼で応募したと思います。大学生活では、非正規教員については全く触れられていませんでしたから。正規でしか働けない場所に採用試験を受からなかった人も働いているなんて。信じられませんでした。だから、疑心暗鬼です。</p> <p>私の初の採用試験受験時は、教員採用数が絞られていて、私を含め8名の教育実習生達も、教員採用試験は採用数が少ないため、受かる見込み無い。しかし、実習では採用試験を受ける体であるが、すでに民間が受かっている人もいた。私も記念受験であった。</p> <p>③ぜひ、門戸は開いていただきたい。非正規ではなく、正規教員で。私の年齢の方であれば、部長クラスになっていますし、免許使えないと思っていると思います。教員の現場にいないと更新制度の反対の声が上がっていることも知らないため、更新制度導入とのニュースを見たら、教員になるのは、スッパリと諦めざるを得ないと考えます。</p> <p>私は、免許更新制度は、免許保持者が教員になるという淡い夢を断ち切る行為だったと考えています。</p> <p>そんな人たちへアピールするにはそれなりの代替が必要となります。安心して働ける環境作りが、民間にいる教員免許保持者にアピールすることが良いと思います。</p> |

|      |       |   |
|------|-------|---|
|      |       | <p>学生で受からなかったら、夢は諦めろと言う、世間からの空気もあるため、そこを打ち破って、長く働く非正規教員の正規採用が、一番コストが低く済むことを考えていただけたら幸いです。</p> <p>今の現場を知っていて、今の児童生徒へ対応も分かっている。採用後は正規の心得なり、初任研修で、枠組みを伝える程度で良い。</p> <p>しかし、民間や新規採用の人へ対して、より丁寧な講習なり研修なり、必要になります。</p> <p>④教員採用試験を年に一回ではなく、2回など増やすのは良いかと思えます。</p>                           |
| 小学校  | 60代以上 | <p>教員の働き方改革を抜本的に進め、子どもも教師もゆとりをもって楽しい学びができるようにする。学校が希望を育む場になれば、やりたい人は増える。</p>  |
| 小学校  | 30代   | <p>教育不足の根底には教育現場の過酷さが明るみになりながら、何ら対策を講じずに野放しにした結果、教員の魅力が損なわれたことがあります。現場に様々な施策を押し付けながら業務の軽減措置を行わないことと、給特法による定額働かせ放題が大きな問題です。業務を軽減して教員が自ら研鑽に励むことができる余裕を作ること、給特法を廃止して、確実な給与保証をすることが今すぐ求められます。教員になれる人を増やすだけでは不十分であり、今やるべきは教員になりたい人を増やすことです。そのためにも教育予算の「相当な増額」を強く求めます。それが根本的な解決につながります。</p> |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>アンケートの質問が大雑把すぎて答えにくいのですが、教員不足解消策としては、その場しのぎ策と思えます。</p>   |
| 小学校  | 30代   | <p>経験がない先生に保護者は厳しい。新しい先生をいれることも大切だが、今いる先生を大切にしてほしい。できるところに仕事集中し、できない人は楽をしている。教員がすべき仕事を精選し、負担を減らすことも同時に行ってほしい</p>  |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>この3月に42年間勤めてきた小学校を退職しました。ちょうど教員免許が切れたので更新はしないで退職することを決めましたが、今日課題になっている教員免許制度で定年を待たずに退職をした先生もわたしも周りにもたくさんいらっしゃいます。教育の仕事に誇りも持ちやり甲斐も感じている中での退職は、残念です。先日もTBSのニュースキャスターで教員の働き方について特集をしていました。残業が月100時間を超えるなど実態を伝えていましたが、教員のやり甲斐や教育内容に言及が無かったのは残念です。今日の学習指導要領に基づく学力テスト主義とも言うべき学習内容の硬</p>  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 直化によって教師の裁量はほとんどありません。教科書を時間内に教えることが至上命令で逸脱はできなくなっています。わからない子どもがいたとしても次に進まざるを得ない状況の中で教師は苦しんでいます。発達段階にあっているのかきわめて疑問です。多忙化の原因は学習指導要領による学習内容の多さ、学力テストによる点検があります。子どもも教師も学校が楽しい場所になるように発達段階にあった教育課程にまず変更することが求められると思います。 |
| 小学校    | 50代   | 教員の数を増やすという、最もシンプルで大事な視点がぬけている。臨時教員を正規にしてほしい。   |
| 小学校    | 60代以上 | OECD 最低レベルの教育予算を大幅増額させ人員を増やすこと。大臣提案では絶対解決できません。   |
| 特別支援学校 | 40代   | 教員の待遇(働き方)を良くすることが全く考慮していないことがムカつく。<br>文科省施策の「#教師のバトン」でたくさん書かれていたことを無視するのがおかしい。   |
| 中学校    | 40代   | 埋もれている人を掘り起こすだけでは、若い人が増えません。  |
| 中学校    | 20代   | いずれの提案も、教員をやりたいという気持ちを持たせるものではない。特に未来を考えると、最近の新卒の就職の条件は①土日の勤務がないこと②残業が少ないこと をあげていると聞く。土日の勤務も残業もあり、おまけに残業代は基本給の 4%しか出ないのであれば避けられて当然で、教員のなり手が減るだけでなく、離職も増え続けると考える。  |
| 中学校    | 60代以上 | もっと真剣に日本の学校教育を考えて下さい。全国で 10 万人の正規教員を増やして下さい。  |
| 小学校    | 40代   | ①特別免許状の乱発は、教員免許の価値や教員の社会的評価を低下させることにつながります。<br>②③当面の対策にはなっても、抜本的な解決策にはなりません。<br>④早期化は合格者の流動性を高める（すなわち滑り止め受験の増加）だけで、国全体として受験者が増えるわけではありません。複線化は専門性の低下というリスクをはらんでいます。   |
| 特別支援学校 | 40代   | 学校職場のブラックさが改善されなければ、人集めの解決にはならない。さらにいえば、人に来てほしければ待遇改善はこの業界でも常識なのでは  |
| 特別支援学校 | 40代   | 教員不足の根本的課題は教員の多忙化にあります。教育現場の声を聞いた上での提案なのではないでしょうか？  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 特別支援学校 | 40代   | 4つの提案では解決できないと思います。教員を目指す人が増えるように教職員の働き方改革、待遇改善に向けた対策を早急に具体化してください。今の学校現場では働けば働くほど疲弊してやりがいを感じれなくなるという深刻な状況です。   |
| 小学校    | 20代   | 教員の仕事が膨大で大変という考えがなくなる限り、特別免許状をもっている人や離職した人が戻って教員になろうと思わないだろうから、教員増加にはつながらないと思う。だから、教員の仕事を減らすための政策をもっと考えていくべき。   |
| 中学校    | 30代   | 待遇が悪いから離職する。それがわかってないうちは解決などできるはずがない。残業は月100時間、手当なし、月25万の手取りで大臣をやれと言われたらやるわけないでしょう？そういうことです。  |
| 高校     | 40代   | 教員不足の根本原因は、長時間労働、人員不足、授業以外の仕事が多いなど、ブラックな実態が教職の魅力を下させていることにあると思います。大臣の提案は根本解決にならないと思います。   |
| 小学校    | 20代   | 教師のなり手不足の解決のためには、現在の業務内容を改善しなければならないと思う。どのみち、なり手を増やせたとしても、教師の離職者が多いことが問題であると思う。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 上っ面だけをやりくりしても、当日根本的な人員増などの部分をしていない限り解決できません   |
| 上記以外   | 30代   | 何かしているような姿勢を見せているだけで、実は管理統制を強めているだけに過ぎない。まず、すでに免許更新を有料で受けた人に全額返金するとともに、過労死レベルの業務の中、更新講習を受けることができずに失効となった人への賠償と復職をするべき。また、米軍に思いやる予算があるなら、まず日本国民と入管に無期限収容されている外国籍の方を思いやってほしい。今まで思いやり予算で使った20兆円があればどれだけの人が暮らしも救われたことか。 |
| 特別支援学校 | 50代   | 今の教育現場の改善無くして教員数の増加はあり得ない。教員という職務に対する魅力よりも、生活の制限や給与・待遇の不十分さ、業務増加による多忙化等に対する対策をとるとともに、教員一人当たりの持ち時間と教材研究時間の適正化、教員数配置是正を図ることが何より必要。早期に辞めたり休職したりする人が多い現状が魅力や未来のない職業に見える。  |
| 小学校    | 60代以上 | 現在の教員の働き方改革をしない限り、焼け石に水です。現在の教職の働き方があまりにもブラックだから、教職が本来持っている仕  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | <p>事の魅力がわかっている、その世界に入るのに躊躇する人がたくさんいます。教職は、豊かな人間を育てる仕事なのに、それにふさわしい職場ではありません。仕事が山ほどあり、多忙で、保護者・地域・社会からのプレッシャーが大きく、あまりにも非人間的な職場になっています。</p> <p>文科大臣の場当たりの対応は、現場の先生方の生の声を聞いてない、知らない対応だと思います。</p> |
| 小学校    | 20代   | 先生として働きたい、働き続けたいという、魅力ある職業にならないと解決しないと思う。   |
| 小学校    | 40代   | 教師を志す人間が減少しているという根本的な問題解決になっていない  |
| 中学校    | 60代以上 | 教員の定数を大幅に増やすことまた待遇改善をしないと抜本的対策にはならないと思います。  |
| 小学校    | 30代   | <p>教員不足は、教員の労働条件の悪さが原因。</p> <p>教育費を削って、仕事を増やす政策に問題がある。</p> <p>優秀な人材は、もっと楽しんで稼ぐ。</p> <p>教員のやりがいだけでは割に合わない。</p> <p>免許制度や採用試験の時期の問題では無い。</p>   |
| 小学校    | 30代   | 教員になりたいの思う子どもを増やす政策も大切だと思う。   |
| 小学校    | 30代   | 他の仕事より魅力を感じないと思う。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 結局は、働き方改善やブラック企業という問題を取り上げ解決しないといけない。   |
| 高校     | 40代   | 教員になりたいという若者を増やさなければ、根本的な解決にはならない。  |
| 中学校    | 50代   | 教員の待遇改善こそが何より優先です。  |
| 上記以外   | 40代   | 期待してません   |
| 小学校    | 50代   | 大臣の提案は対処療法的過ぎます。教員はブラックな職業であることを大宣伝したり、教員の不幸事をこれでもか！と取り上げたり、すればするほど希望する若者は減るに決まっています。抜本的に日本の教育（1クラスの児童生徒数）について考えること、教員の待遇を上げること、急激なICT化の見直しなど、考えなければならぬと思います。                               |
| 特別支援学校 | 40代   | 若手の教員が希望をもてず退職していくような労働条件を改善していかなければならない  |
| 中学校    | 50代   | 働き方改革を進め、人間らしく働ける労働環境、賃金体系にするこ  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | となくして解決しない。魅力を感じる職種にすることが必要。大臣が言うようなことでは無理。  |
| 小学校    | 30代   | 特別免許状の発出で教員になった者の資質は保証されるのか疑問。教員の資質向上のため、不適格教員の洗い出しのための教員免許状更新制だったと思うが、完全に政策が逆行しているように思います。<br>そもそも、教員にのしかかる仕事量を抜本的に見直さないと離職者は増える一方で、教員不足に歯止めが効かなくなると思います。そのために、まずは正規の教職員数の増加が必要に思います。 |
| 小学校    | 30代   | 仕事量や保護者の意識など、変えなければいけないところは現場にたくさんあります。例えば定時には留守電にするなど、具体的な案が欲しいです。小学校教諭にも教科担任制を導入し、専門家が1時間でも授業を変わってくださったら時間的に余裕が出ます。教材研究の時間ができます。教師に時間的余裕のない中でどうやって子供に余裕を持って対応できますか。教えてください。          |
| 中学校    | 50代   | ①については、教員免許制度を否定するものではないかと思えます。それで教員ができるのであれば、教育学部は必要なくなります。②③はもう教育委員会がやっています。④は、そもそもなぜ教員志望者が減るのかという問題に向き合っているとは思えません。   |
| 小学校    | 30代   | 教員不足を解消するには、原因となる超過勤務の問題や残業代の支給、業務削減などを解決する必要があり、①②③④の対策は効果がないどころか、現場の管理職や教育委員会にも更なる負担をかけ、より一層教員不足に拍車をかけてしまうことが予測される。  |
| 高校     | 60代以上 | 生徒数に応じた教員配置ではなく各学校の最低限の教員数を定め、教員配置数を増やさなければ、教員は増えない。<br>専門家じゃない人が教員になって生徒に影響が無いのか、不安です。教員の仕事がブラックなのは、少子化になって教員数が減ったからです。少人数校で分掌3つ兼務はあり得ない。   |
| 小学校    | 50代   | 免許更新講習導入により 離職された実力ある教師の期限切れを撤廃することで 70歳までの方で 講師として 産休補充など 力を貸していただけたらと思う。その方たちは 不定期でも 就労できる。20代 30代の方に 不定期の就労は気の毒。年間通しての就労を保証するか 契約社員のような形で 採用し 派遣する制度にするなど 職の期間を安定させることが大事。          |
| 特別支援学校 | 50代   | 特別免許状を活用に反対！何のための免許状なのか？<br>いま現場で既に働いている臨時教職員を採用して安定的に働いて  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | もらえばよい。  |
| 小学校    | 20代   | <p>学校で働くことがブラックみたいになっていると思います。その印象があると、どんなに上記の解決策を実施しても難しいです。</p> <p>少し話がずれますが、小学校の先生方は日々、児童の健やか成長を願って自己研鑽に励み、切磋琢磨していると思います。子供がどんなに問題行動を行っても、先生方はただ児童のよりよい成長を願って向き合っています。それは、やはり児童一人ひとりを教師と児童という関係の中で愛しているからだだと思います。だからこそ、夜まで遅く残って、お仕事をなされているんだと思います。だからこそその残業の状況は今後も変わらないと思います。</p> <p>変えるべきは、給料だと思います。確かにあらかじめ4%の給料を上乘せされていますが、足りないんだと思います。教師が残業をするのは、当たり前だと思うんです。そこには児童への愛があるから。だからこそ、変えるべきは給料だと思います。そのようにすれば、教師も納得がいて仕事のやる気も上がるし、ブラックという世間の概念は無くなると思います。</p> |
| 小学校    | 50代   | とにかく、数字ではなく、現場の大変な状況をしっかり見てください。   |
| 中学校    | 60代以上 | 採用枠を拡大し、正規教員の採用を。単年度契約の臨時教員ばかりでは、教育の質も落ちる。   |
| 高校     | 40代   | 大臣の提案も無意味ではないが、根本的解決につながるものではないと思う。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 教育現場の現状をしっかり見てほしい。   |
| 特別支援学校 | 40代   | 本来であれば、正規職員を配置すべきところに定数内講師という枠で非正規だけど常勤の講師をおいて安上がりに対応しているところに問題あり。専門職で育てていくことを放棄して、単なる人手として給与や雇用保証をせず、非正規で頭数を入れようとしているのが目に見える。支援学校は、医療的ケア対象の児童生徒がおり、学校看護師と教員とで対応しているのが、教員枠内に看護師を配置する形となって、看護師を増やしてほしいと要求すると、教員が減らされるという状況がある。また、支援学校の教員配置基準をきちんと子ども一人一人に対応できるように設定されていないため、教員の過重負担がおき、病休や休職、離職者が増えている。このことにきちんと目を向けて、教員不足、教員負担増の問題を考えてほしい。   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 高校     | 50代   | 教職員の労働条件そのものが改善されなければ、教員志望者は増えない。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員は、もちろん大変だけれども働き甲斐がある仕事。そして、働きやすい、魅力ある職業なんだと、皆が納得できなければ、若い人たちは教員を目指そうとは思わない。  |
| 小学校    | 30代   | 今いる先生達の離職、これから先生になりたい人が減ってきているのは、多忙化（ブラックさ）がメディアでも取り上げられてきたから。<br>先生たちは、心身共に元気で子供達一人一人に寄り添いたい。<br>楽しい授業づくりをしたいというのが1番。<br>人手不足は一時解消されるかもしれないけれど、それは根本の解決にならない。<br>まともに教材研究したり、子ども達の成長を共有する時間もない。<br>きちんとした金も人も出さず気がないなら、授業時数を減らしてほしい。20から25時間でないと、教材研究もできない。<br>子育てしていて育休中だが、今の制度働けば我が子が1番可哀想な思いをする。<br>学校の先生の数にも余裕がないと...<br>教師のバトンで、悲惨な現状が明るみになったのに、解決法が残念でならない。何のためのものだったのか。むしろまた新しく金融教育とか言い出して、いい加減にしてほしい。 |
| 高校     | 50代   | 「定額働かせ放題」の待遇を改善して「ブラック」のイメージを払拭しない限り教員不足は解消しません。現場では、教育実習に来る学生の減少と非常勤で来る講師の質の低下が止まりません。この状況は日本人の質の低下に直結する、という危機感をもっと持たないと、大変なんですよ。単に数が充足すれば、どんな教員でも構わない...と思っていませんよね？と思ってしまう提案ですね。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 現場の働く環境が長時間過密労働がかわらなければ、教師になりたいと思う人は増えない   |
| 小学校    | 60代以上 | 大臣は全然わかっていない。なぜ皆が教職を敬遠するようになったか。<br>上記のやり方で教員を集めたところで、すぐ辞めていくだろう。教員の過酷な働き方が、教員不足の一番の原因である。教職自体は大変魅力的な仕事であると思う。しかし、それを上回る働かせ方の酷さ。労働条件の向上を望みたい。  |
| 小学校    | 20代   | 現職の教員の負担軽減措置が無い限り、寄せ集めで教員を増やして   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | も現場で新しく入った教員を指導しきれず破綻するだけ   |
| 小学校    | 60代以上 | 教員不足は教育費を出さないために起きています。子供たちを育てることは未来への投資と考えて、予算を確保し、教員定数を大幅に増やしてください。   |
| 小学校    | 60代以上 | とりあえずの施策で目先のことしか考えていない。   |
| 小学校    | 20代   | 今と何も変わらないと思います。   |
| 高校     | 30代   | ブラックな現場が変わらないと誰も教員になりたがらないと思う。  |
| 特別支援学校 | 30代   | 教育関係機関にとどまらず、様々な立場の意見を聞き入れる機会を広く設けていただきたいです。  |
| 中学校    | 60代以上 | 全く現状を理解していない。<br>異常な働き方を変えない限り教員志望者が増えるとは思えない。<br>私の子どもたちは、学生時代、私の働き方を見て教職課程を取らないことにしたと言っていた。あんな働き方はしたくないと言われた。   |
| 特別支援学校 | 40代   | 勤務時間について  |
| 小学校    | 20代   | お金を使う気がない短絡的な提案   |
| 中学校    | 50代   | 劣悪な労働条件の改善なしに、教員数の確保は不可能。   |
| 中学校    | 20代   | 労働環境を放置したままで、人が集まると思っていることが間違いだと思います。   |
| 小学校    | 50代   | 教職員不足は、免許状だけの問題ではないから、解決には至らない。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 教育の質を落とすばかりで現場の頑張りは認められてない。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 30人学級の実現。<br>教員の労働条件と賃金の改善。<br>クラブ活動との教員指導の見直し。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 根本的に教員定数法を見直して教員数を増やすことと、旧特法を見直して真っ当な給与体系にすべき。  |
| 小学校    | 50代   | いろいろな家庭背景をもって登校してくる子どもたちの様々なニーズにこたえていくためには、やはり人が必要です。担任ではないが子どもたちに直接関わっていただける支援者の方や、学校全体の業務に関わっていただける方が+α いてくださると、いざという時に余裕をもって対応できます。<br>文科省から提案される学力テストや複雑な<br>学力観を含む教育政策もまた現場を苦しめ、教員を追い込んでいま |

|      |       |   |
|------|-------|---|
|      |       | <p>す。現場の生の声をもっと聴き、実態を把握した上で、本当に必要な中身に絞ってほしいと強く思います。国が求める人材を養成する場所が学校ではありません。私たちは一人一人の子どもたちがかけがえのない存在として尊重され、人間として豊かに育ててほしいと願いながら毎日働いています。どうかよろしくお願いします。</p>   |
| 小学校  | 50代   | <p>教員という仕事そのもののやりがいを向上させるのが大切だと思います。勤務内容、労働環境や報酬含め、今の時点ではブラックだと言われても仕方ない状況です。</p>   |
| 小学校  | 60代以上 | <p>解決のためには、教員を正規で定数を埋めること、代替を担う臨時教員の待遇を抜本的に改善すること、非正規教員の正規雇用への転換で不足を補うこと、ブラックイメージの学校を変えるため長時間労働解消などを進めるとが必要。政府の提案は解決にならない。</p>  |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>小中学校での少人数学級を進めるべきだと思いますが、大臣の提案にはその事が欠落しています。</p>   |
| 高校   | 60代以上 | <p>教育予算を大幅増額をし、少人数学級実現し、教職員定数増、持ち時間減、教職員が誇りをもって働けるために、統制強化の方針を撤回し、教職が魅力あるものにしないと若者が教職を目指さない、</p>  |
| 小学校  | 20代   | <p>教員免許更新制度は、教員が実費で講習を受けるため、無くして当然。文科省は問題を履き違えている。</p> <p>教員が少なくなってきたから、教員になりやすくするというのは、美味しくない料理を出す店が店の入り口を大きく改装するようなもの、根本が違う。</p> <p>労働環境が劣悪だから、人が離れていき、人が入ってこない。もう、わかっていると思います。誰でもわかります。</p> <p>私が大臣なら、まず、〇〇教育を減らしていきます。もちろん、〇〇教育をすればするほど、子どもにとって良いと思います。ただ、今ある物をスクラップせずに、新たなものをビルドするのは、人手不足を加速させ、結果的に子どもに悪い意味でかえってしまうと考えるからです。</p> <p>財務省に人件費の申し立てをする前に、まず、自分の省庁で出来ることをするのが筋ではないのでしょうか？</p> <p>「教員は安い給料で残業代を出さなくても、働く」このように教員を軽視しているからこそ、教員の仕事を減らそうとせず、新たなものをビルドし続けれるのだと思います。</p> <p>また、その考えがわかっているから教員になろうとする人が少ないんだと思いますよ。</p> |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 中学校    | 60代以上 | 場ありの物としてしか、感じられない。働き方改革を進め、早く帰れるようにすること、上からの押しつけ的な教育改革をやめて、教員としての自由度とやりがいを持てるようにしないと、希望者は増えないと思います。   |
| 小学校    | 30代   | 根本的な課題、教員という仕事をやりたい人が減ってしまっていることへの解決になっていない。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 働き方改革無くして、教員志望が増えない。もっと、現場の実態を見ることが求めてられる。<br>現実には、小学校では、休憩時間も取れない現実。毎日帰宅が夜9時以降、土日も授業準備で出勤の日も。中、高等学校は、土日クラブ指導。<br>管理職は、職員の健康管理をすることが怠っていることが多い。<br>子どもを育て夢のある仕事になるように。  |
| 特別支援学校 | 30代   | 教育委員会は『定数通り配置をしている』『教員の負担を減らすためにこういうスタッフを配置する』といます。けれども定数の中でうちの職場では20人以上が非正規の先生です。<br>その先生たちを集めるのは教育委員会ではなく、各校の管理職の先生の仕事になっています。私の地域は都市部からは離れていて、なかなか人は集まりません。今年度はその配当された定数のうち1人の先生がみつかりません。<br>スタッフをいくら創設しても、非正規のスタッフですから、人を探すのも職場に任されています。ICT支援員はみつかりません。今、定数内の先生を正規で任用したり、新規採用の先生を増やさない限り、教員不足は解決しないと思います。 |
| 特別支援学校 | 20代   | 残業を前提とした労働環境を見直さなければ教員不足は解決しないと思う。  |
| 小学校    | 50代   | 圧倒的な仕事量と責任の重さを改善しない限り、やめたくなる人は減らないと思う。  |
| 小学校    | 40代   | 人数だけ確保すればいいという問題ではない。   |
| 特別支援学校 | 20代   | そもそも業務内容や給料を変えないと教員不足は解決されないと思う。  |
| 小学校    | 40代   | 教員不足は、離職、病休にも要因がある。早期対策を望みます。   |
| 小学校    | 50代   | 離職した教師は、学校現場に期待していない。甘い呼びかけをしても、現場に戻るとは思えない。免許更新していない教師も同じ。   |
| 中学校    | 40代   | 何よりも現場のことを何も理解していないと思います。現役の教員が一番に望む対策はこれではありません。現場の教員はぎりぎりの  |

|     |       |  |
|-----|-------|--|
|     |       | 人数で、綱渡りの状態で働いています。皆さんが言っているように、教員不足を解消するためには、仕事を減らすか、人を増やすかしかありません。私が働いている滋賀県でも、非正規の時間講師の先生方は60歳を超えた先生方ばかりです。もちろん、経験豊かな指導ができる反面、世代交代ができず若い先生が育たない状況があります。                      |
| 小学校 | 30代   | 採用試験の倍率が低下している、病休や退職者が出るといった根本的な原因の部分に目が向いていない。4つの提案を行ったとして、現場の状況が改善されなければ教員不足は解決しないと思います。しかし、現在の給特法や標準法などの状況で行える提案に限りがあるのも事実。法改正を行わないことにはどうにも... というのが正直なところです。               |
| 小学校 | 60代以上 | 仕事を減らし、子どもたちと余裕を持って接することができるようにならなったりしっかり教材研究ができるようにならないとダメ。   |
| 高校  | 20代   | 教員不足の根本の理由をきちんと理解していないと感じた。教員になりたいと思う人がいないのは、給料に対して仕事量が多すぎることや、自分の時間を持ってないといった問題が浮き彫りになっているからである。教員の仕事は、生徒の未来に携わることのできる素敵な仕事である。そのため、上記したような問題が解決すれば、教員になりたいと思う人が増えるのではないだろうか。 |
| 小学校 | 30代   | 問題はそこではない。教育現場のブラック化が解消されなければ、教員を目指す人材は今後も減少していくと考える。教員になるハードルが下がり、教員、教育の質の低下につながるのではないか。  |
| 中学校 | 50代   | 教職に魅力を感じつつ、あまりの自己犠牲的な働き方のため、自分や家庭を守るには教職を続けられない、選択できないという人がたくさんいます。そういった方たちを手放さないことが肝要だと考えます。また、採用試験の早期化や複線化は自治体間で取り合いになるだけで何の解決にもなりません。                                       |
| 中学校 | 30代   | 教員の労働環境の改善。休憩時間も保障されず1日14時間働いている。土日どちらか半日部活指導で時間をとられる。一般企業であれば労基署が指導するが、学校の違法労働は黙認されている現状を改善しなければ、教職を目指す人材も確保出来ないのは自明のこと。  |
| 中学校 | 30代   | 教員の待遇改善、教育予算の増額をなぜやらないのか   |
| 中学校 | 60代以上 | 免許更新制度のために免許を失効した人に免許証を再度与える<br>教員採用者数を増やす。補欠合格者を増やすことが抜けている   |

|      |       |   |
|------|-------|---|
| 中学校  | 50代   | 子どもや教職員が夢をもてる学校にすることとセットにする必要がある。   |
| 小学校  | 30代   | <p>教員の仕事は多岐にわたります。その中で、子どもが色々な経験を積み重ねていけるように、日々自分の時間を削って勤務外の時間も仕事をしている先生が多数です。しかも、30代の教諭は小さい子どもの子育てをしながら働く人が一番多い年代です。担任業務に加えて、校内の重要分掌を任されることも多く、それを支えるベテラン層も居ない又は少ない学校が多い現状で疲労困憊です。</p> <p>また、教員には公務員のような残業手当もつきません。やりがい搾取しつづける制度は、もう限界がきています。教員を目指す若手がどんどん減り、講師が4月から足りない状態を考えれば、今後どんな未来が待っているか、簡単に想像がつくでしょう。もっともっと教師を目指す人が増えるような取り組みを考えて行ってください。このままでは、折角の専科などのシステムを使うどころか、担任未配置で始まる春が当たり前のようになってくる時代になってしまいます。これ以上、教師を目指す若手が減らないよう、抜本的な改革が必要です。</p> |
| 高校   | 50代   | <p>教員定数法の見直しをしなければ、教員不足はさらに、悪化する。また、ブラックな働き方を解決するために、給特法の改正をすべき。希望の持てる改革して欲しい。</p>  |
| 中学校  | 20代   | 労働環境が改善されない限り、教員不足の根本的解決は難しいと考えます。  |
| 上記以外 | 60代以上 | 地方自治体まかせにせず、少人数学級を早めに実現して、子ども達も大人もキチンと向き合えるような仕組みをつくるべき。  |
| 中学校  | 20代   | 働く環境を変える。給与を上げることが大切。本質的ではない。   |
| 中学校  | 50代   | <p>教員になろうという気持ちを後押しするものが含まれていない。正規の教員を増やして職場にゆとりを取り戻すとか、給与を抜本的に引き上げるとか、教員を大切にするというメッセージを国が社会に対して発信しないと状況は変わらないと思う。</p>  |
| 高校   | 60代以上 | <p>緊急事態のための特別措置を行いたいとの気持ちはわからなくありませんが、すべて、間に合わせのやっつけ仕事でしかないような気がします。特に特別免許状などの専門的に教員養成課程を経ない教員をこれ以上増やしていくことには反対です。それらは、総体としての教員集団の質を下げっていくことにつながり、ますます教育現場を魅力の無い集団にしていってしまうと思います。本質的改善策としては、何よりも1学級の定数を20名程度にして、教員の</p>   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 負担を減らし、より創造的な活動を行えるように、教員に自由を与え、かつては少しは存在していたような自由な教育現場をつくり、教育現場をより魅力的な職場に変えていくことしかないと思います。自由を与えると「教員はさぼってばかり」というような偏見の目で見るとはならず、教育に情熱をもっている多くの教員たちを信頼し、自由な活動を保障していけば、教員たちは、必ず一生懸命に教育活動にはげむことになっていくと思います。   |
| 小学校    | 50代   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採教員を増やしても指導する教員が不足している。それよりも少人数学級にし教員数を増やしてほしい。</li> <li>・事務的業務は増すばかり。アンケートや調査などをやる人材がほしい。</li> </ul>  |
| 小学校    | 50代   | <p>毎日の仕事の中身が激務。仕事に追われる。これを改善しないと<br/>     思います。人事評価制度がよくない。保護者にアンケートなどで教師を採点する。これが良くない。教師も人間。個性があつていい。<br/>     みんな違ってみんないい。</p> <p>講師で働いていて採用試験受けても合格者は多くない。正規職員と同じように働いていても不合格者が多い。長年講師として働いている人は正規採用してほしい。真面目に働いている。でも正規採用されない。だから働く気を失くしてしまう。離職を考える。同一労働、同一賃金を。</p> |
| 小学校    | 30代   | ただ単に表面上の人数を増やすという提案のように思います。なぜ不足しているのかということを見ると、現役の先生方の業務削減や教員志願者が希望を持てるような提案も必要かと思います。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員の定数を増やしてください。非正規教員が正規教員になりやすい制度を作ってください。その際、経験年数を考慮してください。  |
| 小学校    | 50代   | <p>1.小学校担任の持ち時間を24時間以下にする。国語、算数、道徳、学活、総合以外の英語、図画工作、音楽、体育、理科、書写、家庭などで、専科教員を配置する。担任が自分で担当する教科を決める。</p> <p>2.中学校高校も学級の定員を早期に30人以下にする。</p> <p>仕事が多く長時間労働になります。仕事量を減らし、働きやすい職業にすることが教員を増やすもとです。魅力があっても働く条件が悪すぎるから、人手不足になるのです。0免コースをつくり教員養成の数を減らしたのも原因です。</p>                 |
| 小学校    | 60代以上 | 本来、教育という仕事は大変だけれどやりがいがあるというもの。単に免許を持っていればできるというものではなく、やりがいを感じることはできなければなりません。何故、ブラックと呼ばれるの  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | でしょう？その根本を考えなければ解決はないでしょう。   |
| 中高一貫校  | 20代   | 教員になる資格を積極的に与えることは、一定の効力はあるかもしれませんが。しかし、教員不足の原因の一つは、働き方にある悪い印象だと思います。働き方改革の改善および現場への徹底をしていただきたいです。   |
| 小学校    | 50代   | どれもよくわからないどれもよくわからない内容です。余計にややこしくやりそうに思います。  |
| 小学校    | 60代以上 | ②③については、もう何年も委員会、現場の校長等が手を尽くして教員を探しているが見つからないので、全く提案になっていません。④については、採用試験を受けようとする人が減ってきている現状で、試験を早期化しても、全く意味がないと思います。教員の仕事に魅力がなければ、優秀な人材は、集まりません。なぜ、教員不足が深刻化しているのか、大臣は、全く理解していないとしか思えません。 |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員の定数を改善して教員数を増やすこと、教員の業務を精選することを並行して行っていないと根本的に解決しないと思います。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 辛い。理不尽。辞めようと思う。私が辞めたら教員不足が更に進む。でももう続けられない。自分が壊れる前に...  |

## 教員の声② 選択肢以外の施策、教員不足の実態など

|     |       |  |
|-----|-------|--|
| 小学校 | 40代   | 奨学金減免は、教員だけに与えるのは気が引けます。国民みんなが享受してほしい。今の増え続ける教科や時間割も、本当に子どものためなのか、専門家の議論が必要。議論できる場がほしい。学者、組合代表、校長代表などの。  |
| 高校  | 30代   | 長く働いている臨任を、雇って欲しい。   |
| 中学校 | 60代以上 | 非常勤教職員を欠員臨任として大量に任用している状況を変えようとしていない。<br>これでは教職員不足は解決しない。<br>また、「定額働かせ放題」と悪評の高い、給特法に手をつけていない。<br>勤務条件を変えなければ、教職員不足は、解消しないでしょう。   |
| 高校  | 20代   | 複数年臨時教職員を経験している教員の正規雇用の義務化(ただし、雇い止めにならないように法整備が必要)<br>臨時教職員も雇用保険加入(雇い止めの可能性もあるため)  |
| 中学校 | 30代   | 「まずは隗よりはじめよ」<br>今働いている教職員を大事にせずに「優秀な人材」「即戦力」など求めても片腹痛い。労働は正当な対価を得て初めて誇りと責任が生まれるのである。<br>今働いている教職員の労働条件、働き方を根本的に改善せねば、この国の教育そのものが成り立たなくなるという危機感を持つべきである。<br>最も被害を被るのは子どもたちである。<br>これまでの教育行政が子どもたちにどれほど取り返しのつかない悪影響を与えたか。<br>教育は、子どもたちと共に未来をつくる営みであり、その成長と発達を共に喜ぶ、何にも変えがたい魅力ある仕事である。<br>その素晴らしい仕事を台無しにする教育破壊を続けてきたことに真摯な反省をし、界、経産省いいなりの教育施策の抜本的な改善を求めるものである。 |
| 小学校 | 30代   | 勤務条件、内容、時間のどれもが激務で、教員を続けられず、辞めざるを得ない現状がある。新規採用をどうするかよりも、現に働いている人たちが無理なく長く続けて、教員としてのキャリアを積み重ねていけるようにしてほしい。そのためには不要不急の業務を減らし、時間の余裕を作り、本来の子どもを教える仕事に専念させるべきである。持ちコマ数が多く、研修や書類作成も多く、日々教材   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | の準備をする時間さえ保障できない現状を、まず改善して欲しい。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 教員不足の背景には、教員という仕事が魅力的に感じないからだと思います。労働時間の長さ、多岐にわたる仕事の多さ、給料の少なさ、意味不明な研修、教員としての資質などが反映されない採用試験などなど、あげたらキリがないです。                                   |
| 高校     | 60代以上 | プール制の導入  |
| 中学校    | 30代   | 中学校における35人学級の実現  |
| 小学校    | 30代   | 教育にお金をかけず、かける事業はICTや英語スピーキングテストなど企業が喜ぶものばかり。軍事費を何兆円も増額するならば、その一部だけでも教育費に回せれば、すぐにでも教職員の待遇を向上させ、少人数学級が実現できます。安上がりで効率だけを求める教育など、教育の質の低下まっしぐらです。   |
| 小学校    | 50代   | とにかく、教員の自由と時間とがほしい。<br>特に特別支援学級の教員は、専門性のある者が採用されるように、あるいはやる気のある心ある人がなれるようにしたい。<br>機械的に10年未満の教員をあてて、管理職への足がかりとするなんて、子どもを「教員の教材にする」ことに他ならず、反対です。 |
| 特別支援学校 | 50代   | 県や市の行き来に制限なく異動ができる。生活や本人希望に合わせた勤務先の場所や校種希望ができる。  |
| 小学校    | 30代   | 学校統廃合（義務教育学校）によって、教員不足を補おうとするのはやめてください。現場はますます疲弊し、ますます教員のなり手が不足します!!   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 特別支援学校 | 30代 | <p>妻の勤める特別支援学校では、今年4月から6月まで、未配置でした。複数担任を基本とする学級配置ですが、学級開きから2ヶ月間、一人で業務をこなすことになった若い先生の負担はとても大きいものでした。</p> <p>管理職は、「誰でも良いから、仕事をしてない大学卒業の人（臨時免許発行を前提）を、探してください」と、職員に呼びかけていました。</p> <p>妻は、8月から産休に入ります。代替者は、未だに確定していません。決まらないまま休みに入るのが、「申し訳ない」と、言っています。</p> <p>踏ん張りのきく、教員が減っています。当たり前ですが、管理職、県教委から「早く帰るように」と指示されて、職場全体の業務を見渡したり、職員との協力、共有の大切さを意識したりすることが、まだ分かっていない教員が、自分の仕事だけをさっとして、すぐに帰ると、経験年数が長い人、残業をしても大丈夫な家庭状況の人に、負担が偏ります。私は後者という実感がありますが、若手が、多少苦勞しても、より良い教育のために、とか、教職員間で仲良く協力して仕事をするために、必要な「努力」を怠ることが当たり前になってしまい、今後の教育の質の低下は免れません。一方で、こんな酷い労働環境と条件の中、定年まで続けようと思ってもいけないかもしれない若手教員に、「もっとしっかり仕事をしなさい」とは、口が裂けても言えません。パワハラになります。</p> <p>サービス残業が当たり前の劣悪な労働条件を、教員を増やす、という政策で、改善してもらいたいと切に願います。優秀な人材も、教職員という仕事に就かなくなってきていると感じます。</p> |
| 特別支援学校 | 40代 | 成り手がいない。4月から本校だけでも、三人の欠員  |
| 小学校    | 50代 | 様々職種の活用。教員は何でも屋ではない。事務仕事や環境整備など、他の職種の方を活用。無駄な報告書作成など、無駄な事務仕事が多すぎる。子どもと向き合う時間、授業作り、教材研究に集中させるべき。それができず、無駄な時間で疲れているから意欲につながらない。   |
| 高校     | 50代 | 年度はじめまで教員の未配置が生じています。早急な待遇改善が必要です。  |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
| 中学校 | 30代 | <p>特別支援学級の担任をしています。書類を作成することがどうしても子どもたちが帰った後（部活動が終わった後）になります。夜遅くまで学校に残り仕事をし、持ち帰ることもあります。</p> <p>週 29 コマ中、29 コマ（主任会議含めて）埋まっている状態で、どのようにマネージしたら良いのか分かりません。教員の人数を増やしていただくことで改善できるのかどうかも、わかりませんが、8時間働いたら、家族や自分の時間をもてるよう教育の場にも配慮をお願いしたいです。とにかく、もう少し睡眠時間がほしいです（最近、物事を覚えていられなくなってきました）。</p>  |
| 小学校 | 30代 | <p>日々の事務仕事に忙殺されることなく、授業研究をもっとやりたいと思える環境なら、先生という仕事は楽しい。</p> <p>小規模校は子どもにとってのびのび良い環境だが、教員は大規模校と比べて仕事が多く大変。少人数学級実現で色々なことが解決するのに。</p> <p>ギガスクールにつき込んだくらいの熱量で少人数学級も実現してほしい。</p>  |
| 小学校 | 40代 | 上記に尽きる！   |
| 小学校 | 40代 | 定数改善は、いわゆる「乗ずる数」の値を大きくすることで行うこと。  |
| 小学校 | 40代 | <p>まずそもそも、上記の必要と思われる「のぞむ政策」に、どれだけ全教が言い続けてきた、文科省交渉で求め続けてきたことが含まれているか。それを長きに渡って無視し続けてきた文科省、財務省は、この危機的状況を生み出したこと責任をとって欲しい。無論、自民党政権も、である。</p> <p>私の同僚はやむを得ない家庭の事情により、一度この秋、職を離れる予定である。しかし、どのつてを頼っても、探しても、代わりが見つからない。「やはり何とか残らないか」と懇願され、家庭との板挟みに遭い、その同僚は密かに職場で泣いていたこともあった。</p> <p>教員不足は今に始まった事ではなく、かつて全教青年部が行ったアンケート調査で、産休代替教員が見つからず、「産休に入りたいなら自分で見つけて連れてきて」と言われたマタハラ事例も報告されている。もちろん許せないことだが、管理職のこの発言は、教員不足が無ければ起きなかったであろう「防げたマタハラ」と考える。問題はさらに、このアンケート結果をもって臨んだ 2016 年 3 月の文科省交渉で、あろうことか文科省側は「産休の全期間に渡って代替教員が見つからなかった」ケースについて「全体の 0.5%しかなかった</p> |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
|     |     | <p>た」と発言しました。パーセントが小さいなら良い問題ではなく、1人でも起きてはいけない。安心して出産できない、教育に穴が空く。今日ほど深刻になる以前から、訴え続けてきた。この間、具体的に有効な手立てを打ってきてないことについて、どう考えているのか。</p> <p>具体的に有効な手立てが打てない理由は明白なはずだ。問題の根本に向き合わないからだ。勤務時間内に終わらない業務量、加えて「感情労働」と言われるほどすり減らされていくメンタルと体力、モチベが下がる要因である景気が後退すれば直ぐに下がって戻ることはない給与や退職金、不当な扱いやハラスメントの温床である人事考課制度や管理職の権限強化、ビルド&amp;ビルドで増やされるGIGAなど新しく入れておきながら投げっぱなしの無茶振り、減らしてくれと言いつけても質的には減ってない調査、そして本懐であり当然の授業準備や宿題やテストの処理、中高なら部活...これらの問題に、どれだけ有効な手立てが打てましたか。そもそも、現場の声に耳を傾けて実行した策がありましたか。</p> <p>埼玉の超勤訴訟の中で示された教員の業務と自主的な行為の差、それに愕然とし憤った教員がどれだけいることか。政治は、司法は、教育のことを何もわかってくれないのかと、絶望さえした。それは、教職を目指す学生も同じ。増えるわけがない、不足が解消するわけがないのだ、この状況で。</p> <p>私はきっとこの秋、同僚が1人、予定通り職を離れると思っている。それは仕方がないことだ。その分、穴が空いたまま、いるメンバーだけで何とかするだろう。その時に誰か倒れたら国は何かしてくれるのか。自治体は何かしてくれるのか。教育の命や健康を大切に思うならば、その責任を感じて動いてほしい。責任とは本来、痛感するだけで終わりのものではない。</p> <p>教員不足解消のためには「まず隗より始めよ」と考える。今いる教職員がみんな、安心して、誇りをもって、笑顔で毎日働ける環境を整えれば、自然と解消する。ではどうやったら「まず隗より始めよ」を実現できるのかを、遅すぎるが、今からでも実現する。そうでなければ教育の崩壊は一層進むだけである。</p> |
| 高校  | 20代 | 分掌の事務作業(書類作成や会議)が多すぎて教員の本来の業務である授業や生徒とのコミュニケーションに時間を充てることができない。   |
| 中学校 | 60代 | 産休代替などあらかじめ欠員がわかっているのに新たな教員が派遣  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        | 以上    | されず学校内で処理しているため多忙化が加速している   |
| 特別支援学校 | 50代   | <p>施設設備の貧困さが、教員不足の一因になっていると思う。施設設備が十分でなければ、教育の魅力はうすくなり、教員になりたいと思う気持ちが低下する。大きな集団での活動や個別指導を組み合わせるなど、いろいろな条件に合わせた活動もやりにくくなる。施設設備の充実も対策として必要。</p> <p>今の教員数は教員は休まないということが前提のような定数である。教員も子育てがあるし、病気にもなる。休んだときに現場が困らないような対策、教員のプール制度などがあるとよい。</p> <p>文科省のいう教員不足は、定数を満たしていないということだが、定数を満たしていたとしても実態として教員不足で、必要な教育活動ができていない。現在の標準法では、特別支援学校は児童生徒数が多くなるほど教員一人あたりの児童生徒数が増える。標準法の改善、児童生徒数の上限規定などがどうしても必要。</p> |
| 高校     | 20代   | 超勤が多すぎますし、教員の質が低下し、パワハラやいろいろなさまざまな問題をかかえ、それが離職につながっていると思う   |
| 小学校    | 50代   | 大阪府東大阪市では、昨年3学期、5年生2クラスの担任と、算数少人数の担当の計3人が欠員となっている学校がありました。元々2クラスの学校です。まず、5年生の一人の担任が病欠になり、もう一人の担任がチームズを使い2クラスの授業を同時に進めているときもありました。そのような無理が元で、もう一人の担任も病欠になりました。算数少人数の担当は産休に入ったあと、代替が来ませんでした。  |
| 特別支援学校 | 30代   | 毎日5時間の授業をし、空きコマ1時間で子どもの提出物の処理、連絡帳の記入、出張申請等の事務処理を行い、生徒下校後には休憩時間ですが部活指導や諸会議があり、やっと一息つくのは17時過ぎ。そこから校務分掌の仕事や学年の仕事(修学旅行の担当等)...授業準備は19時過ぎからです。授業は翌日の授業だけでも3~4コマの準備(残り1~2はTT)。帰宅は22時、23時になります。これを1年間続けています。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 教育への監理統制、教育への政治的介入をやめる。教育予算を大幅に増やす  |
| 特別支援学校 | 50代   | 定数内の講師などという、枠を廃止してほしい。<br>産休、育休などの補充がすぐに入れるようにしてほしい。  |
| 特別支    | 50代   | 同一労働同一賃金が守られるよう、60歳を過ぎても給与は7割など   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 援学校    |       | に削減せず、10割支給して欲しい。というか、そうあるべき。   |
| 高校     | 40代   | 部活動の廃止  |
| 高校     | 40代   | 組織をマネジメントするのにマネジメント力に乏しい人材がそのポジションに多い。人事制度も抜本的に見直すべきだ。  |
| 中学校    | 60代以上 | 何しろ過重な働き方をなくしてほしい。教師がしっかり教材研究できるだけの時間を保障してほしい。学習指導要領でがんじがらめにせず、創造性豊かな授業作りができるようにしてほしい。ひとクラスあたりの生徒数を減らし、きめ細かな授業をするため教員を増やしてほしい。  |
| 高校     | 50代   | 日本の近代化を支えたのは、質の高い教育です。それは教員たちの質と量の確保、そして教育施設の充実によって保たれました。私が研究している近代教育史をみると、明治・大正期における自治体予算に占める教育費の割合は、4割から7割もあります（宮崎県内の市町村の場合）。教員は修士以上であること、教員への給与を大幅に上げること。そうしなければ、教員になりたい人は減りますし、教育の質は低下するばかりです。 |
| 特別支援学校 | 40代   | 教員は選ばれない職業になりつつあり、教員の質が低下している。教育の低下につながる。新しいことやらせるなら、今まで必然としてやることとされてきたところを見直し、仕事軽減していかないと仕事量は増えるばかり。   |
| 高校     | 60代以上 | 給与の改善と、人間性向上の自由な研修の拡大。  |
| 上記以外   | 60代以上 | ・明らかな児童虐待があり、関係機関との会議が行われる場合も、勤務時間外に設定される場合が見られ、教員の家庭がネグレクトになってしまう。また、児相と協働しての家庭訪問にも支障を生じる。しかも無給である。教員の福祉が損なわれる憲法違反の状態。   |
| 高校     | 20代   | 教職員の数だけ揃えても全員が万全の状態働いているとは限らない。何かあったときにカバーできるような余裕がないため、ただでさえ多い業務量の上に更なる負担がかかる場合もある。  |
| 高校     | 40代   | 私立学校教員の給与水準は学校法人によって違いすぎる。最低賃金レベルの学校もある。私立学校教員の給与水準も基準化すべき。   |
| 高校     | 40代   | 賃金が安い。再任用の待遇が悪すぎる。そもそも非常勤の先生がいることが問題。学級定員を減らして教員の負担を少なくするべき   |
| 高校     | 60代以上 | ①学校図書館司書の教育職2級への移行。図書館利用者を育むための、生徒指導も担っているのに、いまだに行政職のままで、賃金格  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | <p>差が生じたままである。また非常勤や委託のみが配置されている学校もある。②学校カウンセラーの専任、正規職員の採用。常勤ではないので、担任の負担が増えている。チーム学校として、格差のない教育職職員の職種を増やしてほしいと考えます。</p>   |
| 中高一貫校  | 40代   | <p>高校の教員不足は、義務教育学校の教員不足とメカニズムが違うと感じています。</p> <p>高校教員は教科の専門性を求められますが、そのためには教員養成系大学でなくても簡単に免許が取れるようになっていなければなりません。</p> <p>しかし現在は、教員免許取得のハードルが高くなっていることで、教科の専門性の高い教員の成り手が減って来ています。</p>  |
| 特別支援学校 | 60代以上 | <p>部活動を学校外に即時全面移行する。その為の予算に糸目をつけない。部活動を指導したい教員は、勤務時間外に地域住民の立場で活動に関わり、それを一切学校内に持ち込まない。</p> <p>金銭管理など教育活動とは違う仕事は、それを専門に担う人材を採用する。</p> <p>初任者研、年次研の大幅削減を行う。特に研究授業の指導案など、当該や指導する側が苦勞して時間をかけて作って配布しても、読む暇などどこにもなく、そのまま燃えるゴミになっている。</p> <p>毎年度末、次の年度に必要な人数がギリギリまで集まらない。教育系の大学生を、いろいろな名目でもってボランティア・インターン扱いで入れている。産休・病休など年度途中の欠員は、時期が悪いと埋まらなくて欠員のまま年度末まで行くことがある。講師が取れても、セクシャルな話題をオープンにするなど資質に問題のある人が入ってきたりと言うこともあった。</p> |
| 小学校    | 30代   | <p>学年のクラス数に応じて、採点やコピーなどの雑務を引き受けてくれる人をつけてほしい。</p>   |
| 高校     | 60代以上 | <p>少子化に伴う将来的な学校統廃合による教員数の見込みを、教育委員会が勝手に判断して、採用を控えてきたことも、現在の教員不足をうみだしているのではないか。</p> <p>正規教員を非正規に置き換えることで、人件費を抑制出来る制度に、安易に乗った自治体もあるのではないか。</p> <p>採用試験の不合格者を、安易に講師として採用するシステムにも問題があると感じる。採用枠が無くて不合格になった志願者ならともかく、面接などで不適格と判断された志願者でも講師として採用せざる得ない状況があると思われる。</p>   |

|      |     |  |
|------|-----|--|
|      |     | 受験科目でない科目の教員を非正規の講師して、受験科目の教員を増やそうとする行為が、講師の奪い合いに繋がっている。   |
| 高校   | 30代 | もう教員採用試験の倍率の低下に歯止めがきかなくなっている。先生がいなくて自習ばかりの学校がこれから来るのかと思うと日本の公教育に未来はないと感じてくる 子どもたちに申し訳ない  |
| 中学校  | 40代 | 地方公務員と同じ待遇にするだけでよい。残業代が出る仕組みにしないと、行政サイドが甘えて業務改善など本気で考える訳がない。残業代は経営側に対するペナルティであり、それが支払われないのは違法。サービス残業などどの業界にもあってはならないが、教員は基本的に合法なのが大问题である。  |
| 高校   | 40代 | <b>Q2-2</b> に書きました。<br>教員が足りなくて、分掌の掛け持ちが増えたり、少ない人数でやらなきゃならない仕事が増え、多忙化に拍車がかかっています。<br>また、私学は生徒減の影響で専任教員を見通しをもって採用できない。生徒の入学者数が確定しないと採用人事ができなく、人がいなかったり、「いい」人がいなく採用できなかつたりと悪循環に陥っている。  |
| 高校   | 30代 | 少人数学級の拡充と並行して教員を増やすべき。 <b>Q1</b> についてですが、 <b>20代</b> の項目がないです。   |
| 上記以外 | 20代 | 私は現在教育学部に在籍している大学3年生です。ここでコメントしても良いのか迷いましたが、コメントさせていただきます。<br>私たち教育学部生も、もう日本の教育には絶望しています。まわりの大多数も民間を受けようと考えています。たださえ教員は足りないのに、目指す人もいなくなってきました。<br>ずっと議論がなされていて、すべきことはもう自明なのに動かない国に憤りを覚えています。急がなくては本当に教員がいなくなります。<br>このように動かれている議員の方がいることが、それでも教員を志す私にとって唯一の心の救いです。 |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 小学校    | 60代以上 | 1日当たりの子供の授業時間の見直し。1年生で5時間なんて効果なし。4年以上が中学生と同じ時間数はおかしいです。   |
| 中高一貫校  | 60代以上 | 常勤講師など期限つきで採用して使い捨てにする私学、臨時雇用を定数内で固定化する公立。おかげで誰かが倒れても替わりの人が見つからない。常勤講師などではなくて専任で採用を公募してもなかなか応募がなくなっている。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 何が問題か。現場が忙しすぎる。多忙化を解消する。また、初任研、年次研等をもっと自由で内容あるものにしていく。臨時的任用の経験者を実績を考慮し、正式採用する。  |
| 上記以外   | 50代   | 非正規には非常勤講師以外に、免許状を持たず授業しないが、学校ボランティアを活用し個別の指導にあたるケースがある。子どもにとって良い場合も多くあるが、ボランティアとしては安く使われるという問題がある。   |
| 高校     | 20代   | 異動方法の適正化してもらいたい   |
| 小学校    | 60代以上 | 業務を減らす。退職教員で働く意思があっても、仕事量が多過ぎて、常勤講師特に成績業務を伴う学担は敬遠されがちである。   |
| 中学校    | 20代   | 教員の「やりがい」のみに頼って求人してきた文部科学省、ひいては政治の大きな失敗が教員の不足だろう。現場の教員が減ったことによって、教育実習を現場の教員が指導するという制度が非正規が増えたために監督できない状況になりつつある。私の住む地方では特に実技教科の類は指導できる教員がいないという理由で受け入れを断らなければならないケースが何度あった。 |
| 特別支援学校 | 40代   | 教員免許をもっと尊重せよ。   |
| 小学校    | 60代以上 | 今現に私の職場で、メンタル不調で病休に入る人がいるが、他校で5月初めから病休を取った方の講師もまだ未配置なので、自分の職場に講師が配置される見通しはない。1学年1クラスの学校で、他の学年の担任が時間をやりくりして体育の授業をしたりしている。  |
| 小学校    | 50代   | 病気などに倒れる環境もそうだが、実際に倒れる者が出ると、人がいないために2クラスを授業したことが何度もある。<br>産休育休代替の人探しがひっきりなしであり、70歳以上の人にまで声がかかって、実際に働いている。<br>崖っぷちな感触で、保護者からも心配の声があがっている。                                    |
| 小学校    | 50代   | 英語教育を小学校からやるのであれば、専門の英語教師を確保してから始める、というように人件費をかけてください。なんでも現場に丸投げして、あとは学校でなんとかやりくりしなさい的なやり方が   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 退職者を増やし、やりたいと思う人のは激減を招いています。  |
| 小学校    | 60代以上 | 産休や病休が必ず生じるのでそこに派遣できるような教員を確保してくこと。未配置で生じた余剰予算の活用。  |
| 中学校    | 20代   | 給特法の撤廃。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 組合員を管理職に就かせず、非組のバカばかり管理職に登用せず、さらに無能なトップが采配をしているがため、今のような状態が続いている。   |
| 中学校    | 40代   | 教材研究をしても家庭でゆっくり我が子と向き合う時間が欲しいです。これは贅沢な悩みでしょうか。当たり前の幸せではないかと思えます。何かを犠牲にしないと成り立たない制度はおかしいです。  |
| 中学校    | 60代以上 | 教職が魅力的な職業である事を多くの人に知ってもらいたい。自分の自由な裁量で仕事出来る事、子ども達の成長が間近にみられる事などです。頭の痛い保護者対応や、強制される事務仕事、評価を出すための授業、上位下達の組織、文科省や教育委員会に振り回されている状況、社会的地位が低く残業の割には給料が低いなどを知ると教員のなり手は居なくなってしまう。また、夏休みの自宅研修が無くなり生徒がいなくても出勤しなければならないとか問題が山積みです。やりがいのある仕事である事は間違いないですが、仕事の量が減って社会的地位が上がればこの創造力をフルに活かせる教員の仕事は素晴らしいと思えます。 |
| 小学校    | 50代   | もの言えない職場で、声の大きい教員に引っ張られ、ベテランと言われる教員が、若年層の教員に対して、自分に従え的な雰囲気蔓延している。弱いものが、更に、弱いものを叩く構図になっている。  |
| 小学校    | 60代以上 | 2で書いた通りです。  |
| 小学校    | 50代   | ヨーロッパ並みに、超過勤務した場合、使用者に罰金を課す法律を作してほしい。   |
| 小学校    | 30代   | もっと教員を増やしてほしい。一つの学級または学年を何人かで担任するようなシステムにしてほしい。そうすれば、空きコマが出来て授業のことを考える時間が確保出来る。今は児童が帰ってからしか授業の準備が出来ない。あと、小学校では学級担任が基本なので育児休暇明けでもフルタイムで働くことが当たり前になってしまう。副担任など子育てしながらでも復帰しやすい働き方をどんどん取り入れてほしい。上の子を産んだ後、復帰しましたが、保育園のお迎えにも間に合わず...我が子をおいてまで何してるのだろう...と   |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
|     |       | 涙したこともたくさんありました。どちらか選ぶのではなく、どちらも大切に出来る、そんな働き方を望みます！   |
| 小学校 | 30代   | <p>私が教員養成大学の入学式の学長挨拶で「こんな時代によく教員を目指してくれた」と言われて15年が経ちました。これ以上問題の解決を現場の自助努力に押しつけること自体が、現場を疲弊させ、教職への魅力を失わせます。</p> <p>子どもがいる間、ずっと教室にいることが当たり前だったので、小学校の教員に空きコマがあるという発想すらありませんでした。児童が登校する30分前に出勤してその日の準備をし、子どもが下校する15時半まで教室にいて、休憩時間に事務作業を少ししたら16時から18時まで少年団活動の指導があり、職員室に戻ってきて、やっとまとまった仕事時間がとれると思ったら、管理職から「もう遅いから帰りましょう。働き方改革です。」と言われる。理不尽です。</p> |
| 小学校 | 20代   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜は休校にして、子どもが来ないようにするか、教師の人数を増やしてほしい</li> <li>・1クラスの児童上限数を20人にしてほしい。または、1クラスに担任と副担任をつけてほしい。</li> <li>・教員免許がなくてもできる仕事は外部委託して、教師は授業や学級経営に集中できるようにしてほしい。</li> <li>・定時出勤、定時退勤したい。休憩時間をしっかり確保してほしい。無理なら残業代ください。給特法は廃止。教員に人権をください。</li> </ul>   |
| 小学校 | 60代以上 | <p>小学校なら、1学級の定員を20名程度に。</p> <p>音楽、図工、体育、英語の専科制を進める。</p> <p>プログラミングや英語など新しいことがどんどん導入され、勉強しなければならぬことがどんどん増えている。勤務時間内に教材研究しきれない。</p>   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 高校     | 40代   | <p>今までの価値観そのままに上乘せする教育政策では限界がきます。学力観の見直しが急務です。</p> <p>ただ人を増やすだけでは、質の確保が難しく、そこで起こるトラブル対応や後輩指導でますます忙しくなります。</p> <p>報酬の拡充などによる魅力の提案やスキルを活かした副業の自由化など、労働の対価が得られる環境や自己実現の方法を諸国並みに増やしてください。</p> <p>能力のある人が、横並びに扱われて、勉強することや能力を発揮することを選択しにくいことも原因の一つと感じているゆえです。</p> <p>原資がないなら、自分で稼げるようにするのも一つの方法だと思います。</p> <p>先生方が持つ専門的な知識や能力を社会に還元しやすくなります。副業禁止で眠っている公務員各位の価値の創出能力を掘り出してください。部活動などの解決策にもなるはずです。学校外の活動として別に報酬をもらってやれるようにすれば、部活動をやりたい教員も救われます。無償残業よりは状況は改善します。</p> |
| 小学校    | 60代以上 | <p>中学校に、75歳の常勤講師がいる。去年、担任が倒れたのち、代替が見つからず、半年間、80人学級だった。</p>   |
| 特別支援学校 | 20代   | <p>余裕が常にありません。子どもたちの安全を保障できない状況も時にあります。また、教員不足のため、様々な教育活動において、できないことや制限もあります。</p> <p>新しく教員になりたいと思う人に、やりがい以外での良さを伝えることができる環境になってほしいです。</p>  |
| 小学校    | 40代   | <p>病気休暇を取る教員がいても代替りの教員が派遣されず、教務や専科が担任することとなり、周りの教員の負担増に繋がっている</p>  |
| 高校     | 40代   | <p>昔と違い、生徒と向き合う時間がない。雑務が多過ぎて魅力を感じない。教育現場になっていない。</p>   |
| 小学校    | 40代   | <p>産休や病休などの代替教員がない。</p> <p>学習や発達面で補助の必要な子どものための補助教員がない。</p> <p>小学校の英語など専門的な教科の担当教員がない。</p> <p>講師という意味のわからない採用の仕方教員になりたくてもなれない先生がいる。</p>  |
| 上記以外   | 30代   | <p>特別支援担当の教員、また通級指導など配慮の要する子どもに関わる教員に関しては、配置の人数や勤務形態など、多様な働き方を考えても良いのではないかと思います。多様な働き方を提案することで、教員の確保につながらないでしょうか。</p>  |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 高校  | 40代   | <p>教員は、なんでも屋ではありません。</p> <p>教育版選択と集中をしなければどんどん教員のなり手は、減っていくと思います。</p>   |
| 小学校 | 50代   | <p>休職の補充が来ない</p>  |
| 高校  | 60代以上 | <p>無駄な会議や調査、文書報告、研修が多すぎる。授業準備や生徒と向き合う時間を削ってまでやる仕事ではない。研修等はもはやそれに携わる人たちの職を確保するために無理矢理つきあわされている感すらある。</p>   |
| 小学校 | 40代   | <p>2年連続、自分の職場は教務が臨時担任をしています。それ以外の先生が休んだら代行がいません。2軍選手は0人、ベンチの控え選手なしで野球の試合をしているようなものです。</p>   |
| 小学校 | 30代   | <p>たぶん他にも多くものがありますが、いちいち報告の文章が多すぎる。昔のことも残して新しくこれやれあれやれ多すぎる。昔から給料や時間のことは問題になってるのに、何年もそのまま。たぶん今回の有耶無耶にするのは見えてます。あんまり期待してませんが、本当をお願いします。子どもたちのためにまず先生の健康状態です。そして、正直に言いますが、お金ってすごくモチベーションになると感じました。</p>   |
| 小学校 | 30代   | <p>とにかく、学校に求められることが多すぎます。</p> <p>朝早く行かなければならない。体調がすぐれず、勤務時間30分前に勤務したら、保護者から「先生、遅いですね」と言われました。</p> <p>とにかく、現場は人が足りません。様々なニーズを抱えた子どもや保護者とゆとりを持って関わるできません。現在未婚ですが、家庭を持つ希望も生まれません。この仕事を定年まで続けられない気がします（定年も伸びる一方で希望がない）。</p> <p>仕事は授業のみならず、保護者対応、給食事務、校務分掌...定時時間内には到底終わりません。また、職場の若年化が進んでおり、「若手」が主任や教務を任されています。私達もまだまだ学びたいのに、教えてもらえず、困っています。愚痴や教材研究はTwitterで行うことが多いです（教員垢）。</p> <p>もっと子どもとゆとりを持って関わりたい。ただそれだけです。</p> <p>保護者の人たちのしんどさも、社会全体に関わる動きから来ているものもたくさんあると思います。</p> <p>押しつけのGIGAスクール構想...私たちはエンジニアではないのに、トラブル対応にも追われますし、ただpcを使えと。</p> <p>とにかく、しんどい。毎日のようにやめたいと感じます。</p> |

|      |       |   |
|------|-------|---|
| 小学校  | 30代   | ワークライフバランスが取れる仕事になれば、先生になりたいという人はいると思います。先生の仕事は十分魅力的ですが、拘束時間が長すぎます。教育予算を増やして、1クラスに20人くらいにすれば、子どもの学力も必ず上がると思います。<br>長年講師としていい仕事をしてきた先生たちが、採用試験で不合格になるのは悲しいです。  |
| 上記以外 | 60代以上 | 産休代替教員が全く足りていません。年度の途中で産休が出た場合、副校長や非常勤教員が担任を兼務しています。常に現場は多忙です。  |
| 上記以外 | 60代以上 | 4%の教職調整手当などは何の利得にもなっていません。むしろ、現場は「4%はいらぬから、ちゃんと正規に残業代を払ってよ!!」という思いです。子どもたちにこういうことを教えたいという夢を持つことなど、現場での多忙の前では邪魔になっています。多忙な教職員が最も声をあげたいのに、忙しくてそれさえも許されていないという実態です。いっそのこと、このまま教職員のなり手がなく、現場がまわらなくなることで、教職員の猛抗議、反乱ととらえてもらうのもアリとも思います。   |
| 小学校  | 40代   | 去年度、職場では、四年生の学年主任が保護者対応で疲れてしまい、6月に療養休暇に入り、教務主任が担任に。同じく四年生の担任が夏休みで産休。その後には少人数算数の先生が担任に。とっても大変そうな学年経営でした。<br>11月には、2年生の担任が体調を崩して療養休暇に入り、人がいないので、2人いる教頭先生が1人担任として入りました。<br>教務や教頭が持っていた書写が無しになり、3年生以上の空きコマが1時間減り、辛かったです。<br>なんでもギリギリの人数で進めようとするからこうなるのであって、余裕のある、暇な先生が何人もいるという学校でないと、今の時代はみんなが疲弊します。私は去年は6年生でしたが、修学旅行の引率も担任プラス養護教諭と校長。具合悪くなった子がいて待機しないといけない時は、校長がついていてくれましたが、最高責任者が不在のときにもしも何かあったらと思うと、もう1人くらいついてきてほしかったなと思いました。<br>今年度はまだみなさん元気ですが、妊娠希望の人も何人もいるし、難しい子供と保護者はわんさかいるしで、明日は我が身とってしまいます。<br>やりがいがあるし、好きな仕事なので続けたいですが、今のままでは自分の子どもに勧められる仕事ではありません。 |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 予算を増やして余裕のある現場にするのは政治の責任だと思います。組合でも働きかけます。よろしくお願いします。   |
| 小学校    | 20代   | 教員を増やす、というよりも教員を続けたいという人を増やすべきです。優秀な人材が減るばかりで、やる気のない人や資格のない人が来ても他の人の負担が増えるだけです。もっと働きやすい職場作り、例えば少人数学級で1人の担任の負担を減らすことや、給料アップ、残業代を付けること...などを望みます。   |
| 高校     | 60代以上 | 待遇の改善。業務に関して、責任範囲の明確化。教科指導・生徒指導・カウンセリングの専門性について、キャリア形成の保証。  |
| 高校     | 30代   | 教育予算の増額   |
| 特別支援学校 | 50代   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児中の方に時短制度があるが、これを使う方が増え、現場の負担がとて増えている。またその制度により午前中しか勤務しない方もいる。ありがたい制度だとは思いますが、教育現場に採用するのはどうかと思う。</li> <li>・産休に入った方の代替教員が見つからず欠員のままの学年がある。現場は疲弊しきっている。</li> </ul> |
| 中学校    | 30代   | 行政が学校現場をコントロールするという発想を変えない限り、学校現場は良くなるしないし、そうである限り、教員不足は解決しないと思います。   |
| 特別支援学校 | 30代   | 昨年度は代替教員が来ず、うちの学校は一時、4人分の教員未配置となった。今年も未配置に一時なり、これからの代替教員も見つからないワクが幾つかある。  |
| 特別支援学校 | 50代   | 半年以上前にわかる産休の代替が見つからない状態は異常。教員の仕事が雑多過ぎて本来の魅力的な仕事になっていない。教員定数を  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | 改善しゆとりのある少人数学級にして、一人ひとりにゆきとどいた教育ができるようになれば、やりたいと思ってもらえるようになる。   |
| 小学校    | 20代 | 今年度から初任で働いていますが、ただでさえ初めてのことばかりで一つ一つの仕事に時間がかかるのに、校外での初任者研修やその事後レポートに時間をとられてつらいです。研修の内容も、大学の授業や教員採用試験対策で勉強したものだったりして新しい学びも少ないため、時間ばかりとられてうんざりします。   |
| 小学校    | 30代 | 私の職場の若手の複数人は転職を本気で考えて動き出しています。多分どこの職場もそういう若手は少なくないはず。到底続けられるような仕事内容ではありません。教員の自由裁量も必要ですが、教育委員会が主導し、全体の行事の見直しなどすべき。学校裁量とすれば、近隣の学校と足並みを揃えようとして、例年通りが続く。新しい業務は増える。この悪循環を何とかしてほしいです。コロナでせっかく無くなった行事や研修が復活してつらいです。もっと授業の準備に力を入れたい。 |
| 小学校    | 30代 | 講師の人数が多く、即戦力となる教員の層が薄い。<br>ただ採用人数を増やすだけで解決するものではなく、教員の資質は落とさずに採用されることを望む。どこも手薄で、教員の層も薄いと、一人一人の負担がとても大きい。<br>1クラス35人以上になるとクラスが増えるはずも、教員がいないため、35人以上の人数になっている学年もあり、教員の仕事の負担が大変大きい。  |
| 小学校    | 30代 | ICT教育がなければ、再雇用を望まれる退職者ももっと出てくる。   |
| 小学校    | 50代 | 地教委も講師探しをあきらめるほど人が足りない。教育委員会も多忙で、教育現場に配慮する余力がないのではないかな。   |
| 特別支援学校 | 30代 | 新しい教員を求めることも大切ですが、今、現職で働いている教員が辞めないことの方が大切だと思う。   |
| 小学校    | 30代 | 子供のためをうたいながらご自分の出世の踏み台として子供を利用するような行事がとても多い。特に体育の人たちのお考えは信仰宗教に近い。少しでも学力を向上できるように学習に時間をさくべき。あと年齢を重ねた教員の乱暴な言動に管理職が泣き寝入りしている。何か勘違いしている教員がとても多いと思う。管理職が機能していないのでそういった勘違い教員がのさばり次世代教員が育ちにくいという現状は間違いなくある。                          |
| 特別支援学校 | 30代 | 年度当初から教員が配置されていない異常事態が続いている。行政の責任できちんと対応して欲しい。  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 小学校    | 30代 | <p>私は極小規模校勤務です。当たり前複式です。やりがいがあります。この規模には教頭と養護教諭、事務を正式に置けません。すると、ただでさえ多忙な業務にプラスして敷地内の草刈り、各種会計、各種外部会議への参加、敷地内の雪かき、郵便物整理を少ない人数でこなさなければなりません。せめてきょうとうと養護教諭、事務を全学校に配置となれば、すごく助かります。宿泊業務も、他の学校では一年に一回準備するが、私の学校では2回とも担任が準備をし、参加をします。今は毎日毎日明日辞めようか、明後日やめようか、授業の準備時間も保証されていない、こんな働き方改革、もつわけがない、子どものために退職はまだしてないけど、今、大きいトラブルが一つでも起きたら明日にでも退職してそうという精神状態で働いています。まじめに研修も受けているのに、非常勤の人からは「給料もらっているんだから、当たり前」とも言われます。人が少ない、人がいても、頭の古い人間によって傷つけられる脆い人間関係、減らない業務や調査が原因です。一度、どの学校も崩壊したほうがいいのかと思うくらい、毎日限界です。偉い人が急に訪問しようとする事なども、そこに人を割けないし、不躰だとも思います。大人の方が「相手の立場に立って」考えて行動できていないのではないか！小さい学校は全く働き方改革の視野に入れられていません。他の学校と比べるのは良くないことですが、複式が当たり前な学校の声をもっと真剣に聞いてほしいです。声を上げてないだけで、複式は多数の人間が思う以上に大変です。やったことのない人には想像できません。全員、経験してから調査だとか、研修だとかを要求してほしいものです。</p> <p>毎日職場が、自分が、壊れないように踏ん張っています。そんな働く場所、ふつうでしょうか？</p> <p>だれでもいいわけじゃない、教頭、養護教諭、事務を必置にするだけでかなりちがいます。毎日踏ん張っています。壊れないように、人をちゃんと必要な数だから、置いてほしいと思います。</p> |
| 特別支援学校 | 30代 | <p>特別支援学校は、子どもたちの実態に合わせた教員配置ではなく、教員配置に合わせて、子どもたちの学級編成を決めることになってしまっている。丁寧な教育をすることではなく、日々をどう安全に送るかが教員の仕事になってしまっています。今の状態では教育の目的（人格の完成）を達していくことは不可能であり、憲法26条の教育権保障の規定に反してしまっていることとなります。</p>  |
| 特別支    | 40代 | <p>環境整備の充実!! 学校が古い汚い。寒い暑い。休憩できるスペース</p>   |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
| 援学校    |     | がない。軍事費ではなく、教育に予算を相当額付けるべき🙏  |
| 小学校    | 20代 | 若い人が多い学校は、辞める人や学級崩壊になることがあって、他の教員に負担が掛かってしまう。若い人がどこかに偏らないようにする方がよい。また、産休、育休に入る先生が多く、学校全体で、安定して学級経営することが難しいと感じる。  |
| 特別支援学校 | 30代 | 今年度の初めに、同じグループの同僚が8週間の予定で病気休暇を取得しました。しかし代替は来ず、学級運営がとても大変でした。本来の自分の業務に加えてお休みの人の分の仕事も担うことになり、一日あたりの平均の在校時間は11時間を超えました。それでも仕事は終わらず、自宅に帰ってからさらに教材準備や指導案の作成など、4時間半の睡眠時間で翌日を迎えることが多くありました。教員の数を増やすのも大事ですが、それ以上に教員の仕事内容の見直しと処遇改善（残業代の支給）を求めます。  |
| 小学校    | 20代 | 1学級辺りの児童数が多いことが、負担を増やす要因にもなっているかと思います。   |
| 小学校    | 30代 | 未配置が発生して、2クラスを特別教室に押し込んで、2クラス同時に授業を行っている学校が市内にあります。授業はやっても、子どもたちに分かる・伝わる授業になっていない。   |
| 小学校    | 20代 | 本校には1学年2クラス、特別支援3クラスある。そのうち2クラスで担任が療休になってしまった。週30コマの単位時間がある。それぞれの担任には空きコマが3時間割り当てられているが、実質は担任不在のクラスの填補に入らなくてはならない。<br>加えてグラウンド整備やプール管理、登校下校指導など、業務は尽きない。せめてあと20万円給与が高ければ、現状でも納得することができる。現在の教員の立場はない。昔話で語られる教員像は今はなく、家庭で息詰まった保護者や子供たちのストレス解消道具でしかない。カウンセリングや病院にかかる時間も金銭的余裕もない。髪を切ったり洋服を選ぶ時間もない。ゆっくり食事を楽しんだのはいつだったか分からない。書いていたら自分の人生なんだろうと思いはじめてきた。教員やめたい。 |
| 上記以外   | 20代 | 給特法が制定されたのは昔で、その頃の残業時間は勤務時間全体の4%だったのに対し、今では残業100時間をこなしている教員もいる。時代に合わせた法律へと改革すべき。また、デジタル化が進む今日、紙の業務や細かい記載整備など、本質的ではない業務に多くの時間を要している。時代に合わせて、必要のない業務を削減し、  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | 子どもと向き合う時間や授業準備にかかる時間を多く確保できるように努めるべき。  |
| 小学校    | 20代 | 教員という職業に魅力が感じられるような施策を打ち出していきたい。  |
| 中学校    | 30代 | とにかくまずは部活動を一刻も早く学校と切り離すこと。スポーツ庁の方がまだ現場の事を考えてくれている。<br>教師がブラックな職業であることはもはや中学生でも周知の事実である。教師不足の実態は、文科省が掲げた施作の「#教師のバトン」で切実に書かれている。議員の皆様におかれましては、昨今の教師不足問題を語るのであれば必ずご一読願いたい。   |
| 上記以外   | 30代 | 私は学年主任からのパワーハラスメントにより精神疾患を発症し、別の学校での同僚からの保護者を巻き込んだいじめ・業務妨害によって退職を余儀なくされました。こうした加害者たちによって教職を離れざるを得なかった多くの人びとは、学校現場に戻ることもできず苦しい日々を送っています。いま、教員が不足しているとされていますが、働き方だけでなく、こうした実態もあることをご理解いただき、ハラスメントのない学校づくりに取り組んでいただけたらと思います。 |
| 中学校    | 50代 | 教育委員会は小手先の手法で教壇に立てない職員を増やすのみ、現場は教壇に立てる人員を求めている。   |
| 特別支援学校 | 30代 | 定数の教員が、今年度開始2ヶ月も経っても尚配置されず少人数の教員の人数で担任外の教員もフル動員でやっと学年が回っている状況です。産休代替や急な離職教員の代替もない状況です。  |
| 小学校    | 30代 | 現在正規で働いているが、この仕事量では到底定年まで勤めあげる自信がない。英語、道徳、キャリア教育、プログラミング、ICTなんでもかんでも増やすのではなく減らすことももっと考えてほしい。会計事務職員を増やすとか、業務削減を早急をお願いしたい。  |
| 特別支援学校 | 20代 | GIGA スクール構想も教育不足の一端を担っているようにしか思えません。個別最適な学びと言いながら、子どもたちに1人1台のタブレット端末を使用させるやり方は、学校本来の集団での学びの形骸化であり、教職員の力を蔑ろにしているようにしか思えません。そこにお金をかけるのであれば、もっと人への投資をしてほしい。教職員の定数の抜本的な見直し、引き上げ、とともに、支援学校増設を強く求めます。                           |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 特別支援学校 | 30代   | 定数内講師の枠が空白のまま新年度がスタートし、担任が足りないまま運営している学級がある。<br>産休・育休・病休などの代替の講師が見つからず空白のまま、周りの教員が多大な負担をしている。  |
| 小学校    | 30代   | 現場の教員が足りないため産育休など休暇を取りづらく、プライベートを犠牲にしてまで仕事を続け、病気になる教員もいる。現場に余裕が無く、時間休を取るのも気を使う。  |
| 小学校    | 60代以上 | 20人以下の学級で担任の学級業務を減らす。基本定数でさえ4月に確保できていない。ましてや、産休育休代替、病気休暇代替も配置されない。昨年度は、学級担任の代替が2学期初めから配置されず、5学年の算数の少人数授業のための加配教員が急遽担任になり、算数のハーフ人数の授業が出来なくなりました。更にその方も体調を崩し、病気休暇に入り更に6年の算数少人数加配の方が急遽担任になり、6年の算数少人数授業も出来なくなりました。今年度はも32人の定数のうち育休代替3名含めて、既に7名が臨時教職員です。学級担任は全て4月から配置されましたが、加配教員は配置が遅れました。今後産休に入る人などの代替教員が遅れずに配置されるか心配です。 |
| 小学校    | 20代   | 支援が必要な児童、家庭環境が複雑な児童が年々増えてきているように感じる中で、担任への負担が大きい。支援が必要な児童への対応を含めて、教員不足で行き届いていない。事務的な仕事が多いのと、まだ手書きで要録を書いている自治体なので今すぐ電子化にしてほしい。朝は早く、夜は10時近くまで働いているのに残業代が出ないのがあり得ない。学校全体の仕事も進めていかないといけない立ち位置になり、会議の資料作りにも追われ体力的、身体的にも疲れ切っている。   |
| 小学校    | 60代以上 | 「長時間過密労働に身体がもたない」「産休がわかっているのに代替教員が見つからない」「加配教員を担任に回し、本来の加配を活かした教育ができていない」「教育委員会も頭を抱えている」「定数くずしで非正規ばかり増やした弊害が大きい」   |
| 小学校    | 50代   | 各職場の余剰人員が少なすぎる。コロナ禍で教員やその家族が陽性や濃厚接触者になったことで、現場大変混乱した。教員の定年を待たず早期退職する原因や、精神疾患での病休の数を見て、行政は何も感じないのか。まずは教員が魅力ある職業であった頃のように、教員一人一人がやりがいをもって働くことができる環境整備に行政は取り組むとともに、賃金や休暇など待遇面での大幅な変更を行う   |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
|        |     | <p>必要がある。さらに青年の新規採用の枠を広げ、退職者や離職者も正規の人と同じように賃金を上げ、現場を支えていただけるようする。</p>  |
| 小学校    | 30代 | <p>国防費の増額よりも、先進国並に教育へ予算を割いてください。</p>   |
| 特別支援学校 | 50代 | <p>欧米並みの国の教育予算になるように増額<br/>一学級当たり20人以下にする。</p> <p>実態としては、病休者や妊娠者が出て、臨時採用職員が見つからないのが当たり前になっていて、埼玉の特別支援学校では、常に3～5名程度欠員状態でやりくりしているのが現状である。管理職も努力はしているが、見つからないのが当たり前になっていて、補充できていなくても管理職はなすすべなく、しょうがないと諦めている。現場もどうせ来ないよね。という感じで諦めムードである。欠員は、残りのメンバーでフォローしなければならず、自分の仕事に加え、欠員の穴埋めに日常業務にプラスして仕事をしなければならず、それが教員の多忙化をさらに強化している。若い教員は、自分が妊娠すると迷惑がかかると、妊娠を控える状況にある。また身体を壊しても、迷惑がかかると、無理して仕事を続けるので、結局重症化してしまい、病気休暇になって、職場がさらに大変になっている。</p> <p>働き方改革ご叫ばれているが、遅く残っている教員が悪いとばかり、早く帰るように、管理職はいうが、今の教育の水準を必死に守ろうとがんばっているから遅くなっているのであり、帰れないから、遅くなっているのである。教員を人間扱いしていない本当にブラックな職場です。</p> |
| 中学校    | 20代 | <p>教頭が授業をしたり、非正規雇用の講師の先生が担任をもつことが当たり前に行われている。それに疑問をもつ教員も少ない。目の前の多忙さに教師同士が考え語り合う時間もない。僕の友人は、教員採用試験に合格し正規教員として教壇に立つことを夢見て、本当に必死に毎日勉強に取り組んでいる。ただ、校種と教科の関係で合格は狭き門です。なりたい者が教員になれず、夢見て教員になった者が療養や休職に追い込まれる今の学校現場には矛盾と問題が多い。</p>  |
| 特別支援学校 | 40代 | <p>4月当初5名欠員、未だに1名欠員。昨年度は本校だけで病気休暇及び休職者は10名を超えました。</p>  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 小学校    | 50代 | 年度初めから欠員のままスタートしてさらに今から産休に入られる先生の代替講師が見つからないといった現状です。無理を言っていていただいている77歳の講師の方もすでに体調を崩されています。高齢の免許保有者を引っ張り出すのではなく若者に教師を目指してほしいです。教師が若者にとってなりたい職業となるような待遇改善がなされないとこの問題は解決しないと思います。   |
| 高校     | 40代 | ICTを導入しても人は必要です。  |
| 小学校    | 30代 | 本校では、産育休に入られる見込みの方が複数おられます。体育フェスティバル、水泳指導など、母子とも体調が不安定な中では安心して行えません。しかし、補助職員の確保が難しいんですと言うだけで本来つくはずの補助はつかず、泣き寝入り状態です。どうしているかといえば、学年で無理やりに時間を捻出して代わりに授業をする、それもできないときには妊娠中の先生が指導されています。宿ったばかりの小さな我が子の命をかけて、目の前の子どもたちの教育をしています。新しい命の誕生は、学級の子どもたちにとっても、職場の仲間にとっても大きな喜びで祝福されるべきものです。でも今は妊娠して「しまってすみません」と頭を下げながら働かないといけないんです。おかしいです。生まれてくる命を守るために、産休前に休まれたり、退職されたりすることさえあります。当然の選択だと思います。制度があるのに利用できないなんて、詐欺です。ギリギリの状態までなんとか働いて、法定の産育休をとられても、代替りの先生が来ないなんてことさえあります。クラスの子どもたちの学ぶ権利を保障するのは、国の責任です。政治家の責任です。予算をつけてください。現場任せにせず、責任をもって施策を行なってください。未来を担う子どもにお金をかけないで、日本の未来なんてありません。 |
| 特別支援学校 | 30代 | 支援学校でも子供の人数に対して、配置されている教員数が足りておらず、かつかつな状態です。クラスを超えて毎日応援に行きながらなんとか学年全体を回している感じで、いつ何が起きてもおかしくない状況だと思います。早く何とかしてもらいたいです。   |
| 特別支援学校 | 50代 | ブラック企業と言われても仕方がないほど、残業代は無いのに残業あるいは持ち帰り仕事が多に多い。病休、退職により欠員が出てさらに教員不足。早くから分かっている産休代替も見つからず何ヶ月も欠員のまま。<br>過酷な職場環境の改善が欠員の解消に不可欠。  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 高校     | 20代   | 6月に入ったというにも関わらず、未だに担当教員が見つからない話をかなり聞いています。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 管理職によるパワハラ根絶   |
| 中学校    | 30代   | <p>現職、中学校、小規模校に所属しています。クラス数が少ない→学校全体の授業数も少ない→ギリギリの教員数でまかなう→欠勤が出たときの代わりはいない、という状況を目の当たりにしています。体調不良やコロナ関係で欠勤となっても、空いた穴は後で自分で埋めなくてはなりません。教頭も授業に出ています。受験や模試に向けて、授業進度も余裕はありません。また、若い先生一人で授業を持たせるのも素質によっては厳しく、フォローも必要です。</p> <p>小規模校でも大規模校でも、支援が必要な生徒の割合は同じだと感じます。なのに、授業数で単純に割った定数の教員で回すのは厳しいものがあります。少数指導や支援員などスタッフに余裕のある人数を揃えてほしいです。</p> <p>ただ、今言われている残業代を出せ、という議論がもし実現したら、残念ながら不正受給するような方も出てきてしまうのでは、と思います。この仕事は目の前の生徒のことを考えたり、教科の専門性を活かしたり、こだわればどこまでもこだわります。そのため、時間を意識せず没頭してしまうこともあります。また、若い先生は試行錯誤しながらやっているの、時間ばかりかかってしまうことも多いです。超過分単純に支給するのでは、恐らく問題が起きると思います。なぜ、教員の仕事は時間がかかるのか、それを短縮する方法はないのか、その辺りを議論し実行していくほうが良いのではないかと考えます。</p> <p>このように、直接迅速に現場の声を聞いてくださる機会を設けて頂きありがたいです。一意見なので、学校教育全体の意見ではないことをご承知おきください。目先の改革ではなく、長い目で見た改革や政策をお願いしたいと思います。</p> |
| 小学校    | 60代以上 | 産休代替が見つからなくて、教職員が探すなど、本末転倒。  |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
| 小学校 | 40代 | <p>①勤務時間中、授業はもちろんだが、専科で空きの時間も、トラブル対応だったり補欠に入ったりで潰れることが多い。子どもが帰った後、残りの勤務時間は1時間半。そこから休憩を差し引くと45分。この45分で、いろいろな会議、保護者対応、翌日の授業の準備をしなければならないが、時間内に終わるわけがない。授業の準備にかかる時間は経験などによって個人差があるが、特性や理解度、興味関心もバラバラの子どもたちを巻き込むための授業を準備するのに、5分やそこらでは到底できない。どのくらいの時間が妥当だと国は考えているのか。</p> <p>②子ども、保護者、各家庭のニーズや価値観、環境がこれだけ多様化している中、35人のクラスを1人で対応するのは無理がある。個別最適化、個に合わせた指導、合理的配慮などが必要なのであれば、それができるだけの人員をそろえることが必要ではないか。1クラスを2人で担任するくらいの人手が欲しい。いきなりそれは無理でも、担任以外に各学年に1人ずつプラスで学年付きの教員を配置するとか。そうすれば有給も取りやすくなり、教員の余裕が生まれる。初任や経験の浅い教員へのフォローもしやすくなる。余裕がなければ、子どもへの対応も余裕のないものになってしまう。</p> <p>③教員不足の解消は急務だが、特効薬はない。ましてや末松大臣が言った4つの政策など、全く意味がないと言っている。教員の労働環境の改善を、地道に、誠実にやっていくしかない。いつまでも調査ばかりしていたり、現場の教員の声を聞かなかったり、新しい「〇〇教育」ばかり増やして何も減らさなかつたり、現場が望まない政策を打ち出して改革のふりをしたりでは、教員になろうと思う人が減るばかりだ。</p> |
| 高校  | 50代 | <p>教員が不足しているのなら、正規教員の採用を増やせばよいだけのこと。単純である。ではなぜそれができないのか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算を割こうとしない（教員の人件費を増やそうとしない）</li> <li>2. 教員の定数を増やそうとしない→これは法令上の問題。現場ではどうしようもない</li> <li>3. 教員一人あたりのコマ数が減らない→教員の数が足りていないのだから、上限いっぱいまで授業を持つ。余裕はない。これも法令上の問題。現場ではどうしようもない</li> </ol> <p>正規教員の数が増えれば教育の問題の大半は解決します。それを阻んでいる法令や規則に手をつけないと問題は永遠に改善されません。</p>  |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 小学校 | 30代   | 忙しすぎる。他の職種なら法律違反（際限ない残業、残業代が出ない=最低賃金の保障がされていない）ことがまかり通っていることがおかしい   |
| 小学校 | 60代以上 | ①部活指導は社会体育に全面移行し、教員は指導に当たってはいけないことにする。なぜなら、本務に支障をきたすので。校務システムの整備、学校外のトラブルへの対応、地域行事への参加等も同様に、教員免許を持っていなくてもできることに教員の労働力を充ててはいけないことにする。<br>②私は小学校教員をして来ましたが、中学校英語の免許も持っています。定年後も講師として小学校での英語指導を希望しましたが、英語専科の配置は市内にほんの数校でしかも正規教員を充てる方針のようで、現場の要求と講師希望者のやる気が全く活かされていません。 |
| 小学校 | 30代   | 教育は尊い仕事です。同時にとても難しい仕事です。その専門性を無視し、安上がりで済まそうとしないで欲しい。担任がいないまま過ごす学級があります。誰かが穴を埋めようにもその誰かがいません。みんな溢れんばかりの仕事を持っています。  |
| 小学校 | 40代   | 何も研修などないままに、新卒で他の教員と同じように、教壇にたつこと。これまでなら、保護者の応援や、同僚の助けでなんとか乗り越え、一人前の先生になったのかと思いますが、現在の膨大な仕事の中で、若い教員を社会全体でどのように支援していくのか、ということを考えてほしい。それは、ただ研修を増やす、ということではなく、失敗しても、みんなで支えていくという社会全体の変容が求められるのでは。  |
| 小学校 | 60代以上 | 再任用になり、しかし、業務は変わらないどころか週の持ちコマ30時間と朝の会、部活で額面で時給を計算したら600円台ぐらいだった。疲労がひどく、明日倒れて死ぬんじゃないかと思いながら学校に向かう。しかし、教頭が気の毒で、タイムカードは減らして押している。違法行為であることは分かっているが、残業が増えることは教頭を苦しめ、教頭は私よりも先に死にそうだから。   |
| 小学校 | 40代   | やるが多すぎるので仕事を分担する。<br>それと、とても休みにくいので、教員も1人の働く人だという認識が社会でちゃんと広まってほしい。<br>管理社会をやめる。まだ古いやり方を踏襲している。教育を根本的に変えていく必要がある。<br>自分の家族より学校をとらなければいけない現状を変えないと教員   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | のなり手は増えないと思う。   |
| 小学校    | 30代 | 残業代が出ないことや、なりたいと思う魅力の発信ができていない。現場で働く人間としても、進められる良い状況ではないと思う。  |
| 特別支援学校 | 40代 | とにかく毎日が人手不足です。担任外の教員や時にはボランティアで補うことも。子どもに丁寧に向き合うには、人を増やすことが最優先だと思います。   |
| 中学校    | 20代 | 教員不足から、1人の教員への業務量が増え、1ヶ月休日無しで生活する先生方もいます。家庭生活を犠牲にし、とても幸せな生活を送っているとは言えません。<br>また教員は福利厚生が恵まれていて、産休育休、病休が取りやすいと言われていますが、制度上そうであっても、代替教員が見つかりません。代替教員が見つからず教科担当がいな中、半年過ぎていく学校もあります。 |
| 小学校    | 20代 | 特別支援学級で担任をしています。<br>規定が8人の子どもを1人でみるように設定されていますが、これで学級運営は不可能な状態です。<br>椅子に座れない、教室に入らないなど状況は様々で多種多様な子どもたちです。<br>規定を変えて一人当たりの人数を減らし、教員を増やすことを考えてほしいです。                              |
| 小学校    | 40代 | 長時間労働で、家族にしわ寄せが来ていて、次世代がやりたいと思わなくなっている  |
| 特別支援学校 | 40代 | 学区整備、仮設校舎の増設、懇談会の削減、宿泊行事・教科書選定の業務委託、登校日の削減（下校時間の見直し）  |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 小学校 | 30代   | <p>毎日辛い日々が続いている。小学校2年生22人の担任で、人数は少ないクラスだが、特別支援を要する児童が複数いて、授業中は立ち歩きやトラブル、脱走などが常であり、毎日休み時間は話し合いや子どもを探す時間で潰れる。空き時間の先生が助けてくれているが、みんな時間がないのに、それを費やしてもらうことが申し訳ない。放課後は、保育園のお迎えのため5じに退勤しなければならない。下校後の約2時間が勝負だが、保護者への電話連絡に時間を取られ、不登校の児童とも面談を毎週するため、時間は1分も無駄に出来ないと必死に過ごし毎日走ってバスに乗る。その上、特別支援コーディネーターも任されていて、全校児童の申請の窓口も務めなければならないが、私止まりの案件がいくつかある状態。早く進めてあげなければ、なのだが。</p> <p>また、隣のクラスは精神疾患からの病休明けの先生で、今年も体調をすぐしはじめている。早めに帰らせてあげたいので、学年の仕事は積極的に引き受ける。</p> <p>自分はGWから体調不良がたびたびで、風邪薬に頼りながら毎週を乗り切るような状態。最近は夢まで学校のことになってきた。</p> <p>こんな過酷な仕事、辞めたいと思う気持ちもある。ただ、時間ももっとあれば、楽しい仕事でもある。</p> <p>クラスの人数を減らす。授業の待ちコマを減らす。教員に授業の準備時間を保障する。そんな風に、現場で必死に子どもたちのために働く教員を助ける支援をしてほしいです。</p> <p>特別支援の子についてもっと勉強してよい指導をしてあげたい。</p> <p>隣の先生がもっと早く帰り、教員として働き続けられるようにしてあげたい。自分も子育てと安心して両立したい。</p> <p>そんな思いです。</p> |
| 高校  | 60代以上 | <p>教員の奨学金返還免除制度は私も利用しましたが、無くなっていたとは知りませんでした。</p>  |
| 高校  | 30代   | <p>千葉県は10年以上前から「理科の教員がいない」と言われ講師になりませんかと言うお電話が来ます。必要な教師の人数を把握しているのか謎です。また、教員免許で専修教員免許を持っていても採用試験で優遇されず、講師の電話ばかり来てうんざりです。</p>  |
| 小学校 | 30代   | <p>教員の急病などで1人抜けただけで学年が回らなくなるなど、急な事態に対してのサポートが全く機能していないと感じる。短期で入れる教員を常に数人確保するようにするか、教員定数を増やして校内で余裕を持って対応できるようにすべき。</p>   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 高校     | 30代   | 音楽科の教員＝吹奏楽部の顧問という図式はなくしてほしい<br>甲子園の吹奏楽部の BGM はなくしてほしい   |
| 中学校    | 60代以上 | 教員不足は深刻、子どもたち、現場の教職員が悲鳴をあげています。   |
| 特別支援学校 | 60代以上 | 教職員組合敵視をやめ、教育研究集会など自主的な教育実践研究を推奨する。   |
| 高校     | 60代以上 | 高校は、小中に比べて、いわゆる空き時間は多いです。しかし、分掌の仕事や生徒への対応などで埋まり、授業の準備をする余裕がありません。その上、放課後は部活！それだけでも時間外勤務になる。授業準備はいつやれというのか！ 持ち帰りか土日です。<br>無償でやっていることへの苛立ち、自分の時間・休養のゆとりがないことが、多くの教員(特に若い方々)を疲弊させていると感じます。休暇・休業制度は整ってきましたが、取るゆとりがない、周りの負担を考えると取りにくい。長期の休業者の代替が来ない事態は最悪です。<br>ふだんのゆとり＝持ち時間数を 15 時間以内に！ 1 クラスの人数を 30 人に！ これが叶うといいなあ... |
| 中学校    | 60代以上 | 退職者ですが組合の書記としてお手伝いする立場から現役の方々のとんでもない労働状況を見ていて回答しました。  |
| 高校     | 50代   | 今年的一年生から新カリとなり、「情報」の非常勤の先生がお二人必要となったので管理職が探したのですが、全然いなくて大変でした。各校のカリキュラムは教育庁は把握してるわけで、そこから教員が何人必要か、分かるはずで、そうしたら足りなくなると去年から分かっていたはずです。それを何の対策もせず放置して、講師探しは学校に丸投げ。副校長は毎日朝から晩まであちこちに電話をかけまくってて、副校長本来の仕事が滞る。やってられません。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 教員の負担軽減のため、全額公費負担にして、学校徴収金を無くして徴収事務を無くす。又、その為、専門的、系統的に学校経営に関わることが出来る学校事務職員を大幅に増やし、教員が本業に専念できるようにする。   |
| 小学校    | 30代   | 産休や病休での代わりの先生は現場で見つけるのが当たり前になっている。みんなに祝福されるべき産休を、申し訳ないと言わざるを得ないことに追い込まれていることが辛い。<br>ベテランが忙し過ぎて余裕がなく、新人を育てるのではなく、新人の尻ぬぐいをしなきゃいけないという言葉が出てくる現状。<br>また、小学校の教科担任制もいいとは思えない。特に、ベテランの   |

|       |       |   |
|-------|-------|---|
|       |       | 先生が理科専科となり、複数校を掛けもっている現状がある。兼務であることで、校務分掌がもてない状況が作られている。学力テストで子どもも、教員も競争させられる教育ではなく、じっくり子どもたちと向き合って話し合える教育現場を取り戻してほしい。  |
| 中学校   | 30代   | <p>教育予算の大幅増しかないと思います。</p> <p>新規採用者が数カ月で精神疾患で休職・退職している現状があります。やりがいを感じ希望に満ちた教員生活を夢見ていたのに、いざ始まってみるとやらされ感だけの官制研修、多忙による同僚性の欠如での孤独感... 誰にも相談できずに心と体をボロボロにして去っていく。こんな悲しい職場が多くなっているようです。</p> <p>自治体にもよるでしょうが、大量採用された世代（団塊世代）が退職して若年教職員が増えています。採用数年後には結婚、出産で育児休暇に入る。その代替者が見つからず未補充（穴あき）が生じ、補充者が見つかるまでは職場内で何とか回す。ギリギリの綱渡りをしながら皆でフォローして。複数の休職者が出た職場は大変な状況です。</p> <p>社会保障などの国民を助けるための施策を広げ、現状の大企業優遇の政治はキッパリとやめる。「なによりいのち、ぶれずにつらぬく」日本共産党を広げます。参議院選挙頑張りましょう！！応援しています。</p> |
| 上記以外  | 60代以上 | 支援学校、支援学級の拡充も必要だと   |
| 中高一貫校 | 30代   | 部活動顧問強制に対する厳罰化をお願いします。  |
| 高校    | 50代   | PTA 活動の任意化(強制加入の廃止)、同窓会組織の解消、部活動の廃止、制服着用非着用の選択の自由を認める、企業が求める欠席 3年間で十日以内の暗黙のルールをなくす、大学入学共通テストを廃止し国際バカロレア試験を日本語でも受験できるようにし国内外から学生が集まるような受験制度に変えていく、教育産業に生徒情報を提供することになる模擬試験の完全廃止。  |
| 小学校   | 60代以上 | 病休はもちろん産休育休の代替がありません  |

|      |       |  |
|------|-------|--|
| 小学校  | 30代   | <p>とりあえず、教育現場がしんどいです。</p> <p>先生が疲弊し、子どもたちはもっと窮屈な生活を強いられ、しんどくて、かわいそうです。</p> <p>多くの教職員仲間は、声を一緒に上げれば、自分の周りが「変わる」ことを知らず、毎日がしんどいので、声を上げることを諦めて、とりあえず日々をこなしている仲間が多いです。</p> <p>現場は、もうずっと前から限界です。</p> <p>教育内容の見直し、先生が人間らしく子どもたちにゆとりを持って向き合え、子どもたちの笑顔が溢れる教育現場にしたいです。</p>  |
| 高校   | 20代   | <p>ICT 機器の設定や、設備管理など、これは教員の仕事ではないですが、現状教員がしています。このような外部に任せられることは任せられるようにしていただきたいです。</p> <p>また、すでに期限付き教員や産休代替教員として、正規教員と同じ働きをしているのに、なぜもう一度採用試験を受けなければならないのかについても疑問に思います。教員が足りないのであれば、現在産休代替や期限付き教員で働いている方を正規雇用すれば問題ないと思います。</p>   |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>期限付きの教員免許更新制度が、大きな障害となった。どのように免許更新制度問題を解消する方向へ向かっているのかを、広く周知徹底してほしい。</p> <p>残念ながら自分の免許が、どの状態かはっきり分かっていない。</p>   |
| 小学校  | 60代以上 | <p>教科書採択に当たり、権力からの圧力を無くし民主的、公平にする。</p> <p>教育課程を本当に必要で大切な内容にする。</p>   |
| 高校   | 50代   | <p>現在の教育をめぐる状況は、「教員のなり手がいない」という、教育の持続可能性に関わる事態となっています。この問題の解決には、教職員の抜本的増員による、長時間過密労働の解消しかありません。</p> <p>岸田内閣の軍事費倍増路線に対し、共産党が「軍事費より教育予算の増額を」と言ってくれていることはありがたいですが、その中身は給食費無料化や、高等教育無償化となっています。確かにどちらも大変重要な課題だし、その方が国民にはわかりやすいものですが、今、最も急がれるのは教員のなり手を確保することです。ことは教育の成立に関わり、待ったなしの課題です。折りしも教職員の長時間過密労働問題は、教員不足問題と相まって、社会問題化しています。参院選に向け、日本共産党にはぜひ、「軍事費よりも教育予算増額で教職員の抜本的増員を」と打ち出していただくよう、お願いいたします。</p> |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 40代   | 一人休むだけで、学校は回らなくなります。教育にお金をかけずに業務内容が増大し、教員は疲弊。退職まで続けるのは厳しいです。   |
| 小学校    | 20代   | 教員の待遇の悪さがここまで知れ渡った今、目指す人は減少するのは当然。まずは待遇を改善し、それを世に広める必要がある。   |
| 特別支援学校 | 50代   | ICT導入に対応できる専門家の配置、通級指導担当教員の設置基準を決め、超勤にならないように。産休や病休補充がすぐに入らない実態。先読み加配を。  |
| 上記以外   | 60代以上 | 先生本人の教科の専門制を高める時間を保証する制度。はっきり言ってほとんどの公立学校の先生は、教科指導がお粗末です。教科指導が下手でも、部活動が強い先生が認められるなんて学校はいっぱいあるのでは？調べて見ると面白いかも。高校の国語の先生で、古文・漢文を塾並みとまでは言わないが、生徒が納得する解説が出来ないと～という危機感を持っていて欲しいが、現実にはそんな勉強する時間がない?!それが現在の学校ですよ。              |
| 中学校    | 40代   | このままで行くと近いうちに教育崩壊が起こります。はやく働き方改革してください。  |
| 小学校    | 30代   | 数年講師を経験した人には面接、校長からの推薦のみで正規採用になれる。いじめ対応、保護者対応には基本的に警察や弁護士が入るようにする。(学校警察、学校弁護士をおく)授業内容や時数を減らす(週に1回は午前授業)。〇〇教育(プログラミング、金融、自殺予防、キャリア、環境、消費者などなど...)を減らす。一年目は必ず副担任。勤務時間内に終わる内容の研究、研修。休憩時間の確保。重い校務分掌主任(体育、ICT、給食等)には手当てを出す。 |
| 小学校    | 60代以上 | ハードすぎる。親対応を一緒にやってくれるプロがほしい。  |

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 小学校   | 40代   | <p>○特給法が改正できないのであれば、残業をしないような具体的な改革をしなければならないです。予算をつけて人員を増やしてほしいです。それが無理なら大幅に業務を減らしてほしいです。各学校の判断に任せるなどといった曖昧なことをいっては改革できません。結局何も業務は減っていません。アンケートや報告書など、教師の本来の業務以外のものは全く減っていません。</p> <p>○教師の仕事は特殊だから、子どものためだからと多くの先生がサービス残業をして働いています。現場では皆本当に毎日子どものために頑張っています。しかし長時間労働、保護者からのクレームや指導の難しい子どもの対応をしているうちに体力面でも気持ちの面でも消耗しています。このような状況でまだ大きな改革をしないのは、やりがいを出汁にして労働者から搾取しているとしか思えません。自主的な残業というのであれば、何千人もの先生たちが精神的に病んで仕事を休んだり、退職したりしているのも好きでそうなったということなのでしょうか？</p> <p>○先日は、「私が若い頃は、土曜日や日曜日のどちらかに学校に来て教材研究をした」という話を大勢の前で公的な研修の場でしておられました。感覚が狂っているとしか思えません。私たちは契約の上で成り立っている労働者です。公の研修で上記のような法律違反の発言を許す教育委員会はおかしいです。このようなおかしさに気づいた若者は教員の道を選ばない、採用試験の倍率が下がっているのも当然のことと言えます。</p> <p>○特別支援学級の子どもの定数が多すぎます。特別支援学級担任は加配の先生もつかない状況で1限～6限まで空きコマもなく、支援の必要な子の対応に追われています。今すぐどうにかしないと先生たちが倒れてしまいます。</p> |
| 中高一貫校 | 60代以上 | <p>ゆとり教育の復活。授業は午前中のみ、あるいは5時間目まで。</p>   |
| 小学校   | 50代   | <p>教員不足を特別支援学級の増大のせいにしてしているふしがある。(4月27日の文科省通達)</p> <p>勝手に、学校の教育課程を調査し、一部の自治体を名指し。勝手に是正すべきと決めつけ、支援学級在籍児童を退級させ、支援学級担任者を減らそうとしている。そんなことをする権限があるのか。</p> <p>子どもも親も不安と不信の渦に投げ出され、学校教育は崩壊してしまう。</p> <p>宮本さん、一度、大阪に帰ってきてください。みんな怒っています。</p>  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 特別支援学校 | 30代   | 業務の大幅な削減。教育課程の削減。現在は、法律に照らし合わせると、違法行為ばかり。ゆとりは、人員確保のゆとりへとつながる。定年まで働きたい。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 給食費や教材費などを全額公費負担にする。クラブ活動も外部からの人を増やして、教師に時間外労働や徴収金の督促などの負担をかけない。もっと教育にお金をかけるべきです。  |
| 中学校    | 50代   | 業務減らしてください   |
| 小学校    | 30代   | 授業標準時数を減らす。<br>指導要領に法的拘束力を持たさない  |
| 小学校    | 30代   | 当自治体では、小学校も部活がある。当然、勤務開始時間より早く出勤し、空き時間が週3回時間ぐらいで毎日6時間、さらに子供の支援をするために空き時間もT2として授業に入り、添削や授業準備をする暇もなく、部活動が開始する。なぜ空き時間なのに、T2に入る必要があるのか、それは人員が足りないからだ。さらに音楽や外国語など、特別な技能が必要と考えられる授業まで、楽器経験や英会話経験の無い教員が当たらざるをえない状況。さらに情報主任となった暁には、ICTに長けているわけではないのに、全部のタブレット端末から校務用PCを担当しなければならない。ICT支援員など、月に1回しか来ない。なぜ、そこすら人員不足なのか。おかげで慣れぬ作業で残業ばかりだ。人がいないから、休暇を取ることすらも憚られる。他の教員に皺寄せが行くからみんなが控える状態。出張も被せるな。なぜ一日で出張で4人も、5人もいなくなるんだ。担任も、管理職もいないぞ。だれが担任のいないクラスの面倒を見るんだ。学校で何かあっても担任も、教務も、教頭も、校長もいない状態はおかしい。出張命令を出すならば、被せるな。リモートでできる研修や会議はそれでいいだろう。なぜ、聴くだけなのに、わざわざ2時間もかけて現場を離れ、わざわざ税金である交通費を使っていく必要があるのか。開催地も毎回、都会である。同県でも端の地域の場合は、時間もかかるのだ。その時間が無駄すぎる。リモートを行えば、それらすべてが解消し、現場でトラブルがあってもすぐに対応できる。教員評価制度の廃止も求める。校長や教頭は毎時間、教員の動きを見ていない。授業を見に来ることすら稀。なのに評価される。逆にこちらが管理職を評価することはない。相互的に評価をするべきものではないか。そもそも一方的な評価を下され腹が立つ。キャリアパスポートも廃止を。あれは本当に意味がない。時間や紙の無駄。親の金の無駄。小1のころの目標が、高1になん |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | の影響があるのだろうか。必要な物は、保護者が思い出として保管している。兎に角、キャリア教育の一環としても、疑問を呈さざるを得ない。業務を減らせ。無駄な調査ばかりして、結果を出せ。   |
| 小学校    | 50代 | 新しい研修制度がどう機能するか心配。教員を縛るものになってもらっては困る。   |
| 高校     | 50代 | <p>(1) 中教審が提言した教員の業務仕分け「必ずしも教員が担う必要がない業務」「教員の業務ではない」ものを確実に削減した管理職や教員を表彰したり、昇給させるべき。</p> <p>(2) 文部科学省は学校現場に還元されない無駄な調査やアンケートなどを限りなくゼロにするべき。</p> <p>(3) 働き方改革と掛け声ばかりで、それどころか逆に文科省が次々と「〇〇教育」「〇〇研究指定校」などを認定することによって益々多忙に拍車をかけている。文科省は次々と学校現場と乖離した愚策や通知・通達という余計なことは何もしなくてよい。正直、「頼むから世間受け最優先で思いつき政策を垂れ流さないで引っ込んでろ」という言葉以外にない。文科省から発出される「紙切れ一枚」の通達・通知によって、学校現場の業務は莫大に増やされ益々引っ掻き回される。学校教育を劣化させているのは文部科学省そのものである。</p> <p>(4) ゆとり教育が叫ばれた20年ほど前から現在に至るまで、文科省が行ってきた政策で、学校教員や生徒が「これは良かった」とプラス評価できるものはほぼゼロである。ほぼすべてが学校現場丸投げに過ぎない。例にいとまがない程だが、近年では大学入試での英語民間資格の活用、金だけ出して学校教員丸投げのGIGAスクール構想やプログラミング教育、e-ポートフォリオ、小学校外国語の教科への格上げと専科教員制など、児童・生徒にも教員にも混乱しかもたらしていない。</p> |
| 特別支援学校 | 30代 | <p>特別支援学校ですが、5人もの教員の欠けで4月をスタートしています。国や県はやるべきことばかり押し付け、指導内容を増やし、そのための人員は増やさない。マンパワーに頼り、カリキュラムマネジメントと称して教育環境や人員についても各校や自治体に丸投げ。どの企業よりもブラックです。</p> <p>ただ子どものために、それだけを支えにして働いていますが、いつまで身体が持つのか、不安しかありません。</p> <p>抜本的な教育予算の向上が必ず必要ですし、更なる少人数学級の編成や学習内容の精選等、他にやるべきことはたくさんあると思いま</p>   |

|      |       |   |
|------|-------|---|
|      |       | す。  |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>根本的には教員を増やすしかないが、緊急的な対応としては、指導主事などの活用は不可欠だと思う。コロナ対応では実現している例もあるので、ぜひ国会で追及して実現してほしい。</p> <p>私は8月で66歳になるので免許失効になります。更新制はやめたのだから、復活してほしいです。そうすれば、特別に臨時免許を発行しなくても教壇に立てるのと思っています。そういう人もけっこういるのではないかと思います。</p>                             |
| 高校   | 50代   | <p>結局のところ、業務削減と言われて久しいですが、教員数を増やし、授業のない時間を増やし、授業の準備、クラス経営の作戦時間にあてることがなければ、変わらないどころか、ICTの導入により、ストレスの増す業務が増えているのです。今回愛知県で導入され始めたスクールエンジンは、使い勝手が悪のですが、改善する気があるのかどうか</p> <p>一方では、ひとクラスの生徒定数を減らすことです。本当の改善がされ始めたというこもしことも噂で広まれば、変わり始めます。</p> |
| 上記以外 | 50代   | <p>教員は過労です。教員定数を増加すべきですし、部活動などは教員とは別に人を雇用することもできると思います。</p>   |
| 高校   | 40代   | <p>子供も大切だが、教諭も人間である。</p> <p>労働基準法は遵守してほしい。</p> <p>メンタルダウンした方が増えていたにも関わらず、対策が後手に回っている。</p> <p>Q3-1の項目を見直さない限り、不足は続く。</p>   |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
| 小学校 | 30代 | <p>全部に決まっています。</p> <p>先生の数は足りません。休んだら誰がそのクラスを受け持つのですか。テストをしてその場を凌ぐのですか。補助に入る先生は T2 だけしてませんよ。ダメって言われたことも平気をお願いされます。一人で授業しちゃダメなのに暗黙の了解が続いているんです。新採が来れば他の先生の教材研究の時間が新採の研修のために授業を増やされます。教材研究の時間が減らされます。そんな状態で定時で帰れは無理があります。</p> <p>通知表だって必要ですか？親はテストを見ればわかります。できているのかできていないのかは、ノートや授業参観の態度で授業態度がわかります。そこでしか見れないツールで写真や近況を伝えたら通知表っていらぬですよ。少ない文面直すのに一ヶ月残業です。学校のホームページの写真の文面は1日で終わるのです。</p> <p>夏休みの作品応募や宿題など</p> <p>家庭でするものは家庭で任せることにしたらいいですよ。作品応募の記入があつてるか一覧にするだけで大規模な学校なら日が暮れます。基礎をしっかりするために学校があるのではないのでしょうか？</p> <p>そのため教材研究の時間はとても大事だと思います。一人一人違う個性を持っているのに一つのアイデアだけですべて成功できるわけがありません。</p> <p>担任二人いれば変わるかもしれませんが人件費が莫大になりますね。きっと無理です。</p> <p>たくさん述べましたが、まず人の意識を変えるか人材を変えるかしないと人は増えないと思います、新しい人材を指導する側の先生が子供を怖がらせて不登校にさせることもあるくらいです。</p> <p>子供のためにも関わる人材の良き選択をしてください。</p> |
| 中学校 | 40代 | 教育委員会を解体して下さい。  |
| 高校  | 50代 | <p>①世の中に、部活動は教員の善意で行われており、保護者や生徒が過度の要求をできるものではない事を周知徹底する</p> <p>②お祭りの見回りや交通安全指導、地域清掃など教員の仕事ではないことを安易に学校に依頼することを禁止する。</p> <p>③文科相が次々に打ち出す、書類の作成ばかり増えて現場の役には立っていない政策を見直す。観点別評価など最たる物である。問題作成や成績処理の時間が倍になっただけで生徒にも不評である。</p>   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 特別支援学校 | 50代 | 学校で働く非正規教員の比率が高すぎることで、多忙化に拍車をかけている。まずは、安定的に学校教育を担う人を確保するために、現在非正規で働く人を正規採用すること。ベテランの非正規教員は忙しすぎて採用試験の勉強ができず、実践を頑張れば頑張るほど受からないシステム。日々の実践そのまま評価して正規採用化してほしい。教員不足は、教育費不足！ |
| 小学校    | 40代 | 急な不登校や登校渋り、教室飛び出しなどへの生徒指導対応や、低学力児童への取り出し指導などへ対応する担任外教員が現場では必要です。正規教員のプラスアルファの配置を求めます。   |
| 高校     | 50代 | 私立高校に勤務しています。<br>教員が足りないので、校長が2コマ、時間割に入っています。異常です。<br>教員が足りないので、質の悪い非常勤講師を切ることもできず→授業の質が悪く、授業が成立しない→非常勤講師が休む・年度途中で辞める→正規教員の負担が増える→代替りの非常勤講師は見つからないという悪循環が毎年、繰り返されています |
| 小学校    | 20代 | 長時間勤務を解消すること、これでかなりの問題が解決するはずですが。   |
| 小学校    | 50代 | 臨時の先生や非正規の先生の雇用の安定<br>使い捨ての雇用調整に使われているように思える。賃金もとても安くなるようなしくみになっています。   |
| 特別支援学校 | 50代 | 特別支援学校ではそもそも重複認定が実態に合ったものになっていません。<br>また、定数法で生徒数が増えれば増えるほど教員数が減る現在の定数法のみで大規模校が放置されているのも問題。さ   |
| 小学校    | 50代 | 教頭教務が激務の中担任も兼務しています。それを担任とカウントしないでください。兼務している人に特別手当を出してください。  |
| 高校     | 50代 | 大学の学費が高すぎる。   |
| 特別支援学校 | 30代 | 代わりがないから休めない。複数の業務があり長時間労働は当たり前。教員は聖職という古いイメージを変えるべきです。教員の人権を保障してください。教育を守らないと国の未来はないです。  |
| 特別支援学校 | 40代 | 免許更新制の失われた10年間によって相当数の潜在的教員が失効によって職を得る機会を失われている。現場への費用対効果、要求水準は高まる一方で待遇や環境はよくなっていない。むしろ忙しくなっていると感じる。気概のある人を待つだけではなにも解決しないので、もっと多様な教員候補者を育てる仕組みを考えるべきだと                |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 思う。   |
| 中学校    | 40代   | 病気休暇等の代員をお願いしても、いつまでも来ず、知り合いに声をかけてくれ、という始末。週4時間の授業を回すことが出来なくなり、週3にして、同じ教科担当者で授業を受け持ち、カバーした。生徒の理解度も下がるし、こちらの忙しさも増し、保護者からのクレームがいつ来るかヒヤヒヤしていた。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 自分が勤務する学校は、今年度、4月から一度も定数を満たしていない。生徒指導に関わる案件で夜遅くまで帰宅できない教員も多く、管理職は土日に事務仕事を処理するのが常態化。児童生徒への1人1台タブレットの導入、(オンライン)校務支援システムへの大規模な更新作業、副籍制度の導入など、「働き方改革」の掛け声などどこかへ吹き飛んだような状況。一方で、国体関連には、現場から教員を引き剥がして大規模な組織化(そこはそこで、かなりブラックな労働実態もある様子)。大きな変化の伴う事業を行う際に、潤沢な人員を整えるのは当然のことと思うのだが。県教育委員会も予算の縛りが強く、身動きが取れない面があることも大きな問題。  |
| 小学校    | 60代以上 | 働き方改革を早急に。授業は、1日4コマまでとし、授業準備が十分にできる時間の確保をする。もちろん1クラスの人気は欧米なみに。魅力的な職場になれば教員を志望する人も自然に増えるはず。  |
| 小学校    | 50代   | 私の4月の中の平日の生活を紹介します。私は4月から転勤して新しい職場に赴任したこともあって、赤ペンのインク一つどこにあるかわからず、何をすることも周りの先生に聞かないとできないで、時間がかかりました。本当に忙しい毎日でした。<br>まず朝は5時に起き、6時までの1時間で学級便りを書きます。6時から7時まで朝ご飯や身支度をして7時に家を出ます。7時半に学校に着いたら、学級便りを印刷したり、教室に入ったらいつでもかわからなくなる水分補給やトイレを済ませ、7時50分には教室に入ります。子ども迎えながら、宿題のチェックをしたり、子どもたちの話を聞いたりします。その後、朝の会、6時間の授業、休み時間には、宿題の丸付け、子どもたちの対応、給食の時間にも子どもたちにおかわりを入れてあげたり、コロナの対応をしたりで、自分がかき込むように給食を食べます。終わりの会をして、子どもたちが帰った後は、教室を片付けるまもなく、会議が始まります。 |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
|     |       | <p>会議が終わると、家庭に電話連絡をしたり、時には家庭訪問をしたりします。その後、他の先生が帰ってしまう前に、連絡や報告をして、学年の仕事もします。やっと自分の教室に戻れるのは、午後6時過ぎ、7時前になることもあります。自分の教室を片付け、授業で集めたノートをチェックしたり、次の日の授業準備をしていると8時を過ぎてしまいます。ようやく教室の鍵を閉めて、職員室に帰ってくると、職員室の校務用のパソコンに届いている書類の処理をしていきます。宿題のプリントをつくったり、授業の資料を用意したり、印刷したり・・・終わらないうちに10時になり、さすがに学校を出ることにします。家には、10時半頃着いて、晩ご飯を食べて、ニュースや新聞を見ている内に、カーペットの上で寝落ちしてしまいます。家で飼っている夜行性のハムスターに夜中の2時頃起こされて、ハムスターに少し癒やされてから、なんとか布団まで行きます。そして、また5時に起きて一日が始まります。毎日仕事を終えているわけではないので、土日どちらかは出勤しています。とうてい人間らしい生活とはいえません。メンタルや体を壊す危険と隣り合わせの生活です。</p> <p>本来、教員という仕事はとても夢のあるすてきな仕事であるはずですが。それなのに、こんな生活では、忙しさと疲れの中で、夢や希望を見失ってしまい、私も何度やめようかと思ったことかわかりません。</p> <p>まずは、教員の働き方改革が必要です。人手が足りないのに、国際学力競争に勝ち抜く力をつけるとか、貧困対策とか、教員はあれもやれ、これもやれと仕事を増やされています。先生たちは私生活や健康を犠牲にして必死にやっています。その状況が変わらないと教員になろうという人も増えません。</p> <p>教育は、人を相手にする仕事なので、人手が必要です。人をきちんと増やしていくために予算を増やすべきです。</p> |
| 小学校 | 60代以上 | <p>私は、67歳で、現在新任の後補充の仕事をしています。今年度は、年間30日の出勤です。</p> <p>昨年度も10月までは、新任の後補充の仕事でしたが、11月から頼まれて2年生の担任をしました。</p> <p>職場で、介護休暇をとった先生の代わりに先生が見つからず、教育委員会からは、校長先生に、自力で探してくださいと言われたということでした。</p>  |

|      |       |  |
|------|-------|--|
|      |       | <p>私の歳は、免許更新しなくていいので、永久免許です。</p> <p>こんなに先生が見つからないのは、免許更新制のせいです。</p> <p>私は、免許が失効してしまっても、10年とか20年とか、担任をやった実績のある人を採用出来るようにしたらいいと思います。そうすれば、61歳から、65歳くらいの先生が沢山見つかると思います。是非、そのようなことが出来るような法案を作ってください。よろしくお願いします。</p>  |
| 小学校  | 50代   | <p>現場を知らない人が考えた施策はいつもの外れでがっかりです。単純です。フルタイムで働く正規教員を2倍に増やせば、いま学校が抱えている多くの問題が解決します。教員の精神疾患増加、不登校増加、特別支援が必要な子どもたちの増加、ブラック部活問題など。今、子どもたちに投資しなかったら、日本は終わりです。</p>   |
| 上記以外 | 40代   | <p>今は現場から離れていますので、控えさせていただきます。上記の大臣の提案について、ほとんど書かせていただきました。</p>  |
| 小学校  | 60代以上 | <p>静岡市は4月時点で20人欠員。担任を持たない「級外」教員が足りないままスタートした。そのため非常勤教員(退職者)を増やして授業は確保したが、午後はいない週3日しかないので、情報交換しにくく、公務分掌という係もできない。結果、管理職まで忙しくなり、個別支援が必要な子どもについたり、休む担任の穴を埋めて授業をしたりすることなど、級外の役割を果たすことがたいへんになっている。突然年休をとると代わりの教員がつけない、学年の他のクラスの先生が2クラス授業をやることになる。</p>                                   |
| 小学校  | 30代   | <p>現場には5月1日付けで確定する学級数の問題があります。これにより、私の職場でも「一人でも転出すれば学級数が減るので、4月段階で教員を増員できない」という理由から教員が1人欠員状態です。現場に教員が1人多いことにどんな問題があるのでしょうか。今や教員の年度途中の休職は当たり前の光景です。そこにあてる余剰を常に確保しておくことは、どの学校にも必要な人員です。それが2校に1人でもつけられないのでしょうか。先生が一年間変わらずに過ごす職場の方が今や少ないと思います。そこに予め対策をとっておくことが求められている時代ではないのでしょうか。</p> |
| 上記以外 | 60代以上 | <p>私は退職した者です。現役中は組合(教組共闘)でも取り組みました。県教ことでこ委は国の方針で動いていますが県独自、市町独自で教員数を改善する工夫ができる部分も少しはありました。実感として、教育行政を動かすには、組合の要求だけでは動かないが校長から現</p>   |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 場の声届けさせることで県は動くということが、あります。署名だけでは動かない。現場の実態を父母の力も借りて認識させる工夫が必要と思います。  |
| 小学校    | 30代   | 保護者対応、授業準備、児童指導、やることは山のように。そんななか、新しい取り組みをどんどん入れられても困ります。ビルドするならばスクラップが必須。1人ひとりの個性を尊重し学びを充実させたいと教員は思っています。現場で疲弊する人が離職していく前に学校現場を守る取り組みをしてほしいと切に願います。   |
| 小学校    | 50代   | 産休に入る事が決まっているのに代替の人が来ないので現場にいる教員でやりくりするしか無い現状をなんとかしてもらいたい。安心して産休に入れたいのはおかしいと思う。   |
| 上記以外   | 60代以上 | 私は、特別支援学級の担任をながらくしていました。今定数が8名となっています。発達段階が異なり、生活年齢も違い、障害も様々である子どもを担任一人で学習保障や発達保障することには限界があります。京都では、特別支援教育になった2007年小学校の特別支援学級在籍者数は1473名でしたが、2021年には2921名となっています。ほぼ2倍になっています。特別支援学級も増加していますが、2007年に591学級2021年に830学級と1.4倍にしかありません。安心安全の見地からも定数の改善を求めます。特別支援学級は8名を6名に通常学級は30名にする。教員免許制度廃止により教員免許の復活や学級担任を複数にするなどの管理職を増やすのではなく支援をする先生を増やすこともお願いしたいです。京都では専科教員も皆無であるので負担も大きいです。特別支援学級は学級としてカウントされていません。18学級以上の学校には教務が2名配置されますが、特別支援学級も学級としてカウントされるようにするのも大切です。最後に給料が仕事量や大きな責任に見合っていないのも人材が集まらない原因です。 |
| 特別支援学校 | 40代   | 現勤務校も1人欠員で回しています。どんなに学校で探しても講師がいません(教科の兼ね合いもありますが...)。どんなに教育の魅力を発信しても、現実を若者が知った時、やっぱりやめたり、諦めたりするしかない現場は魅力的では無い。いろんなことに忙殺されて、教科指導の準備も出来ない。子どもとも向き合えない。何なんですかね...<br>ウチは支援学校ですが、医ケア児童生徒が多くなり、とても手がかかるのに、それに見合った教員配置になってない。子どもとの願  |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | いに人員不足で答えられないときもあったようでした。命を守りながらの教育の難しさに直面。日々を安全に過ごすだけで精一杯。現場は何とか踏ん張ってますけどね...  |
| 中学校    | 40代   | 授業だけ持たれる人が増えています。つまり級外の方がいないので、担任以外も含めて分担していた仕事も担任がやらざるを得ません。授業数は年々増えています。そんな中で先の仕事も増えるので、とても定時に終わる仕事量ではありません。  |
| 中学校    | 20代   | 学校行事の平日実施、事務仕事の業務委託(出欠管理等)、宿泊行事引率の際の手当の向上、休憩時間の管理、残業を無くするための工夫(部活動が学校から切り離されれば、中高ではかなり解決されると思われます)  |
| 中学校    | 60代以上 | 支援学級在籍児童・生徒をダブルカウントしないので、40人を超えるクラスがたくさんあります。また、中学校3年生の教室は本当に満杯です。中学校も35人学級をすぐ実現して下さい。毎月80時間を超える時間外勤務をしている教員がたくさんいます。残業代を支払うか、教員を増やすかどうかをして下さい。教職員をこき使うのをやめて下さい。  |
| 小学校    | 40代   | 愛知県一宮市立丹陽西小学校では、4年生4クラスの担任のうち、2名が12月に産休・育休に入ります。別の学年でも1人抜けます。もし代わりの方が来なければ、教務主任や「校務主任」(愛知独特の呼び方)なども担任に入ることになります。大変な状況です。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 正規で教職員を採用するのは、最低限の教育条件。たりないのは臨時講師でなく「先生」です。田舎の支援学校では1/3から1/4が非正規でした。そういう状態だと突然誰かが休んだときに、ホントに誰も来てもらえない。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 病休、産休の教員の代替がない状況が常態化しています。事務仕事や提出義務のある書類作成、学校放課後の多くの時間を費やしています。私が働き始めた頃は放課後は、先輩から子供の捉え方、魅力ある教材作りに時間を費やすことができました。今は様々な事務処理を終えてから勤務時間外に教材作り等子どもに直接関わる大切な仕事をするのは、珍しいことではありません。休日も教材作りや翌週の準備を必ずしています。保護者対応にも大変気を遣います。この仕事の魅力を伝える気持ちの余裕と時間の余裕がないため若い |

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | 教員が離職しています。   |
| 特別支援学校 | 40代   | 特別支援学校の過大過密による教員不足の実態が深刻です。全国に適正規模の支援学校の抜本的増設が急務の課題です。とりわけ大阪府の現状の改善をよろしくお願いします。   |
| 中学校    | 30代   | 授業以外にやるが多すぎて、授業の準備などほぼしていない。だから教員が減る。そしてまた時間がなくなる。負のスパイラルです。現場ではどうにもできない。行政の介入がないと、働き方改革なんてただの「めあて」でお終いですよ。   |
| 高校     | 40代   | 生徒からも教員のブラックな実態を指摘されることがあります。保護者からも、学校の先生の仕事はブラックだから目指さないほうがよい、と言われている生徒もいます。子どもたちが実際に目にする先生たちの働く姿が大変すぎて、教職を目指す気にならないことが悲しい現実です。子どもたちが将来、この仕事に就きたいと思えるような職場環境の改善を希望します。   |
| 小学校    | 20代   | 残業代を増やす<br>労働に合った賃金の支払い<br>1学級の児童数を減らす<br>教師の業務の明確化など、見直してほしい   |
| 上記以外   | 30代   | 軍事費を全額福祉と文教予算に充てる。日米安保条約第10条に基づきFMS制度の即時破棄。現在専門学校で非常勤講師をしているが、講師はほぼ全員非常勤講師で、100人くらいいる。その割に管理職や運営担当が2~3年でほぼ入れ替わるので、まともに引き継ぎすらされない。教科書も指定されているが、誤字脱字ならまだしも、定説ですらない学説や誤った主張が堂々と述べられていて、高い学費を払わされているのにこの程度の水準の教科書しかもらえない学生がかわいそうだと思う。 |
| 特別支援学校 | 50代   | Q2に書いた  |
| 小学校    | 60代以上 | 上記以外には少人数学級にすることです。<br>教師の負担を少なくするとともに、子どもに行き届いた仕事ができる。それは、少人数学級が1番です。  |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
|        |     | <p>1クラスの担当する児童・生徒が少なくなれば、ノートの〇つけ、テスト・プリントの〇つけ等々、担任の仕事が減り余裕ができてきます。すると、児童・生徒へ「今度はクラスで、〇〇君に、何しようかな？」という気持ちが出て、仕事が創造的になり、教職本来の魅力に近づきます。</p> <p>また、現在の子ども達は、いろいろな知識を身に付けていて、一人一人に合ったことを丁寧に対応しないと知的好奇心が満たされません。子どもが不満な状況が続くと学級が荒れたり崩壊したりしていきます。少人数学級で、教師に余裕が出てきて一人一人に対応できると子どものいろいろな力を伸ばすことにつながります。</p> <p>私は、昨年度、初めて、小学校2年生で1クラス25人でした。(長年してきた小学校教師。今まで30人が最低でした。)今まで、〇つけするプリントがたまったり、家に持ち帰ってもそのまままた学校へ持ってきたりすることがずいぶん減って、精神的なストレスが解消されました。</p> <p>今年度は31人です。また、プリントがたまってきました。どんどん授業を進めなくてはなりませんし、板挟みで苦しいところです。昨年と比べて、6人分の違いが日々のいろいろな仕事に付きまといまいます。</p> <p>私は、小学校は、今の子ども達には、1学級20人までだと思います。ほとんどの先生は実に真面目です。ブラックが解消され、名実ともに魅力ある職場になれば若者たちも集まってくると思います。</p> |
| 小学校    | 40代 | 講師不足による休職等への臨時対応が難しい。  |
| 小学校    | 30代 | 働き方の選択を増やす。短時間勤務など   |
| 小学校    | 30代 | 栄養教諭などはもともと人数が少ないのにさらに講師を探すのは不可能   |
| 特別支援学校 | 30代 | <p>昼食は毎日五分で食べてます。</p> <p>下校を見送ると午後四時近くになります。</p>   |
| 中学校    | 50代 | プール制度の導入、療養休暇の代替えがほぼいない  |
| 小学校    | 50代 | 私学に勤務していますが、法人の高校で非常勤の教員募集をしたところ、集まらず何度も募集をかけ、やっと採用できた教科もあれば、まだ決まらず専任が待ち時間増で行っている教科もあります。  |
| 高校     | 30代 | 無駄な業務を減らせば定員増をしなくてもなんとかなるのではないかな。  |
| 特別支援学校 | 40代 | 授業づくりのために当然必要な準備時間と元気に児童と向き合える休息がほしい   |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 小学校 | 30代   | <p>産休育休に入る先生の補充を講師で行う制度はどうにかして欲しいです。若い先生が増える＝妊娠する先生も以前に比べ増えています。また、働きやすい環境を整えなければ新しく教師になりたい人は減る一方です。</p> <p>私も最近いろいろと任せられる立場にあり、休日は平日に我が子のお迎えに間に合うよう帰るためのサービス出勤しています。しかしその時間は子供は夫が見るかたちとなり、なんのために。と毎日泣きながら耐える日々です。胃が痛く食べられません。もうすぐ倒れる気がします。</p>   |
| 中学校 | 50代   | <p>始業式の日から欠員状態でスタートしている学校がたくさんあります。医師から病休を勧められているのに我慢している人や、介護休暇を取りたくても遠慮して言い出せない人もいます。なぜこうなってしまったのか？それは、今まで長い間正規採用を少なく抑え、臨時的任用を濫用してきた上に、低い待遇で何年も学校を支えてきてくれた長期臨時教員経験者を使い捨てにしてきた教育行政の失敗です。以前なら採用試験に落ちても臨時教員を希望する人がいましたが、今は一度落ちたら、そんな報われない仕事をするくらいならと民間へ行ってしまう。人を人とも思わない学校現場では、今の若者は入ってきてくれません。まずはその姿勢を改め、その証として現在働いている臨時教員を全員正規にすることから始めてはどうでしょうか。</p> |
| 小学校 | 30代   | <p>まずは給特法に手を入れ、他の公務員と同様に残業代を支給する体制を作ること。そして、常勤講師を学校長の権限で即採用できるようにすること。また、小学校においては、児童の毎日の下校時間を14:30までにすることで、事務作業や教材研究の時間が確保でき、超過勤務が減る。最後に、教員定数を増やすこと。予算的にも難しいことではあるが、教員がゆとりを持って働くためにもっとも効果的である。以上</p>  |
| 高校  | 60代以上 | <p>職場環境も悪い。壊れそうな学校。クーラーの無い職場、高齢の再任用、非常勤の部屋にはクーラーがなく、何度も熱中症になりかけた。</p> <p>大学出て、クーラーの無い職場は今時あり得ない。</p>  |
| 小学校 | 50代   | <p>少人数ということで 複式学級になっている<br/> 教員の人数も1減になっている<br/> 仕事は普通の教員数の学校と同じ量のため 過重労働になっている。</p>  |

|            |           |  |
|------------|-----------|--|
| 中学校        | 20代       | 校務分掌の担当が多すぎる。各教科の教員数を最低3人以上にする<br>ところでテスト作成の負担を軽減を希望。<br>初任者教員に対しての業務削減、研修制度の見直しを希望。   |
| 小学校        | 20代       | 残らないといけないという空気感があるのも事実なので、解決策は<br>わかりませんが、そこを改善すべきだと思います。同調圧力みたいな<br>なもの。  |
| 中学校        | 60代<br>以上 | 若い先生のなかには、9時10時まで残って仕事することを自慢する<br>ものもいる。今の多忙かは、そこにも問題があるような気がする。<br>8時間働けば普通に生活できる社会を作っていく必要性を感じま<br>す。   |
| 高校         | 40代       | 毎年のように非正規雇用の教員が入れ替わる実態がある。<br>また、私の担任しているクラスに教科担当として入ってくれている<br>先生のほとんどが非常勤講師や非正規の常勤講師の先生。<br>クラスの生徒たちは、前の年に教わった先生に引き続き教わりたい<br>と願っています。<br>たとえ新しい先生でも、自分たちとたくさん関わってくれる先生を<br>求めています。<br>毎年お世話になっている非常勤講師の先生も、次の年の契約がある<br>のかないのかが、3月のギリギリまでわからない実態がある。<br>他校でよい条件が提示されれば、せっかく子どもたちのことをずっ<br>とみてくれていた先生がいなくなってしまうかもしれません。<br>学校側も経常費の関係から確約ができないというのもわかるが、そ<br>れは私学への経常費助成が抜本的に足りていないためです。<br>政策としては、学級定数を抜本的に減らして欲しい。<br>学級定数を減らすことで、教員一人ひとりが生徒一人ひとりとじっ<br>くり向き合うことができるようになり、そのことが、教員としての<br>やりがいと喜びにつながっていくと思います。<br>そしてそのことが、教員を志そうとする人を増やすことにもなるの<br>だろうと思います。 |
| 特別支<br>援学校 | 40代       | 職場にゆとりがなく、出張や一人でも休むと周りの教員への負担が<br>重なる。役職の無い担任外がいると助かる。教職へ魅力を感じても、<br>実際にはやるのが山程あり、離職や求職者が増えている。  |
| 特別支<br>援学校 | 40代       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員配置基準の明確化</li> <li>・児童生徒数の多いマンモス学校を減らし、適性規模の学校を増や<br/>す</li> <li>・学校の統廃合ではなく、少人数教育ができる学校づくりが必要</li> </ul>   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| 高校     | 50代 | <p>高校の底辺校では生徒の学力指導や生活指導に非常に労力が取られている。また、保護者の理解協力が得られないことも多く、より多くの教員を必要としている。</p>  |
| 特別支援学校 | 50代 | <p>現場で、体調不良や精神的な問題で長期間休む人がいても、産前休暇に入る人がいても、誰も代替りの先生が来ない。</p> <p>いつも最低限のぎりぎりの人数で、子どもに怪我がないようにということを最優先に考えて指導をしているので、まともな活気のある生きた授業ができない。</p> <p>休む先生がいないと、「教員たちの困り感」が先に立ち、ビデオを見せて、安全に過ごしてその時間をやり過ごそうとしたり、休みが多い先生が影で悪く言われたりする。そのため、必要なときに必要な休暇も取りにくくなり、お互いにぎすぎすしたり、教員自身の家族に大きな負担を強いたりしている。教員の子どもたちは、月曜日から金曜日まで、日替わりで習い事に行かされて親が不在の時間をやり過ごす。または、祖父母の家で夕御飯を食べ、宿題をし、お風呂にも入り、あとは布団に入って寝るだけの状態になってから、または寝てしまってから親が迎えに行き、自分の家では夜寝るだけ。そんな家族の状態があたりまえ。周りの先生たちは、そうやって「やりくり」している。「いい先生」の子どもほど、悲惨な生活を送らされている。教員をしていて、こんなに幸せな仕事はない!と思う一方で、毎日疲弊し家族はぼろぼろ。ある意味スーパーエリート教員しか生き残れない現状。「みんなちがってみんないい」「一人は皆のために」を教えるのなら、教員だっているんな人がいて、子どもにいろいろな生き様を見せてあげるのが教員の仕事でもあるはず。効率的な子育ても合理的な教育活動もない。十分な手間ひまかけて、子どもたちを育てていくのが学校です。軍事費にお金をかけるなんてもってのほか!ごく一部の金持ちのために日本があるわけではありません。子育て、教育、福祉にしっかりと目も手もお金も注いでください。</p> |
| 小学校    | 30代 | <p>学校が何でも屋になっているため、何でも屋の業務が多くなってきた。(カウンセリング、警察、スポーツ指導、電気の取り付けなどなど) プロでないのにやることが多すぎ。</p> <p>ワックス、廊下のペンキ塗り、プールの水道管理、電気交換、クーラーのフィルター掃除など、プロから見たらひどいもんでしょう。こんなちっさいことですが、ちゃんと外部委託すれば地域にお金が落ちるので良いはず。雇用が生まれる。</p>   |

|     |       |   |
|-----|-------|---|
|     |       | けっこう、こういう作業が既にある時間をつぶしています。   |
| 高校  | 50代   | <p>今は「子ども目線の親」が沢山いて、モンスター化していることが日常です。不登校に簡単に陥る...それらに対応する時間は、ほとんど勤務時間外で、残業手当もなしで週に20時間も残業しています。ココロを病んで病休に入る先生は、諸手当もあり守られていますが、職場に残された教員は病休者の仕事も加わり、常にオーバーワーク...それでも何のケアも手当もないのです。</p> <p>「やりがい」だけで人が沢山集まるはずないでしょう？と言いたいです。</p> <p>それも、これからは採用された教員の質も下がってくれば、尊敬できないレベルの教員も増えると、「あの先生のような教員になりたい」という学年も減少します。この連鎖が起きてしまえば取り返しがつかないのです。</p> <p>ぜひ まずは待遇改善を！！</p> |
| 小学校 | 60代以上 | <p>私は定年退職して早3年目だが、つくづく教員には人権が無いと思っていた。子どもの人権はうるさく言うのに。</p> <p>子ども達を追い込む同僚に胸が痛む。子ども達には子どもの時代をもっと子どもらしく過ごさせてやりたかった。</p>   |
| 小学校 | 20代   | 研修、事務作業が多すぎる。休みが取得しづらい。教科担任制を高学年以外でも進めてほしい。   |
| 小学校 | 60代以上 | <p>市内のある学校では育休をとっている先生の代わりが常勤でまかなえず、非常勤講師の先生で補充しています。担任は教務ということになっていますが、子供のことを一番見ている非常勤講師の先生は、勤務時間の関係から保護者と関わることができず、子供に責任を持つことができません。</p> <p>また、愛知県では休んだ先生の代わりが来なくて美術の成績がつけられなかったとの事例も報告されています。教員不足は子供の教育権に直結します。子供たちがきちんと教育を受けられるように、補充教員も臨時ではなく正規教員で配置してほしいと思います。</p>  |
| 小学校 | 60代以上 | 教育課程が子どもの実態に合っていない。内容が高度で次々詰め込まないといけになっている。ついていけない子どもは荒れていくので、心ある教師ほどしんどくなるだろう。   |
| 小学校 | 20代   | 本当に忙しいです。小さな学校で特に荒れてもいないということで、人も増やしてもらえません。小さな学校だからといって、行事ややることなど、少なくないです。分掌に時間を取られ、学級のことが疎かになったり、土日に準備をしたり、何のために教員になったの   |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
|        |       | か悩む日々です。教員の待遇をもっと良くしなければ、増えることはないだろうと思います。免許を持っていても、わざわざ忙しくて大変な教員になろうと思わないです。  |
| 高校     | 30代   | 残業が月 50 時間以上 (妊婦でさえ)、100 時間超の教員もいる<br>産業医面接は 1~2 分しかなく短いので不要<br>学校のタブレット端末や ICT 機器で使用する Wi-Fi が脆弱すぎて教員も生徒も授業に支障をきたしている   |
| 特別支援学校 | 30代   | 非正規教員を 10 年以上経験し、本採用になった者です。非正規であっても、防災主任になったり、正規教員より担当時数や教科が多かったりして、採用の勉強は夏季休暇から 1 週間でできれば良い方でした。中には試験当日が部活動のコンクールで、前日まで練習を見て、諦め半分で試験に臨む方もいらっしゃいました。それでも、本採用を望んでいる者は沢山います。ぜひ、講師経験のある方の経験値を活かすことのできる採用のあり方を構築していただきたいです。   |
| 中学校    | 60代以上 | 昨年度、勤務校では退職、育休等で 4 名不足、補充されたのは 2 名。ある教科はもともと限界の持ちコマ数だったためこれ以上授業を持たず、3 クラス同時にオンライン授業(どこかの教室で授業をして他の教室へ配信)をして半年間しのいだ。<br>残った教員たちも生徒指導などで連日深夜までの勤務。疲労の限界の毎日。<br>民間企業の我が子はしっかり休日を取り、人間らしい生活を送っている。教員にさせなくて良かったと心から思っている。<br>とにかく部活動を学校から切り離し、指導したい教師にはきちんと対価を支払うこと。それだけでもかなり希望者は増えると思う。<br>50 代女性教員が大会のために 12 連勤している現状を見ると、これが当たり前になっている現状に寒気を覚える。 |
| 小学校    | 50代   | 山間僻地の小学校で豪雪や道路凍結を押して 30km 以上の距離を自動車通勤する毎日。同僚がスリップしたトラックに突っ込まれ 8 ヶ月の休職を余儀なくされたが、代替職員が見つからず、支援学級担任が不在となった。そもそも長距離通勤の職員ばかりということは学校のある自治体居住の職員がいないということ。綱渡りのような学校運営が行われている。  |
| 特別支援学校 | 40代   | 常勤講師・非常勤講師の活用(支援員と変わらない活用しかされていない) → 正規教員に信頼されていないような、差別を受けているような扱いをやめる  |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 小学校    | 30代   | 小学校で高学年担任をしています。専科の先生もおらず、とくに高学年では理科でメダカやカボチャを育てて実験や観察に使うことなど事前準備が必要で教材研究が追いつきません。土日も学校に行って仕事をしないと平日が回らない状況です。授業参観も毎月あり、その合間に行事なども多く入ってきます。子どもたちに向き合っ一緒に遊んだりする時間が持てず、楽しい授業はおろか、教科書の基本的内容を教えるので精一杯です。音楽や理科など、専科の先生を小学校にもどんどん増やしていってもらえたらとてもありがたいです。 |
| 中学校    | 50代   | 教育自体にロマンや魅力が感じられる、子ども自身が大事にされる現場に！もっと賃金を上げて、憧れの職業にふたたびすべき。   |
| 小学校    | 50代   | 尊厳の保証に関係するが、社会も保護者も、学校に依存しすぎている割には、学校や教職員に尊敬という気持ちをあまりにも持たなさすぎている。また、多様性がはばかり、自由勝手に行動することと混同されすぎている。学校の授業は、一斉が原則である。自分の子供だけはこうしてください、などという考えが、教師の負担を増幅させている。また、注意すると、我が子が傷ついたらと訴えてくる、保護者もいる。これではまともな教育ができる訳がない。この子供たちが成長した時、どんな社会ができるか不安である。       |
| 上記以外   | 60代以上 | 特別支援などはほぼ1対1の担任だったりします。インクルージョンという視点からもっと工夫ができませんでしょうか？非正規、短時間パート、など学校で教員同士が子ども達の課題を共有する時間もない。職員会議は正規のみ。構造的な問題あるし、管理職の意識改革もないと感じます。  |
| 特別支援学校 | 30代   | 過密労働すぎて、子供がいる間は休憩を取ることはおろかトイレに行く時間もままならない。   |
| 小学校    | 50代   | 声を上げられるこのような機会をいただき、本当にありがとうございます。私の職場では、病気、療養のため教頭先生が不在のまま、新年度がスタートしました。教育委員会からの支援が少しはあるものの、代替りの人員の配置は全くありません。また、同じ町内の学校では、担任が1名不在の学校が1校、担任が1名、通級担当者が1名不在の学校が未だに1校あります。本当に厳しい実態です。国をあげての早急な対策を要望します。  |
| 小学校    | 50代   | ギリギリの定員配置だと、数人の病休や育休産休介護休などで子どもたちに対応できる教員がいなくなってしまうので、複数校兼務でも良いので加配を十分確保しておけばよいのでは。  |

|            |              |  |
|------------|--------------|--|
| <p>小学校</p> | <p>60代以上</p> | <p>愛知県では私たち臨時教員の会が、6月9日に改善提案を知事・県教委に提出しました。</p> <p>参考にしていただければ幸いです。</p> <p>■臨時教員制度の改善を 求める会は今週9日(木)、大村知事に「教員不足」解消のために緊急要請書を提出しました。</p> <p>■要請全文</p> <p>愛知県知事 大村 秀章 様<br/>愛知県教育委員会 教育長 飯田 靖 様</p> <p>2022年6月9日</p> <p>教員不足解消に向けた緊急要請書</p> <p>～すべての子どもたちに学ぶ機会の保障と安定的な教員確保のために～</p> <p>日頃は愛知県の子どもたちの教育の充実のためご尽力いただき敬意を表します。</p> <p>さて、私たち臨時教員制度の改善を求める会(求める会)は、1984年の発足以来「教育に臨時はない」との立場から、教員は全て非正規ではなく正規で配置すべきと訴えてきました。ところが、非正規教員は増え続け、今や教員不足が大きな社会問題になっています。</p> <p>その結果、教職員の長時間労働に拍車をかけ、子どもたちの学びの機会を奪う事態が生じています。そこで、教員不足解消のため緊急に下記の事柄について要請し善処をお願いする次第です。</p> <p>1 愛知県の教員不足の実態を明らかにしてください</p> <p>文科省の調査によると、昨年度始業日時点において愛知県の教員不足は小学校58名、中学校50名、合計108名でした。しかし、今年度はすでにその2倍を超える不足が生じていると現場から声が聞かれます。</p> <p>昨年の文科省調査と同様に今年の始業日時点と5月1日現在の不足数を明らかにしてください。</p> <p>また、不足数は年間の時期により変動しますが、昨年度もっとも不足数が多かった月の不足数を明らかにしてください。</p> <p>2 教員不足についての見解と今後の改善の見通しを示してください</p> <p>4月27日NHK「クローズアップ現代」は、名古屋市の中学生の訴えを紹介し、「代わりの先生がずっと来なくて自習ばかりの毎日。先生たちは一生懸命なのにどうして。私たちの学ぶ権利はどうなるの。」という生徒の声に大きな反響が寄せられました。</p> |
|------------|--------------|--|

|  |   |
|--|---|
|  | <p>また、県内の自治体では独自に実施してきた少人数学級が教員が不足しできなくなった例や、美術科の教員が見つからなかったため通知表の評定が記載できなかった学校も生まれています。</p> <p>このように教員不足による弊害は重大であると考えますが、県民に対して見解をお示しください。</p> <p>また、愛知県として教員不足解消のためにどのような改善策を講じているか、今後の見通しを明らかにしてください。</p> <p><b>3 教員不足解消のための私たちの提案</b></p> <p>大村秀章知事は5月26日の県総合教育会議において、「全国知事会を通じて、正規教員で対応することでなければ無理だと伝えていきたい」と説明したと報じられています。</p> <p>私たちは知事の発言を歓迎し応援するものですが、一方で愛知県として教員不足解消のために以下の提案をします。ご検討いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>(1) 愛知県は年度当初から法定数を大きく下回る正規教員の配置となっています。昨年度は2403人(全校種)が欠員となり、その不足を補う臨時教員が任用され、その結果年度途中の産休や病休代替が見つからず「教員不足」の大きな原因となっています。この夏の教員採用選考試験についても、小中学校では採用予定者1300人とどまり来年度も700人を超える採用不足が見込まれます。教員不足解消のためには、まず法定数の教員はすべて正規教員で配置することが必要であり、そのために採用予定者数を大幅に増やすことを提案します。</p> <p>(2) 産休などの補充教員は年間を通して2000人以上必要です。安定した確保のために、一定数の加配を正規教員で確保するよう提案します。</p> <p>(3) 必要な教員は現在非正規で働いている教員を正規雇用に転換することで確保できます。</p> <p>現在、県内の小中高特別支援学校には5000人以上の非正規教員が配置されていますが、本県採用選考試験を受験する非正規教員の7～8割が「不合格」と判定されています。これは現行の採用選考制度の欠陥を意味するものです。</p> <p>現場での教育実績を正当に評価できるシステムを確立すれば、職務遂行能力を有する教員を確保することができると考えます。</p> <p>(4) 非正規教員の待遇を大幅に改善し正規との格差を解消し、働き続けることができる環境を整えるよう提案します。</p> |
|--|---|

|        |       |   |
|--------|-------|---|
|        |       | <p>2020年度の改正地方公務員法の施行により、臨時的任用教員の給料や待遇はその職責・職務内容に見合ったものに改善しなくてはならないことになり、名古屋市では実施されましたが愛知県は「予算不足」(県教委)を理由に見送っています。また、非常勤講師も「特別職」から「一般職」に変更され地方公務員として勤務条件の整備が進められていますが、愛知県内のある自治体では未だに時給が1000円も低い格差が放置され、必要な教員の確保が困難になっています。</p> <p>(5) 2023年度採用の教員採用選考試験の志願状況では、倍率が昨年の4.1倍から3.7倍に低下し続け教員離れに歯止めがかかりません。正規も非正規も働き方を見直し長時間労働を解消するなど、教員の仕事を魅力あるものに変え教員希望者が増える労働環境を整えるよう提案します。</p> |
| 上記以外   | 60代以上 | 学習指導要領を改善して、詰め込み教育を止めるべきに思っています。  |
| 小学校    | 60代以上 | 正規の再任用時短・育短教員が複数いる学校では、その人たちができない学級担任や様々な校務分掌がフルタイムで働いている者に負担がかかっている。よい制度だとは思いますが、その分増員が必要。   |
| 小学校    | 20代   | Q2-2で記述しました。  |
| 中学校    | 60代以上 | ただでさえ足りておらず、その中で、病気休養に入られる先生がいて、そのぶんの講師もはいらず、他の先生にしわ寄せが来て、また、多忙化が進む悪循環の繰り返しです。抜本的に定数改善が必要です。  |
| 上記以外   | 60代以上 | <p>管理職後の退職者を現場に再雇用は、若い先生方が自由に実践しづらい圧力や指導的で不満がきこえてきます。</p> <p>採用試験で採用を増やすこと以外ないと思います。</p> <p>採用試験倍率が上がらないと、教員の質向上がないと言うのは、上からの目線で学生に失礼です。質とは？どんな教育を求めているのかな？</p>   |
| 特別支援学校 | 30代   | <p>教員の地位を不当におとしめてきた結果だと思っています。</p> <p>教員免許更新制度の本質は『教員の力量は信用ならない。サボる。だから定期的に研修させて点検する』ということだと個人的に思います。価値観を国民のなかに醸成してきた一部政治家やメディアの責任です。</p> <p>ですから免許更新制度が廃止されたとはいえ、研修制度が強化されたことはその現れだと思っています。現政権に教職員の力量を信頼して、励ます、そういう発想はないのではないかと思います。</p>   |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | でも、時間はかかるかもしれませんが、教員の地位や名誉を回復させるための具体的な政策（研修の自由、教育の自由、給与や待遇の向上、残業代の支給、非正規を数年経験したら正規になれる制度）をつくり継続させていくしかないと思います。   |
| 特別支援学校 | 20代 | <p>自分の場合は、部活動もないし、授業準備の時間もさけている方です。しかし、帰宅が夜8時を過ぎることは日常的にあります。働きすぎてある日突然職場に行けなくなってしまったこともありました。そのときは周りの先生方に助けていただいて、なんとか大丈夫でしたが。小学校の先生に話を聞くと、夜11時まで働く日があるという話も聞きます。土日も教室で飼育しているメダカのえさをあげるために、出勤しているという話も聞いたことがあります。教員には私自身も含めて「残業している」という感覚があまりない人が多い。夜8時まで働いても、「今日はとっても頑張った」とすがすがしい気持ちになることさえあります。遅くまで残業することは決してよいことではありません。でも忘れてはいけないことは、子どもたちに何か一つでもできることはないか、という思いで、仕事している人が多いということです。その人たちの気持ちは大事にしなければならない。近年、「働き方改革」がいわれるようになり、管理職からできるだけ、早く帰ることを求められるようになっていきます。先日高校の先生から、「早く帰れ」と言われることが、自分が仕事をうまくこなせないことを責められているみたいでつらいという話を聞きました。とても気持ちわかるなと思いました。</p> <p>組合の学習会で、「教員が、子どもの心に火をつけることのみに専念できるようになれば、子どもたちはもっと豊かになる」というような話を聞いたことがあります。とてもすてきな言葉です。そのためには、子どもの学びの質を豊かにすること、教員自身の学びの質を豊かにすることの2つが必要と考えます。</p> <p>まず、子どもの学びの質を豊かにするという観点でいえば、「全国・学力学習状況調査」はやめるべきです。全教の調査によると、子どもたちが自信を失っていることが分かります。特別支援学級の数が増えている背景には、「学テ体制」にうまく適応できない子どもが、支援学級に流れているから、と指摘している学者さんもいます。競争と管理を煽る教育が、子どもの居場所を奪っているとも感じます。</p> <p>教員自身の学びの質を豊かにするという観点でいえば、自由に使える時間を十分に確保することが必要です。自由な時間が確保でき</p> |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
|     |     | <p>たとすれば、その時間を学びたいと思うことに使えます。音楽や芸術に親しむこともできるかもしれないし、映画を見たり、小説をよんだりすることに使えるかもしれない。おいしいものを食べに行ったり、博物館や図書館に行って、知識を広げることもできるかもしれない。新聞やニュースをじっくり読むこともできるし、社会活動を行うこともできるかもしれない。免許更新にかわる新たな制度が話題になっているが、学びは誰かに管理されたり、マネジメントしたりするものではないのだと思います。教員の学びが豊かになれば、それを教室に持ち帰り、子どもの学びも豊かにできると考えます。だから、教員を増やせ、ということを訴えたい。</p> <p>政府は教員の働き方の問題を解決するつもりはないように感じます。ウクライナへの侵攻を契機にして、防衛費を GDP の 2%、防衛費の相当な増額とっている。子どもたちの権利を保障するよりも、人を殺す軍事にお金をかけるこの国の在り方は間違えています。軍事で守ることができるものは何一つないことは、今回の戦争をみても明らかです。ひとたび戦争になれば、子どもの学ぶ権利は確実に失われます。教員は公務員なので、憲法尊重擁護義務を負っています。憲法が生きる社会をつくっていきたいです。教員の働き方の問題は、それだけでは語れない。子どもの権利の問題とリンクする問題です。もっといえば、戦争のことも含めて社会全体が抱える問題とリンクする問題です。</p> |
| 小学校 | 50代 | <p>本校もGW明けから一人精神的な理由で病休がでました。他にもコロナで入れ替わり立ち替わり休む人が続き、出勤していても体調不良をおして出勤している人が私の知るだけで3人います。30人規模の学校でこの状態…。私自身もこの10年以内に2回大病を患って入院、手術をしてお休みした経験があるので、子どもたちと一緒にやりたいことがあっても、三月まで休まずに仕事をするならペースを落とさなければ無理だと思う自分がいます。50代の自分達が20代の頃はこんなじゃなかった…。いつから、何でこんな苦しいだけの仕事になってしまったんだろうと考える日々です。退職年齢も上がるので、絶対に定年まで続けられません。早く次の仕事を見つけて転職しなければ、命の危険がいつも隣に…と思って仕事をしています。</p>   |
| 小学校 | 40代 | <p>現状の教員不足や年齢の偏りなどの問題は、数十年前からわかっていたことではないでしょうか？問題が起きてからではなく、将来の</p>  |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
|     |     | 現場の状況を見越して採用を考えるべき。  |
| 小学校 | 40代 | テスト廃止。40分授業。朝学のモジュール活用。業務の改善の施策をお願いします。  |
| 小学校 | 50代 | 非正規教員のまま何年も講師で採用することについて。<br>教師に相応しくないなら、切ることも必要。<br>人がいないから、任期付きで何十年も講師として採用し続けること、講師で縛り続けることがどうなのか？と思う。<br><br>教師の仕事の複線化を図ってはどうか？<br>短時間勤務も給与を減らしてもそちらを選択することができれば、子育て中の教員が両立して教師で居続けられるのでは？<br>短時間の人が担任を持たずに加配的なポジションで学校で働けることができれば、人材不足を脱却出来るかも。   |
| 中学校 | 40代 | 仕事の役割分担しかありません。そのためには人を増やすしかありません。まず手始めに養護教諭の増員。1人を2人にするだけでも全然違います。  |
| 小学校 | 30代 | 税金を正しく使って、教育にお金をまわしてほしい。至急対応しないと、日本は壊れてしまう。  |
| 小学校 | 30代 | 教員不足の解決のためには、働き方改革が不可欠だと考える。教育にお金をかけずにそれらの解決は難しいのではないかと。勤務時間外労働が前提の業務量がそもそもおかしい。教員のボランティア精神で支えられ、学校の様々なことが回ってきたことに甘え、さらに業務を増やし続けてきた結果、ブラック化が進んだのだろう。時間ばかり調査せず、現場の声をよく聞いて、業務量の削減や負担が軽減する取り組みを推進してほしい。勤務時間内に終わらない業務には責任を持たなくてもよいことになれば、教員は時間外勤務から解放される。また、教育現場がいかに教員の時間外の勤務やボランティア精神に支えられてきたか痛感するだろう。そうすることで行政や現場も時間内の勤務で学校が回っていくように改革に本腰を入れていくことにつながるのではないかと。自分の時間や家族との時間を犠牲にしていかなければならない現状に限界を抱えている。自分の今後の人生や家族のことを思うと、教員を続けていくかも悩ましく、離職者が多いことにも納得である。 |
| 中学校 | 50代 | 最近のコマーシャルで働く人の10人に1人が病気休職をすると報じていますがそうであるならば、従来の定数に加えて、10人に一人プラスの教職員定数であっても良いのではないかと思います。現場  |

|        |     |   |
|--------|-----|---|
|        |     | の感覚ですと、学年に学級数の 1.5 倍くらいの正規教員がいるとずいぶん仕事がスムーズに行くなあとおもったりします。  |
| 特別支援学校 | 40代 | <p>臨時講師が多すぎて、教育の質は最悪。素人ばかり。特別支援学校の専門性って何？大人の数があればいいってもんじゃない。国は子ども舐めてんのか。と思う。</p> <p>教諭でも、大した仕事をしてない、訳の分からん理由で特休取り続けて人もいる。困った教諭に、仕事のできる教諭が潰されているのも事実。</p> <p>担任ガチャに外れた子どもと保護者には本当に申し訳ない。担任がそんな人って保護者は知らないと思うけど。困った臨時講師でも声をかけないと講師が見つからない。そんな教師に当たったら、子どもも、教師も疲弊する。子どもの事で悩むのはいいけど、教師の事に労力を使うのは本当に嫌。</p> <p>教育にもっとお金をかけてほしい。民間企業並みに最先端の技術をどんどん取り入れてほしい。</p>  |
| 中学校    | 30代 | 少人数学級の実現（1クラス20人以下）、大学学費無償化   |
| 中学校    | 50代 | 講師の代替りの講師が来ない。  |
| 小学校    | 30代 | 人員の配置できる枠があるのに、講師が見つからない。子どもに最適な教育を行うために作られた色々な制度を活用できるようにできないのは異常な事態です。  |
| 高校     | 50代 | 生徒も教員も人権を尊重したハラスメント対策。  |
| 中学校    | 20代 | <p>・部活動の地域移行が話題になっているが、部活動だけが問題ではないと考える。平日は、授業の空き時間がほぼなく、教材研究や事務作業を行うのは部活が終わる 17 時半以降。この状態がほぼ毎日続いている。さらに、教材研究や事務作業は業務として認識されず残業代は支給されない。4%の教職調整額は、数十年前から一向に改善されない。平均残業時間が 8 時間という扱いの教職調整額、単刀直入に申し上げると、ありえない。私の勤務校では、残業を月 45 時間以内に収める呼びかけが行われているが、7~8 割の先生は実現できていないだろう。理想と現実の相違が激しい。「効率的に業務を進められていない」などの次元の話ではない。業務量が多すぎる。</p> <p>・SNS を通じて、教員の悲痛な声が広がっている。勤務時間内に業務を終えられないことや、残業代が支給されないことが SNS などを通じて世に出回っている。このことが教員不足につながっていると考え。主に、新卒などの若手の人材不足につながっているのではないか。</p> |

|        |       |  |
|--------|-------|--|
| 上記以外   | 60代以上 | 地域の特別支援学級の担任が4人のところ、3人でスタートと知った。大変だ。   |
| 中学校    | 20代   | 教員が必ず行わなければならない職務以外のことをやらせる場合（時間外勤務についても）を全てに手当てを配当し、金を払うべき。所見を書く＝500円、行事は動いた月に均等に5万円支給するなど、業務の値段を明確にし、支給すべき。所見に関しては保護者が支払う。   |
| 高校     | 60代以上 | 「まちがいを犯さないように」教員を管理しようとする施策が多く、教員達もそれらに対応することに追われ、「形式的な」「形だけの」「証拠書類」をつくることに忙殺され、本来、必要な本当に大事な「教育」に割く時間をどんどん失いつつあり、教育活動に向き合う意欲さえなくなりつつあるように思います。   |
| 小学校    | 50代   | 病休、産休育休代替、講師など人材が少なく替わりが見つからないことも多々ある。<br>その場合、管理職が担任の替わりをやらざるを得ない状況が全国で起きている。<br>また、人材を見つけることも現場の副校長、教頭がやらなければならない本来の業務に支障をきたしている。<br>中学校では授業ができない事態も起きている。   |
| 小学校    | 50代   | 講師で働いていて採用試験受けても合格者は多くない。主任やコーディネーターとして正規職員と同じように働いていても不合格者が多い。長年講師として働いている人は正規採用してほしい。真面目に働いている。でも正規採用されない。だから働く気を失くしてしまう。離職を考える。同一労働、同一賃金、同一待遇を。そうすれば、働く人も集まると思います。<br>給料の上げ止まりをなくしてほしい。長年働いた人は知識、経験豊富。若い先生の頼りになっている。そこをわかってほしいです。 |
| 小学校    | 30代   | 今現在の勤務校では教員不足を感じることはあまりないのですが、教員志願者が減っている現状を見ると、教員の仕事内容や職場での人間関係がネガティブに捉えられていることが多いのかなと感じます。   |
| 特別支援学校 | 50代   | 教員不足のため、年度初めに高等部に2名担任が配置されず、4月初めに小学部の教員が休職になりましたが、代替が見つからず、6月初めに1名見付き、不足は2名になりました。その後、6月6日から産休休暇に1名入りましたが、代替は見つからず、3名不足になりました。そして、6月中旬から1名、親の介護休暇に入りま  |

|       |       |   |
|-------|-------|---|
|       |       | すが、代替は見つからず、4名不足になります。足りない所を、毎日、学部を超えてやりくりをしています。忙しさゆえに人間関係が日増しに悪くなっていきます。児童・生徒にも影響が及びます。一日も早く正規の人数で2名を補充し、代替の2名の先生を確保してほしいです。管理職は申し訳ないと言いますが、人が見つかりません。近隣の特別支援学校も3～4名の不足と聞いています。昨年は、1名、正規の入る担任が1年間、見つからないままでした。教員不足が常態化しています。  |
| 小学校   | 50代   | 今、働いている臨時教員を正規にするとよい。病休の先生の代わりに先生が、見つからずいろいろな先生が入れ代わり授業をすると子どもも落ち着かない。臨時教員不足。校務や教務が担任の代替になっても専科加配が複数いれば、校務や教務の教科をフォローすることもできるし濃厚摂取者となり休む先生や病気の先生のフォローがしやすいと思う。  |
| 小学校   | 60代以上 | 一学級の児童・生徒の定数を減らす。現教室の大きさから考えると一学級25～28人にする。かつて私自身、4月の新学期に担任がいないので…という理由で時間講師となった。一年で終わると思っていたが、それからずっと時間講師を続けた。教師がいないからということがあったことは否めない。  |
| 中高一貫校 | 20代   | 特に、正規の教員を増やすような対策をしていただきたいです。勤務校では、今年度から学年団に副担任がつかないことになりました。私は学年団に所属していますが、有体に申し上げて、学年主任と担任だけでは時間内に業務が回りません。定時以降の会議や学校の鍵が閉まる時間以降の残業、休日出勤。これらは当たり前だという暗黙の了解が、勤務校にできつつあります。勤務日はほぼ毎日14時間労働です。授業準備以外の業務が多く、教材研究もままなりません。非常勤講師は学年や学級経営に携わらないため、少なくとも勤務校の人手不足は変わらないように思います。正規職員の増加により、働き方改革に逆行するこの現状を、何とかしていただきたいです。よろしく願いいたします。 |
| 小学校   | 40代   | まだ講師が来ないため、専科がなく持ち時間数がオーバーしている。管理職は教育委員会に言っているというが具体的に何もしてくれない。   |
| 小学校   | 50代   | 教員の仕事を指したいと思えるようにする。そのために勤務の内容や勤務条件を見直す。  |

|        |           |  |
|--------|-----------|--|
|        |           | <p>教員の仕事を狙っている非正規教員を正規採用できる仕組み作り<br/> とにかく教員の数を増やす<br/> 教員の仕事が多種多様、とにかく多過ぎます</p>   |
| 小学校    | 60代<br>以上 | <p>現勤務校の実態です。</p> <p>①4月1日時点で、特別支援学級の担任1名が見つからず空欄。始業式迄、来る見込みがなく、本来なら3学級を2学級に編成し直して、新年度スタート。結局今年度は、2学級のまま(1学級10名!)と決定。担任は2人で、本来なら3人で分担する校務分掌などを引き受ける羽目になった。担任1人分の代わりに非正規職員二人が交代で隔日勤務しているが、担任ではないので、担任2人の負担はかなり大きい。子どもたちも、4月当初から不安感が強く、校舎外への飛び出しや、登校渋りなど昨年度は、見られなかった問題が起きている。</p> <p>②3月末で、常勤もう1名が見つからず、結局、育児部分休業を取って午後2時迄勤務の女性教員が、3年の学級担任をすることに決定。本人も不本意ながら、やむを得ず了承したそう。午後2時以降は、非常勤の図工専科が、その学級の授業を受け持つことになった。二人で1学級を持つ形だが、結局は、育児部分休業を取っている女性教員が、勤務時間外に勤務せざるを得ない現状である。</p> <p>③2年前前任校で、1ヵ月3人教員がいない時期があった。</p> <p>④現勤務校では、昨年度も一昨年度も3学期に病気休暇の補助教員がなく、短時間勤務の教員が時間外で、担任の代わりに授業を行った。</p> <p>現場の教員は、ただでさえ、仕事内容が多いのに、教員不足のために、人の分まで仕事をさせられています。しかも、時間外にどれだけ働かされても、給料には、反映されません。定額働かし放題なんて、理不尽なことを平気で押し付けている現状では、教員不足が解消される訳がありません。</p> <p>多くの教員が家庭生活を犠牲にしながら今の日本の教育を支えています。でも、そろそろ限界です。</p> <p>あちこちで、教員の家庭崩壊、学級崩壊の芽が見られます。</p> <p>教員が、人間らしく生活できるよう環境整備、条件整備をしていかないと、日本の教育は、危ないです。</p> |
| 特別支援学校 | 50代       | <p>特別支援学校は臨時講師が多すぎます。</p>  |

|        |     |  |
|--------|-----|--|
| 特別支援学校 | 50代 | <p>何もしない、トラブル回避のために何もさせられない教員が職場に何人かおられます。児童指導に問題があるため授業に入ることはさせられず、職員室にずっと居るのですが、彼らはいったい何をしているのだろう。管理職達が手弁当を持参しているのに、彼らは美味しい給食をレンジで温め直して堂々と食べているのを見ると、給料ドロボーと言いたくなります。教員評価制度って形だけなのか。早急に免職にしてちゃんと働く人を雇ってくれば教員不足の改善の一助になる。</p> |
| 上記以外   | 30代 | <p>小学校での副担任制、教科担任制など、行き届く目を増やす策を推奨してはどうでしょうか。小学校はとにかく担任の責任が重すぎます。担任がいろいろな責任を抱えることから、心理的防衛としての閉じられた学級経営になりやすい。小学校教員のメンタルヘルス問題も深刻です。</p>   |